

公益財団法人 日本サッカー協会 機関誌

JFA news

7 NO.435
2020.
月情報号



特集

サッカーへの リスペクト

山岸佐知子 JFAリスペクト・フェアプレー委員長
Jクラブの取り組み
大切に思うこと

“日本晴れ”

見上げる空は、ひとつだ。

日の丸を、青空の頂点に。

サッカー日本代表2020ユニフォーム



adidas

日本晴れ

adidas is the OFFICIAL SUPPLIER of the Japan National Team.



がんばろう
ニッポン!

サッカーファミリーのチカラをひとつに!

JFA news

No.435

2020 7月情報号

CONTENTS

003 【巻頭言】田嶋幸三 会長

特集

サッカーへのリスペクト

006 山岸佐知子 JFAリスペクト・フェアプレー委員長

008 新型コロナウイルスに対する
Jクラブの取り組み
北海道コンサドーレ札幌
鹿島アントラーズ

大切に思うこと

- 012 岡崎慎司 選手 (SDウエスカ)
- 013 熊谷紗希 選手 (オリンピック・リヨン)
- 014 高橋秀人 選手 (サガン鳥栖)
- 015 清水和也 選手 (コルドバ・パトリモニオ)
- 058 片野坂知宏 監督 (大分トリニータ)
- 059 川口修 監督 (静岡学園高校)
- 060 三田智輝 監督兼技術委員長 (北マリアナ諸島)
- 061 唐木田徹 審判ダイレクター (カンボジア)

【特別企画】

- 019 グラスルーツ対談 (前編)
- 068 女子プロサッカーリーグ
~2021秋開幕へ! リーグ名称は「WEリーグ」

【連載】

- 052 隔月連載 JFAこころのプロジェクト
「困難を乗り越えて、学んだこと、成長したこと」
- 054 隔月連載 私とフットボール
那須大亮
「全てのスタジアムを満員にしたい」
- 056 いつも心にリスペクト
大住良之
「サポーター『同志』」
- 064 新連載 西芳照シェフのSAMURAI KITCHEN
「たくさん食べてもらう工夫を」

※本誌の記事・写真・図表などの無断転用を禁じます。
表紙・目次および本誌内のクレジットの記載のない写真

©JFA、©JFA/PR、©J.LEAGUE、©F.LEAGUE、©Walrix

◎JFAの理念

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、
人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

◎JFAのビジョン

サッカーの普及に努め、スポーツをより身近にすることで、
人々が幸せになれる環境を作り上げる。
サッカーの強化に努め、日本代表が世界で活躍することで、
人々に勇気と希望と感動を与える。
常にフェアプレーの精神を持ち、国内の、さらには
世界の人々と友好を深め、国際社会に貢献する。

◎JFAのバリュー

エンジョイ◎スポーツの楽しさと喜びを原点とすること
プレーヤーズファースト◎選手にとっての最善を考えること
フェア◎オープンかつ誠実な姿勢で公正を貫くこと
チャレンジ◎成長への高い志と情熱で挑戦を続けること
リスペクト◎関わりのあるすべてを大切に思うこと

【REPORT】

- 017 FIFA女子ワールドカップ2023招致
- 062 JFAチャレンジゲーム スペシャルステージ

【期間限定企画】

- 066 Stay Home
~片野坂知宏監督、清水和也選手、西芳照シェフ
- 021 JFAアカデミー2021年度入校生選考試験を実施
- 022 新型コロナウイルス感染症対策 JFAサッカーファミリー支援事業
- 036 2020/21フットサル競技規則 改正
- 016 日本サッカーミュージアム
- 023 月刊レポート~JFAリリースインフォメーション&活動報告
- 042 会議レポート
- 046 JFA関連発行物のご案内
- 048 蹴球通信
- 071 サッカーファミリー広場
- 072 次号予告



TSUBASA OFFICIAL MATCH BALL



巻頭言

公益財団法人日本サッカー協会

会長 田嶋幸三



FIFA女子ワールドカップ 2023の開催地が決定

6月25日のFIFAカウンシルでFIFA女子ワールドカップ2023の開催地を決める投票が行われ、オーストラリア／ニュージーランド（共催）が全35票中22票を獲得し、同大会の開催地に決定しました（関連記事は17ページ参照）。

同大会の招致をめぐるのは、6月8日にブラジルが立候補を辞退、日本もFIFAカウンシルの3日前に招致からの撤退を表明したことから、投票は、共催を目指すオーストラリア／ニュージーランドとロシアの一騎打ちとなりました。

オーストラリア／ニュージーランドでの女子ワールドカップの開催は、アジアでは1991年の中国大会に続いて2度目、南半球では初、そして、女子では初の2カ国共催です。アジア開催になったことを喜ぶとともに、同大会の成功を心から祈りたいと思います。

招致レースの行方

FIFAワールドカップなど大規模な国

際大会を招致することは、その国におけるサッカーの普及や発展に大きく影響します。また、複数の国で開催することによってそれぞれの国でサッカーの普及や強化が進み、さらには共催国同士の相互理解と融和を促進することから、共同開催が近年の世界のトレンドになりつつあります。

今回の招致レースは、ブラジルが立候補を取り下げたことで南米サッカー連盟がロシアに票を一本化する流れになりました。それが、ASEANサッカー連盟がオーストラリア／ニュージーランドへの支持を表明するなど、他の大陸連盟にも少なからず影響を与えたと思います。

オーストラリア／ニュージーランドとロシアは共に、女子を含めた年齢制限のないFIFA大会を開催した経験がありません。また、“南米大陸初”、“南半球初”ということも大きなアドバンテージとなる要素でした。

今回、招致活動を進めていく中で、日本の提案やサッカーを取り巻く環境を高く評価していただいたと認識しています。2011年のFIFA女子ワールドカップ

ドイツ優勝をはじめ、オリンピックを含む世界大会で3度の決勝進出を果たしていることから女子サッカーの強豪国として認知され、リーダーとして期待されていることを、今回の招致活動の中でもひしひしと感じました。日本の運営能力を高く評価する声や、ここ数年間で建設された最新のサッカー専用スタジアムもまた、招致活動を進めていく上で大きな力になりました。

しかし、数多くのFIFA大会を招致してきた日本が2023年の女子ワールドカップを開催するというのは、サッカーの世界的な普及や発展という観点から賛同を得にくいのではないかと強い根強い意見がありました。また、図らずも新型コロナウイルス感染拡大によって東京オリンピックが延期となり、その結果、FIFA女子ワールドカップとオリンピックという、女子サッカーでは世界最高峰とされる二つの大会を短期間に同じ国で開催するという構図になり、そこに強い抵抗が生じたのも事実です。

投票直前というタイミングであらゆることを検証し、日本の状況は決して楽観視できるものではないと分析しました。

アジアサッカーに貢献

招致レースの動向を探りながら、その一方で、日本のプレゼンスを向上させ、どのように世界に貢献していくのか、そういったことを長期的な視点に立って戦略的に考え、実行していくことも重要です。

JFAは長年にわたり、指導者派遣を含め、アジアの女子サッカーの普及と強化に

力を注いできました。今回、日本が手を引くことで、アジア／オセアニア地域への招致の確率を高めることもアジア貢献ではないかと考えました。

日本は、東京オリンピック、WEリーグ、FIFA女子ワールドカップ2023を女子サッカー発展の三本柱に据え、さまざまな活動に取り組んできました。今回の決定は、国際情勢に加え、政府、自治体、JFAの財政状況などあらゆる観点から検証した上での判断です。苦渋の決断でしたが、この決定が今後の日本女子サッカーの発展を何ら妨げるものではありませんし、オーストラリア／ニュージーランドであれば時差や環境面でも支障は少なく、同大会でのなでしこジャパンの飛躍を押し進めることにもなります。

日本開催を期待していた選手やサポーター・ファンの皆さまには、ご期待に添えず申し訳なく思いますが、JFAは今後も女子サッカーの普及・強化の歩みを止めることなく、まずは来年開催される東京オリンピックでの金メダル、そして、WEリーグの成功に向けて全力を尽くし、女子サッカーの地位を不動のものにしたいと考えています。もちろん、2023年のFIFA女子ワールドカップも優勝を目指します。

これまで招致活動に多大なるご支援をいただいた政府、自治体、サッカーファミリー、ファン・サポーターの皆さまには心から感謝申し上げますとともに、JFAのこの決定をご理解いただき、今後とも変わらぬご支援を賜りたく、お願い申し上げます。



このように、このブランドは、
その品質とデザインで知られ、
世界中で愛されています。
Dunhillの歴史は、
1887年に始まりました。
その時から、
このブランドは、
その品質とデザインで知られ、
世界中で愛されています。
Dunhillの歴史は、
1887年に始まりました。
その時から、
このブランドは、
その品質とデザインで知られ、
世界中で愛されています。

dunhill



【特集】 サッカーへのリスペクト

当たり前の 日常への感謝



新型コロナウイルス感染拡大によって止まっていた国内外のサッカー界の活動が
ゆっくりと、しかし確実に動き出した。

活動停止期間、選手や指導者をはじめサッカー関係者が考えていたこととは何か。

今号では、サッカーをすることの意義、サッカーができることへの感謝にスポットを当てる。

巻頭では山岸佐知子JFAリスペクト・フェアプレー委員長がリスペクトの重要性を語る。

「Jクラブの取り組み」としては、北海道コンサドーレ札幌と鹿島アントラーズの施策についても取り上げる。

「大切に思うこと」では、国内外の選手や指導者が考えるリスペクトを紹介する。



山岸 佐知子 JFAリスペクト・フェアプレー委員長

6月下旬から7月上旬のJリーグ再開を皮切りに、国内サッカー界が再び動き出した。サッカー活動の中断期間に感じたことやリスペクト精神の意義を、日本サッカー協会(JFA)リスペクト・フェアプレー委員会の山岸佐知子委員長に聞いた。

○オンライン取材日：2020年6月15日

**考え、行動に移してもらう
前向きな働きかけが重要**

—— 日常にサッカーが戻ってきつつあります。どのように感じていますか。

山岸 素直にうれしいです。今までは、週末にサッカーが行われ、テレビや新聞で日本代表やJリーグの試合がニュースで流れるのが日常でしたが、この数カ月間、サッカーが生活からなくなりました。あつて当たり前と感じていたものが自分たちにとってどれほど大切だったかを噛みしめる機会になりました。

サッカーに携わる人たちの多くが普段は家の外に出て活動します。体を動かすことが大好きな人たちも、この数カ月は家で過ごす時間が多くなり、不慣れた日々を

過ごしていたかと思えます。少しずつ日常を取り戻すことができるのは本当にありがたいことです。

—— 新シーズンが始まって間もなくサッカーの活動が休止になりました。

山岸 正直、少しの間、我慢すれば活動休止も自粛期間も終わるのではないかと思っていました。事態が長引くにつれて、自分には何ができるかを深く考えるようになりました。

サッカー界の人間である前に社会の一員ですから、新型コロナウイルスに感染しない、感染させないことを意識しました。医療従事者の方々が苦勞していることもありまので、まずは感染を拡大させないこと、自分の立場を認識しなければならぬと考えました。

次に、リスペクト・フェアプレー委員会のことです。空白期間が生まれたことで、委員長として自分がやるべきことを考える時間に充てることができました。

—— 例えば、どんなことですか。

山岸 松崎康弘前委員長のお力をお借りし、リスペクトとフェアプレーの理解を深めること、委員会の活動を把握すること、に努めました。将来、日本代表が国際大会の舞台で躍進するためには、今の子どもたちが安心してサッカーに打ち込める環境をつくらなければなりません。

JFAは2015年9月にウエルフェ

アオフィサー制度を設置し、チームの活動や試合で選手たちが安心して安全にプレーできるような環境づくりに尽力しています。

選手たちがミスをしたときや試合に負けたとき、罰を与えることそのミスを正そうとするのは簡単ですが、短絡的です。それよりも、選手たちは何を望んでいるのかを考え、その一方で、選手自身に自分たちはどうすべきだったのか

を考えさせ、それを行動に移してもらう。そういった前向きな働きかけが重要だと思いました。

—— 自粛期間に、サッカー選手、フットサル選手、ビーチサッカー選手らが自主的に「外出を控えよう」というメッセージを発信していたことについてどのように感じましたか。

思いやりのあるサッカー界の実現へ



山岸 サッカーはコンタクトスポーツですから、互いを認め、競技規則を守らなければ成り立ちません。また、試合を行うときはグラウンドキーパーや競技運営者、ボランティアなど、指導者や選手、審判員以外にさまざまな人が携わっています。きれいなピッチで楽しくサッカーができるのは、それを支えてくれる人たちがいるからで、そこに感謝の気持ちを抱き続けることが

山岸 国内外で活躍する選手たちが「今は家にいよう」と呼びかけたことには大きな意味があったはず。特に、外でボールを蹴りたい盛りりの若い世代に対して強いメッセージになったと思います。世の中には自分の力で変えられるものと、どうあがいても変えられないものがあると思います。それを受け入れながら自分たちには何ができるのかを考え、行動する。選手たちは社会にポジティブなメッセージを発信してくれました。

意外に難しい
常に真摯に向き合うのは

——サッカーにおいて、リスペクトの精神が欠かせない理由を教えてください。

サッカーへのリスペクトにもつながると思います。

——山岸委員長は審判員時代、FIFA女子ワールドカップを含め、国内外のさまざまな大会で笛を吹きました。

山岸 アジアの審判員の日本代表への信頼とリスペクトはすごかったですよ。われわれ日本の審判員は日本代表の試合を担当することはできませんが、アジア諸国の審判仲間は日本代表の試合でレフェリーを務めることを名誉に思っているようでした。「日本の選手たちは一生懸命プレーし、最後までフェアに戦ってくれる。その姿勢は、同じピッチに立っている者としてすがすがしく感じる」と言ってくれ

た審判員もいます。

——一生懸命であることも、評価してくれていたんですね。

山岸 勝っていると慢心が生まれますし、大差をつけられていると、諦めそうになる。勝敗を問わずサッカーと真摯に向き合うことって、意外に難しいことです。日本の選手の場合、最後まで手を抜かずにプレーすることが習慣化されているように思います。

試合後の掃除など、日本では普通の行動が海外で褒められることがあります。これも素晴らしいと思います。私がメキシコにいたとき、遠征申だった日本のチームと遭遇しました。外国人の審判仲間が日本チームの練習試合を担当した翌日、私のところに来るや、興奮した様子で日本のチームの振る舞いについて語り始めました。「彼らは自分たちのものだけではなく、他人のゴミも片づけていた。試合後はわざわざ審判員の控え室にきて、ねぎらいの言葉をかけてくれた」という話を聞いているうちに、自分も日本人であることが誇らしくなりました。

**形で表せなくても
気持ちで伝えてほしい**

——近年のサッカーと審判員を見

ていて思うことはありますか。

山岸 映像技術などテクノロジーの進化に伴って、ある意味、さまざまな判定がさらされるようになってきました。でも、ただだけ情報技術が発達したとしても、最後に判定を下すのは人間です。全ての判定を正解に導くことは不可能ですから、プレーする側も、それを見る側も、「いろいろなことがあるけど、それも含めてサッカー」というスタンスでいてほしいと思います。

——社会でも同じことが当てはまります。

山岸 正しいことが全てまかり通るわけではなく、理不尽なこともあるという意味で、サッカーと社会の共通点は多いと思います。もちろん、審判員は正しい判定ができるように日々トレーニングをして準備していますが、それでもミスはあります。選手も指導者もサポーターもそれを理解し、受け入れることがリスペクトの一つの形ではないでしょうか。

——サッカー界の今後は「非接触」が日常になるかと思われます。選手たちにとどのような形でのリスペクトを期待しますか。

山岸 「あいさつ」「握手」が文化に

なっているサッカー界では、難しい問題ですが、ピッチ内外でその意識を少しずつ変えていく必要があるでしょうね。

例えば、ファウルした選手が倒してしまった相手に手を差し伸べることが推奨されなくなり、「申し訳ない」という意思を示しにくくなるかもしれません。しかし、形で表さなくとも、気持ちを伝えることでカバーできるのではないかと思います。手を差し伸べるといふ行為ができなくなっても、何らかの形で気持ちは伝えてほしいですし、伝えようとするということ自体が良い行動といえます。

——最後に、リスペクト・フェアプレー委員長としてメッセージをお願いします。

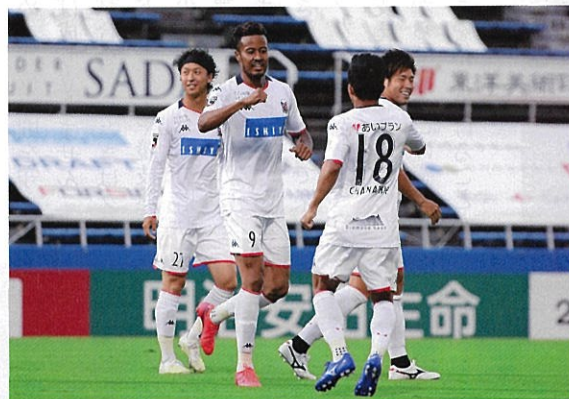
山岸 リスペクト・フェアプレー委員会としては、今まで積み重ねてきたことをしっかりと浸透させることが第一だと思っています。JFAのこれまでの取り組みをさらに加速させ、実践していきます。また、私の一番の役割は、皆さんが安心してサッカーを楽しめる環境をつくることだと思っています。できれば目立たない方がいいのですが、皆さんが困ったときには窓口になり、思いやりあふれるサッカー界の実現に向けて活動していきたいと思っています。

国際審判員として活躍した山岸委員長。「負けたチームの選手がすがすがしい表情だったとき、審判員として自分の仕事ができたと実感があった」と話す



2月21日に開幕を迎えたJリーグ。しかし、その直後に新型コロナウイルス感染拡大防止のためにリーグは中断した。Jクラブも厳しい状況の中で、サポーターや地域と共にこの期間を乗り越えた。北海道コンサドーレ札幌と鹿島アントラーズの取り組みを紹介する。

新型コロナウイルスに対する Jクラブの取り組み



当初は対策に温度差も

今季のJ1リーグ開幕日だった2月21日、北海道コンサドーレ札幌は数日前に売り出したばかりの観戦チケットの販売一時中止を発表した。翌日にシーズン初戦を控えた慌ただしい金曜の午後、忍び寄る未曾有の日々に向け、このとき既に札幌の感染症対策は動き出していた。

「ホームスタジアムである札幌ドームが屋内施設であるということと、感染の危険性について開幕前からリーグと意見交換をしていました」。そう話すのは、クラブでコロナ対策を担当してきた経営管理部の岩崎亮輔部長だ。札幌市を含め北海道は国内の他地域よりも感染拡大が早く、「必然的に感染防止対策への意識を早くから持たされました」と言う。ファン・サポーターに向けた感染予防策の協力依頼のほか、開幕のアウェイ戦を終えた2日

後には、すでに公式戦が延期となった場合の損失を数カ月単位で試算するなど、札幌の初動は際立って早かった。

それ故に最初の頃は他クラブとの温度差もあった。Jリーグの臨時会議などでさまざまな緊急対策を提案したが、各クラブの反応はまちまちだった。「地域によって感染状況が異なるので仕方のないこと。とにかくわれわれが率先して意見を出していくしかない」と岩崎さんは続ける。

クラブの動きに 選手も呼応

4月6日に政府が緊急事態宣言を発令するまでに至ったコロナ禍。首都圏や関西、九州でも感染は拡大し、社会全体が大規模な活動自粛へと突入していくこととなった。そこでもさらに札幌は積極的に動いていった。

日々、情報収集をしていく中で、休校措置が長引く可能性が大いにありと予測し、「子どもたちがストレスをためないよう、クラブとして“遊び場”を提供しよう」と道内の一部自治体に企画書を提出しました（岩崎さん）。企画内容は、札幌のスクールコーチが地域の子どものためのボール遊びなどの運動を手助けするものだったが、今のところ実現はしていない。そうしたクラブ側の動きに呼応

北海道コンサドーレ札幌

幅広い活動の中で クラブを支える人たちとの絆を痛感

するように、札幌の選手たちからは年俸の一部返納の申し出があった。また、新型コロナウイルスの影響で廃棄処分のある道内の特産品などを無駄にしないように、フードロス解消に取り組み選手も出てきた。

選手個々がサポーターに向けてSNSで積極的に情報を発信した。事務方と現場が歩調を合わせて動き、公式戦が開催できない中、地域に根差すプロサッカークラブとしての役割を果たそうと奔走した。これについて岩崎さんは「うちの選手は行動力があって素晴らしいと、純粋にそう感じた。他の職員もそれぞれが地域のために奮闘していました。先見のないコロナ禍で、コンサドーレファミリー」という言葉があらためて胸に響いた」と振り返る。

リーグ再開は 新たなスタート

パートナー企業との強い関係性も再確認できた。「われわれ同様に経営的に苦しい中でも、皆さまから『変わらずに応援したい』と言っていただいた。本当にうれしかった」と岩崎さん。そうした思いに少しでも応えるべく、クラウドファンディングに着手。パートナー企業に利益が生まれる仕組みを構築し、それを選手たちが発信していく。試合がない中でも、チームとそれを支える人々の共闘の輪が広がっていつ

た。岩崎さんも「今後も継続していきたい」と言葉を強める。

過去に経験したことのない日々を経て、いよいよ公式戦が再開した。「やっとここまで来た」と、コロナ対策担当者は絞り出すように言う。コロナ禍で過ごした日々で最も大変だったのはどんなことだったのだろうか。

岩崎さんは「本当にいろいろなことがありましたが、平時には思いつかなかったようなことが思いついた、周囲との絆をあらためて痛感することができました。大変だと思いません。これからは対策は続きます。大変なことが起きないように先読みを続けていきたいですね」と話した後、次のように締めくくった。「公式戦が再開したことから、コロナ対策の新たなスタートです」



オンラインで さまざまな施策を展開

新型コロナウイルス感染拡大でJリーグが中断となり、チームの全練習もストップするなど活動を徐々に縮小せざるを得ない中、鹿島アントラーズは「#いまできることをみんな」を合言葉に、選手やスタッフ、クラブ全体でさまざまな取り組みにチャレンジしてきた。

4月には「鹿行の『食』を届けるプロジェクト」(前号、隔月連載)「フットボールにできること」(参照)をスタートさせ、5月に入ってから

カシマウェルネスプラザの運動プログラムをオンラインで配信する「Antlers Connectar」や、音声配信アプリ「stand.fm」を使ったクラブ公式チャンネルの配信を開始した。

6月には、「鹿行の『食』を届けるプロジェクト」を発展させた「ドライブスルーマルシェ」を県立カシマサッカースタジアムの駐車場で実施。公式YouTubeチャンネルで過去の試合映像やトレーニングマツチを配信する「鹿ライブ」では、クラブとして初めてオンライン上で寄付ができる視聴者参加型の応援企画を実施したり、有料オンラインイベント「鹿トーク」を開催するほか、「TikTok」の公式アカウントを開設するなど、オンラインを中心に幅広い活動を展開してきた。

地域に背中を押され 新プロジェクトを 迅速に実行

6月16日からは、ふるさと納税型のクラウドファンディングプロジェクトもスタートさせた。そのきっかけとなったのは、ファン・サポーターやホームタウンの関係者から「アントラーズを支援したい、元気づけたい」という数々の声が届いたことだった。通常は、開始までにそれな

鹿島アントラーズ

地域と共闘する経験を生かし さらなる発展を目指す



ドライブスルースタジアムマルシェは事前予約のみ、受け取り時間帯を区切るなど感染リスクを最大限に抑えて実施された

ングスタッフだけでなく、職員、クラブ全体がその意識を備えており、「アントラーズファミリーのため、地域やファン・サポーターのために何かできることはないのかを考え、献身的にトライしています」と寺嶋さん。ジーコスピリッツが鹿島の強さの根源なのかもしれない。

寺嶋さんは「今回、さまざまなイベントを実施したことで地域の大切さをあらためて感じました。地域の活性化や課題の解決など、クラブを通じてできる限り貢献していきたいと思っています」と話す。今後も地域の食をファン・サポーターに届けるような取り組みは継続する予定だ。それだけではなく、「日本全国ファン・サポーターの方々と一緒になって取り組む形が見えたので、今回の経験を参考にしながらいろいろな可能性を探っていきたい(寺嶋さん)と、さらに発展させていくつもりだ。

りの時間を要するところだが、かなりのスピード感で実施することができた。鹿島の地域連携チームの寺嶋博信さんは「本来ならクラブが皆さんに元気を届けなければならぬ状況の中、逆にファン・サポーターや自治体の方々から『地域のシンボルであるアントラーズを支援したい』と声をかけていただき、大変ありがたく思っています」と話す。特設ページには参加者からの応援コメントも数多く寄せられており、スタッフや選手らにも共有してファン・サポーターの声を届ける考えだ。

つながりを大切に 勝利で恩返しを誓う

鹿島には「献身・誠実・尊重」の「ジーコスピリッツ」が脈々と受け継がれている。選手や監督、コーチ

Jリーグは再開を迎えたが、新型コロナウイルスとの闘いは終息したわけではない。しかし、「先が見えない中でも応援してくれる方々の大きな期待を受け、アントラーズが愛されているクラブだということを再認識しました。皆さんとのつながりを大切に、元気や勇気を持っていただけたら、これからアントラーズの勝利を届けていきたいと思っています」と、寺嶋さんは力強く前を向いた。

TOKYO 応援宣言



東京オリンピック・パラリンピックに向けて盛り上がるスポーツ界。
そこで起きた最新ニュースから東京2020で活躍が期待される新星、
あなたの知らないスポーツの話題を隅々まで
松木安太郎を中心に伝えます！

さらに松岡修造は2020に向け
情熱を捧げる人たちを全力応援！！



毎週

日曜あさ サンデー LIVE!内 放送



岡崎慎司 選手
〔SDウエスカ〕



熊谷紗希 選手
〔オリンピック・リヨン〕



清水和也 選手
〔コルドバ・パトリモニオ〕



高橋秀人 選手
〔サガン鳥栖〕

特集

サッカーへの リスペクト

大切に思うこと

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で活動ができない中、それぞれの立場でどんなことを思い、どんなことに取り組んでいたのか。それぞれが感じた「大切に思うこと」について聞いた。



片野坂知宏 監督
〔大分トリニータ〕



川口修 監督
〔静岡学園高校〕



三田智輝 監督兼技術委員長
〔北マリアナ諸島〕



唐木田徹 審判ダイレクター
〔カンボジアサッカー連盟〕

岡崎 慎司 選手〔SDウエスカ／スペイン〕

目標に向かつて
頑張れるのは幸せなこと



環境の変化に
素早く順応する

スペインリーグは6月11日に再開され、今（6月22日現在）は週に2日、試合が行われています。それに合わせて試合の前々日と試合の翌日にPCR検査があります。試合前には検温が義務付けられています。試合は無観客ということもありますが、これまでとはいろいろな面で異なります。スタンドにサポーターがいないのでホームとアウェイの差がなくなり、各チームの勝率にも変化が出ているように

す。また、ベンチからの声がレフェリーにダイレクトに届くので、ジャッジにも影響が出ているように感じます。

チームの練習は5月11日から再開しましたが、ロッカーを使わないように練習着で自宅とクラブハウスを往復したり、メディカルチェックも人数制限を設けたりと、試合以外のところでも

大きく変わりました。今はこの環境にも慣れてきましたが、選手としてはこういう変化に早く順応することが大事ですね。

言葉で伝えるより
プレーを見て感じてもらいたい

スペインでは3月14日からロックダウン措置が取られました。もちろん日常生活にも変化があつて、子どもたちは自宅でオンライン授業、妻は息つく間もなく家事に追われ、僕は午前中に練習して午後からはサッカーのことをあまり考えず

に過ごしている、という具合。3、4週間たつとみんな行き詰つてしまつて……。

そこで、家族としっかり自分の役割を果たそうと話し合いました。僕は普段全く家事をやらないんですが、できる範囲ではあるもの、やるようになり、自身が変わるきっかけにもなりました。

練習はランニングマシンや体幹トレーニングを中心に、試合再開に向けて準備を進めていました。でも、同じことの繰り返しでは飽きてしまいますし、一人でやるのは限界があります。試合がないのに何のためにやっているんだろうという

気持ちにもなりました。特に海外にいるとより強くそれを感じてしまうんです。毎週試合があつて、そこで活躍することを目指して練習に取り組む。その活躍を皆さんに見てもらつて、楽しんでもらう。それがサッカー選手の本分だと思つています。それができないとなると……。僕はウェブ関係が苦手なんです、少しでも何かの役に立つようと、トレーニング動画をサイトにアップしたりしました。そこであらためて思ったのは、スポーツは言葉が先行してはいけないということ。言葉で伝えることは最小限にして、プレーを見て感じてもらうことが大切だ、と。

サッカーができるのであれば
それに全力を傾けるべき

今シーズンはスペイン移籍1年目で

ですが、コンスタントに得点できていて、チームにフィットしていると感じていました。その良い流れがリーグ中断で途切れてしまった。もう一度その流れをつかむためには、自分自身の成長が不可欠です。また、サッカーが日常に戻ってきた今、やっぱりサッカーに全力を傾けて生きるべきだと強く感じています。現在、リーグ上位は混戦状態なので、エネルギーをそこに注いで1部昇格を果たしたいと思えます。

日本のニュースもチェックしています。育成年代の大会が中止になっているのは残念ですね。「自分だったらどうするか」と想像するんですが、出し切れなかったものは次に生かす、と気持ちを切り替えるしかないと思うんです。この先も何かがあるか分からない時代の中で自分だけが何かを失つてしまったなどと考えないでほしい。つらい経験だと思いますが、この悔しさをモチベーションに変えて成長していつてほしいと思います。

指導者やクラブ経営者の方々も大変な思いをされていると思います。でも、こういふときだからこそ、みんなで団結してサッカーを盛り上げ、サッカーやスポーツが文化になっていけるように力を発揮してほしい。僕は欧州でプレーして、スポーツの力を感じています。ぜひ、日本もそうやっていけるように共に頑張りたいです！

熊谷紗希 選手 「オリンピック・リヨン／フランス」

命や健康の大切さを忘れず プレーできることに感謝を



はじめは優勝も 素直に喜べなかった

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、フランス女子サッカー1部リーグは2月下旬に中断となりました。3月上旬にアメリカで行われた2020 SheBelieves Cupからフランスに戻ると、フランス全土でロックダウン措置が取られ、外出が制限されました。そして4月下旬にリーグ戦の打ち切りが発表され、6試合を残して私たちリヨンの優勝が決まりました。チームは今シーズンも良い戦いをしていた、その結果、タイトル獲得となりましたが、（勝点3差で2位の）パリ・サンジェルマンとの大一番も残っていましたし、正直、試合で勝って優勝を決めたかったので、はじ

めは素直に喜べないところもありました。

一人でやり続ける大変さを痛感

3月17日からのロックダウンは約2か月間続きました。その間、チームとしての活動はできませんでしたが、クラブから毎週トレーニングメニューが送られてきて、毎日そのメニューを自宅でこなしていました。

メニューはなかなか盛りだくさんで、ボールを使わない筋トレと走りなどのトレーニングを一人でこなすことがこんなに大変なことなのだと思います。トレーニングをする時間などは完全に選手個人に任されていたのですが、タイムや回数を競い合うなど、工夫もされていました。で

も、先が見えない中で2カ月間も一人でトレーニングを続けるのは、正直、なかなかしんどかったです。「どこに向けて今、追い込んでいくんだろう」と思うこともありました。そういう日は、良い意味で切り替えて、やめてしまおう。そして、やらない自分を許していました。あとは、普段はやらないリフティングをし、一日一技を目標にして、できないことができるようになる喜びに浸っていました。完全に自己満足ですけどね（笑）。思い切りボールを蹴られないのはツライですが、みんなが同じ状況だから仕方ないし、不安に思うことはなかったですね。

トレーニング以外の時間については、私は元々、フリータイムは自宅で過ごすことが多いので外出制限がかかっても苦にはなりませんでした。買い物も週に一度まとめ買いに行くようにし、逆に週に一度で済ませることができ、今後もそうしよう、と（笑）。また、3食全てを自分で用意しなければならぬので、糖質を気にしてみたり、そういうところに時間をかけていました。

サッカーができる喜びを実感

本来であれば、7月には東京オリンピックが開幕するはずでした。大きな目標でしたから、延期は悔しい。でも、これも仕方のないこと。あと1年あると考えて、これまでやってきたことを見直し、個人としても代表チームとしてもさらにレベルアップしたいと思います。

残念なのは、中学・高校年代の大会が中止になってしまったことです。限られた時間の中で絆を深めた仲間と戦う機会を失ってしまった。選手たちは悔しさをぶつけるところがありませんから、本当に残念に思います。でも、大事なのはここからで、未来を見据えて行動できるかどうか。将来、振り返ったときに「こんなこともあったよね」と思えるくらいに頑張っていたほしいですね。

サッカーがある日常というのは、私にとって当たり前なことでした。その日常が失われ、いろいろと考えさせられました。このような事態では、やはり観客が集まるスポーツやイベントは真っ先に中止になります。でも、私はサッカーで生きているので、そこを続けることを続けていくしかない、それに尽きます。今は非常に難しい時期ですが、試合が再開されれば、観客の有無にかかわらず大きな喜びを得ることができるとは思います。サッカーから離れざるを得なかったことで、サッカーの楽しさやプレーできる喜び、仲間の大切さをあらためて実感しました。今後はさらにその思いを強くし、プレーしていきたいと思っています。読者の皆さんは、選手、指導者などいろいろな立場にあると思いますが、今回のコロナ禍で感じた命や健康の大切さをいつまでも忘れず、サッカーができることに感謝しながら一緒に頑張っていきたいと思います！

高橋 秀人 選手 (サガン鳥栖)

さすががしい気持ちでプレーで表現する



「Instagram」で生放送を配信する「インスタライブ」もその一つです。

選手が他の選手をゲストとして招いてトークを繰り広げながら視聴者の質問に答えたり、視聴者と一緒にコラボ配信をしたり……。SNSを使ったライブでのやり取りは斬新ですし、選手とファンをつながりを保つことはもちろん、サッカーをより身近な存在に感じてもらおうきっかけになったと感じています。

日本プロサッカー選手会(JPFA)による「チャント手洗い」(※)も広がりを見せました。手洗いという、感染症を防ぐためにまずすべきことを伝えるのは重要ですし、選手が歌いながらそれをするのは何ともユニークです。チャントを歌いながら手を洗う親の姿を見て、子どもが手洗いをしようになった家庭もあると聞きます。

これらの取り組みを通じて、ファン・サポーターだけではなく、選手間、クラブ間の連携で何か一つのことを成し遂げられると実感しました。選手一人の発信には限界があるけれど、みんなで取り組

**みんなで取り組めば
大きなうねりになる**

3月から2カ月半、試合はおろか練習さえできない日々が続きました。プロサッカー選手なのにボールを蹴ることができないもどかしさ。自分にとってサッカーとは何か、自分ができるとは何かを考えました。

その中で、選手たちがJリーグの中断期間に行ったさまざまな取り組みは、意味があるものだったと思います。「インス

グラム」で生放送を配信する「インスタライブ」もその一つです。選手が他の選手をゲストとして招いてトークを繰り広げながら視聴者の質問に答えたり、視聴者と一緒にコラボ配信をしたり……。SNSを使ったライブでのやり取りは斬新ですし、選手とファンをつながりを保つことはもちろん、サッカーをより身近な存在に感じてもらおうきっかけになったと感じています。

日本プロサッカー選手会(JPFA)による「チャント手洗い」(※)も広がりを見せました。手洗いという、感染症を防ぐためにまずすべきことを伝えるのは重要ですし、選手が歌いながらそれをするのは何ともユニークです。チャントを歌いながら手を洗う親の姿を見て、子どもが手洗いをしようになった家庭もあると聞きます。

サッカーっていいな と想ってもらえるように

自分が考えるサッカーへのリスベクトは、サッカーと真摯に向き合うことです。ボールを蹴り始めた頃、どうすればうまくボールを上げてリフティングを続けられるか、壁当てをしながらどこにボールを当てるとうまく跳ね返ってくるかなど、ただ楽しくて、うまくなりたくてサッカーをしていました。

それは、プロとしてプレーする今だからこそ持ち続けたい気持ちです。ピッチでサッカーと愚直に向き合っている選手ほど成長すると思えますし、そういう選手が多いチームほど強い。レギュラーを奪う、相手に勝つなど外的なものに対するモチベーションも大事ですが、それと同時にうまくやりたい、楽しみたいという内的な要素も大切になりたい。コロナ禍によりサッカーから離れた時期があった今だからこそ、そう思うようになりました。

サッカー活動が再開し、チーム練習に組み込む中で、サッカーが生活のベースにあるありがたみや、自分はプロサッカー選手なのだということをあらためて噛みしめています。仲間とパス交換すること、芝生の上で激しい練習をこなすことを含め、サッカーと向き合っていることですが、さすががしい気持ちになれます。

Jリーグが再開した後は、そういう気持ちをプレーで表現したいですね。あとは、ファン・サポーターあつてのサッカーなので、彼らへの感謝の気持ちを持ち続けること。同時に、リモートマッチ(無観客試合)などで試合に来られない人たちに向けてできることも考える必要があると思っています。

それは、選手間でゴールパフォーマンスを考えることや、事前に選手を映しているカメラの位置を覚えてもらい、試合中のどこかのタイミングでメッセージを送ることもいいと思います。重要なのは、サッカーに関わる人たちへのリスベクトをどう示すことができるかを自問しながらプレーすること。一人でも多くの人に、「やっぱりサッカーっていいな」と思ってもらえるような試合がしたいです。

清水 和也 選手 (コルドバ・パトリモニオ／スペイン)



大事なものは、ピッチで
全てを解決させること

消化不良だった スペインでの半年

スペインのフットサル1部リーグは今年3月に中断を余儀なくされ、5月にレギュラーシーズンを切り上げて、上位8チームのプレーオフのみが行われることになりました。僕の所属するコルドバはプレーオフの出場権を得られなかったため、自分のシーズンはその時点で終了となってしまいました。

冬にコルドバに移籍して以降、負傷していたこともあってリーグ戦には3試合しか出場できず、正直、消化不良だと感じています。けがから回復して「これから」というところでリーグが中断期間に突入してしまったので、もう少しプレー

しなかったというのが本音ですが、スペインが受けた新型コロナウイルスの影響

を考えると、そんなことも言っていられないですね。ロックダウンが実施され、チームも3月末から自宅待機になり、僕も2カ月にわたって外出を禁じられました。その後、日本に帰国してから2週間の隔離生活を送って今に至るわけですが、今後も注意を払いながら生活しようと思っています。

今年もFIFAフットサルワールドカップが開催される予定でした(開催は21年に延期)。ワールドカップで活躍するために何ができるかを考えながら活動してきたのですが、けがの影響からか、想像していた以上に体力が回復しませんでした。

た。そんな中でも、自分に何が必要かを整理し、もう一回りレベルアップして相手に脅威を与えられる選手になる必要があると気づくことができました。これからは、攻撃だけではなく守備でもできることを増やしていきたいと思っています。

対戦相手も仲間 何かあっても引きずらない

このコロナ禍で、感染するリスクと戦いながら働いていた医療関係者はもちろん、みんなの生活を支えるために働いていたスーパーマーケットの店員さん、警察官など、さまざまな人たちにリスペクトと感謝の気持ちを抱くようになりました。

スペインでは毎日、コロナ禍で戦ってくれている人たちに感謝の気持ちを込めて、1分間、拍手を送っていました。夜8時になると、みんなが自分の家のベランダに出て、全員で拍手するんです。それに対してパトカーや消防車はサイレンを鳴らして気持ちを受け止めたという合図を出して応えるのですが、本当にいろいろな人が支え合っていて危機を乗り越えようとしていると感じました。そういう姿を見てみると、自分も行動を律するようになり、感染予防に努めることで、少しでも医療関係者にかかる負担を減らそうというマインドも芽生えます。

一人でできることは小さいことかもしれませんが、一人の言動や行動で流れが良い方向にも悪い方向にも変わることがあります。日本でプレーしていたとき、ある試合で対戦相手のユニフォームを着たファンから侮蔑の行為をされたことがありました。どれほどクリーナなクラブでも、それを損ねるような行動が一つでもあると、そのイメージが崩れかねません。こんなことは一度しか経験していませんし、今ならば「自分はそれくらい相手にとって嫌な存在なのか」と受け流せると思いますが(笑)、選手や指導者、審判員、ファン・サポーターはもちろん、フットサルに携わる全員にリスペクトが必要だと思っています。

個人的には、「ピッチで全てを解決させること」を重視しています。不満に感じる判定を下されたとき、相手からファウルを受けたときなど、ネガティブなことが起きても、全てをピッチで終わらせる。審判員や相手選手がいなければ試合は成り立ちませんし、僕もミスやファウルをしてしまうことはありますからね。何かあっても引きずることなく、その試合で完全に消化する。同じ競技に打ち込んでいる仲間としてフットサルを盛り上げていきたいですし、相手を敬う気持ちを持っていく選手が増えるほど、フットサル界も魅力的になっていくと思います。

日本サッカーミュージアム **11+**

〒113-8311 東京都文京区サッカー通り(本郷3-10-15)
Tel: 050-2018-1990

- 営業時間 火～金曜日 13:00～18:00 (最終入場17:30)
土・日・祝日 10:00～18:00 (最終入場17:30)
特別営業期間 10:00～18:00 (最終入場17:30)
- 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌火曜日)
年2回のメンテナンス期間
- 入場料 一般大人: 550円、小中学生: 300円、幼児: 無料
団体(20名様以上)・障害者の方:
大人450円、小中学生200円
※割引については、入場ゲートスタッフまでお問い合わせください。
- URL https://www.jfa.jp/football_museum/



現在は地下1階が入館口となっています

ミュージアム再開のご報告

日本サッカーミュージアムは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2月29日から臨時休館していましたが、緊急事態宣言等が解除されたことを受け、6月13日から段階的に営業を再開しました。

感染防止策として営業時間を短縮するとともに、入館可能居住地域の制約を設け、6月13日と14日は東京都居住者、6月20日からは首都圏居住者と段階的に解除。7月4日からは制限なしとしています(右表参照)。

再開にあたっては、新型コロナウイルス感染症予防、拡散防止対策を実施。館内には、注意事項や対策を記載したポスターを掲示しています。

現在、JFAハウス正面1階の入り口は閉鎖して、地下1階を入館口としています(車いす、ベビーカー等を利用している場合は1階オフィスエントランスからエレベーターで案内)。入館時には、サーモカメラを用いた体温計測と入館記録の記載、手指の消毒をお願いしています。館内では咳エチケットやソーシャルディスタンスの確保に努めていただくほか、館内の消毒、清掃、換気を徹底し、スタッフはマスクやフェイスガードを着用。スタッフの健康管理も十分に留意して営業しています。

ミュージアムは来館者の安全確保を最優先に考え、状況に応じた対策を講じながら、これまで通り日本サッカーの歴史に触れる場として迎えていきます。

※ミュージアムの感染拡大防止対策への取り組みはミュージアム公式サイト参照

※感染拡大防止対策は7月9日現在のもの

日付	入館可能対象地域	時間
6月13日(土)・14(日)	東京都居住者	11:00～17:00 (最終入場16:30)
6月20日(土)～ ※月曜休館	首都圏居住者 (東京、埼玉、千葉、神奈川、茨城、栃木、群馬、山梨1都7県)	土日 10:00～17:00 (最終入場16:30) 平日 13:00～17:00 (最終入場16:30)
7月4日(土)～ ※月曜休館	居住地域制限なし	土日 10:00～17:00 (最終入場16:30) 平日 13:00～17:00 (最終入場16:30)



感染拡大防止対策を記載したポスターを各所に掲示

入館口にはサーモカメラを用いた体温計測器やアルコール消毒液を設置。スタッフもマスクやフェイスガードを着用しています

■夏季特別開館のお知らせ

2020年7月23日(木祝)～8月23日(日)は夏季特別開館となります(営業時間10:00～17:00)。

日本サッカーミュージアムを支援いただいている企業(五十音順) ※2020年7月1日現在

株式会社ADKマーケティング・ソリューションズ
アスカ美装株式会社
キリンビール株式会社
キリンパレージ株式会社
KDDI株式会社
J-GREEN 堺・DREAM CAMP
株式会社JTBグローバルマーケティング&トラベル

株式会社Jリーグ
株式会社ジエブ
株式会社シミズオクト
株式会社スケール
ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社
株式会社テレビ朝日
株式会社テレビ東京

株式会社電通
株式会社電通ライブ
西鉄旅行株式会社
日本テレビ放送網株式会社
株式会社野村総合研究所
びあ株式会社
株式会社ビッグ・バーン

ホテル東京ガーデンパレス
マッシュコーポレーション株式会社
株式会社マッス
株式会社ムラヤマ
株式会社モルテン
ヤマザキビスケット株式会社
株式会社ユース・プランニングセンター

オーストラリア・ニュージージーランドの 共催が決定

初の2カ国共同開催

6月25日、国際サッカー連盟（FIFA）のカウンシルが開催され（※）、2023年のFIFA女子ワールドカップの開催地を決める投票が行われた。

同大会の招致については、6月8日にブラジルが、6月22日に日本が撤退したため、共同開催を提案しているオーストラリア・ニュージージーランドとコロンビアの騎打ちとなった。

同日はFIFA理事35人による投票が行われ（立候補国の2名は投票権なし）、22票を獲得したオーストラ

リア・ニュージージーランドに決まった。両国の女子ワールドカップの開催および

共同開催は初めて。各理事の投票結果はFIFAによって公開された（左表参照）。23年のFIFA女子ワールドカップは出場チーム数を24から32チームに拡大して開催され、7月から8月にかけてオーストラリアの8会場、ニュージージーランドの5会場で行われる予定となっている。

※当初カウンシルはチンビエで行われる予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大を受けオンラインで実施された。

日本の招致活動

日本サッカー協会（JFA）が23年FIFA女子ワールドカップを招致する方針を固めたのは13年12月だった。11年FIFA女子ワールドカップでなでしこジャパンが初優勝、12年のロンドンオリンピックと15年の女子ワールドカップはいずれも銀メダルの活躍で、これによって女子サッカーは国内で認知され、関心も高まっていた。女子サッカーの継続的な発展と普及を図り、より根強いものとするため、19年3月、FIFAに招致の意思を表明。翌月に「招致登録書」を提出して正式な立候補となった。

7月に発表した招致口コは、ピッチ上で交錯する選手、サッカーを通して人々が交わる様子を表現。同年の女子ワールドカップ・フランス大会で得た女子サッカーの勢いをさらに加速させ、23年の日本大会でその価値を最大限に高めたいという思いを込めた。


FIFAに提出する最終書類を準備する中、7月31日には23年大会から出場チーム数が32に増えることが決まり、FIFAは再度、招致の意向を確認。日本は立候補する意

思を再表明し、12月には開催提案書（招致ブック）や招致に関連した最終書類、開催合意書などを提出した。招致ブックでは、日本がこれまでFIFAクラブワールドカップ開催などで実績を残してきた運営能力の高さ、安全性、充実したスタジアムなどをアピール。また、新幹線など日本の優れた交通機関で結ばれる8つの都市のスタジアムを使用することで経費を抑え、FIFAが推奨するサステイナブル（持続可能）な大会を目指すことを明記した。

今年2月にはFIFA視察団が来日。自治体や施設の関係者、元なでしこジャパンの選手らも参加して日本開催への思いを伝えた。2月末には、日本招致委員会の委員長を務める田嶋幸三会長ら同委員会のメンバーが渡欧し、UEFA（ヨーロッパ

サッカー連盟）の理事会で招致のプレゼンテーションを行った。その後、SheBelieves Cupの視察でアメリカに渡り、CONCACAF（北中米カリブ海サッカー連盟）のFIFAカウンシルメンバーらとの懇談の際に日本開催の利点などを説明した（FIFAの規定に則り、FIFA承認を得て実施）。

【日本招致の動き】

2007年	なでしこvisionでFIFA女子ワールドカップ日本開催を目指すことを決定。理事会でも承認
2013年12月19日	理事会で2023年のFIFA女子ワールドカップ開催国への立候補を決定
2019年3月12日	同日付でFIFAに「招致意思表明書」を提出
2019年4月11日	FIFAに「招致登録書」を提出（正式な立候補）
2019年7月5日	日本招致口コ決定 
2019年7月19日	JFAハウスで第1回招致委員会を開催
2019年7月31日	FIFAカウンシルで2023年大会から出場チーム数を24から32に拡大することが決定
2019年8月28日	「招致意思表明および招致再登録書」をFIFAに再提出
2019年9月5日	「FIFA女子ワールドカップを日本で！」特設サイトをオープン
2019年12月12日	FIFAに開催提案書（招致ブック）や招致に関連した最終書類、開催合意書などを提出。日本は8のスタジアム、42のチーム・レフェリーベースキャンプを提案
2020年2月24日～27日	FIFA視察団が来日。24日にJFAハウスでプレゼンテーションを行い、27日までの4日間で埼玉、大阪、京都などで試合会場や提案施設を視察
2020年3月2日～3日	UEFA理事会でプレゼンテーション
2020年6月19日	第4回招致委員会を開催
2020年6月22日	招致からの撤退を決定

しかしJFAは、6月10日にFIFAから公表された報告書の評価や招致レースの動向、アジアの連携などさまざまなことを考慮し、6月22日招致から撤退することを決めた（3ページ巻頭言参照）。

田嶋委員長はこの決定について、「今回、招致活動を通して世界に日本開催の良さや可能性をアピールできたことは、将来再び立候補する際の布石となつたと思つ」と話した。

田嶋委員長はこの決定について、「今回、招致活動を通して世界に日本開催の良さや可能性をアピールできたことは、将来再び立候補する際の布石となつたと思つ」と話した。

田嶋委員長はこの決定について、「今回、招致活動を通して世界に日本開催の良さや可能性をアピールできたことは、将来再び立候補する際の布石となつたと思つ」と話した。

田嶋委員長はこの決定について、「今回、招致活動を通して世界に日本開催の良さや可能性をアピールできたことは、将来再び立候補する際の布石となつたと思つ」と話した。

【投票結果】

■オーストラリア・ニュージージーランド（22票）
INFANTINO Gianni (FIFA会長)、AL KHALIFA Shaikh Salman Bin Ebrahim (アジアサッカー連盟会長)、MONTAGLIANI Vittorio (北中米カリブ海サッカー連盟会長)、AHMAD Ahmad (アフリカサッカー連盟会長)、MALTOCK Lambert (オセアニアサッカー連盟会長)、ABO RIDA Hany (エジプト)、GULATI Sunil (アメリカ)、NSEKERA Lydia (ブルンジ)、BOUCHAMAOUI Tarek (チュニジア)、OMARI Constant (コンゴ民主共和国)、田嶋幸三 (日本)、FULFORD Sonia (タークス・カイコス諸島)、CHALUJA Pedro (パナマ)、HERNANDEZ Luis (キューバ)、CAMARA Almamy Kabele (ギニア)、AKHTER KIRON Mahfuza (バングラデシュ)、ARANETA Mariano (フィリピン)、NYAMILANDU Walter (マラウイ)、PATEL Rajesh (フィジー)、DU Zhaocai (中国)、PATEL Praful (インド)、AL MOHANNADI Saoud (カタール)

■コロンビア（13票）
DOMINGUEZ Alejandro (南米サッカー連盟会長)、CEFERIN Aleksander (ヨーロッパサッカー連盟会長)、CSANYI Sandor (ハンガリー)、CLARKE Greg (イングランド)、SARNEY Fernando (ブラジル)、MUNOZ Maria Sol (エクアドル)、CHRISTILLIN Evelina (イタリア)、SAVICEVIC Dejan (モンテネグロ)、SOROKIN Alexey (ロシア)、GOMES Fernando (ポルトガル)、KOUMAS Georgios (キプロス)、LE GRAET Noel (フランス)、ALONSO Ignacio (ウルグアイ)

サッカーなら、どんな障害も超えられる。

日本の人口の7%は障がい者です。その障がいは多様で、ひとつとして同じ在り方はありません。障がいがあっても、いつでも、どこでも、サッカーを心から楽しめる環境を。彼ら彼女らが社会にある"障害"を超えていくきっかけづくりやサポートも、サッカーならできる。私たちはそう信じて、日本障がい者サッカー連盟を推進していきます。

障がい者サッカー7団体は、日本サッカー協会と連携し、サッカー界の発展のために取り組みます。



切断障がい



脳性麻痺



精神障がい



知的障がい



電動車椅子



視覚障がい



聴覚障がい

日本アンブティサッカー協会

アンブティサッカーとは、足や腕に切断障がいのある人が行う7人制サッカーです。日常生活で使用する義手・義足を外してロフトランドクラッチで体を支えながらプレーします。

日本ソーシャルフットボール協会

ソーシャルフットボールとは、精神障がいのある人が行うフットサルやサッカーです。基本ルールは健常者と同じで、フットサルでは女子選手を含む場合に最大6人がコートでプレーするなど、一部特別ルールを採用しています。

日本知的障がい者サッカー連盟

知的障がい者サッカーとは、知的障がいのある人が行う11人制サッカーです。フットサルも行っています。ルールは健常者のサッカー・フットサルと同じで、プレーヤーの障がいの度合いにより試合時間が異なります。

日本電動車椅子サッカー協会

国際的にはパワーチェアフットボールと呼ばれ、自立歩行が困難な重度の障がいのある人が多く行う4人制サッカーです。手やアゴでジョイスティック型のコントローラーを操り、電動車椅子でプレーします。

日本CPサッカー協会

CPサッカーとは、脳の損傷によって運動障害がある人が行うサッカーです。Cerebral (脳からの) Palsy (麻痺) の頭文字をとり、そう呼ばれています。

日本ブラインドサッカー協会

ブラインドサッカーとは、視覚障がいのある人が行う5人制サッカーです。転がると音が出るボールを使用し、まわりの声を頼りにプレーします。2004年からパラリンピックの正式種目です。

日本ろう者サッカー協会

デフサッカーと呼ばれる、聴覚障がいのある人が行うサッカーです。サッカーとフットサルがあり、審判は笛だけではなくフラッグも使用するなど、視覚情報を頼りにプレーします。



一般社団法人 日本障がい者サッカー連盟

公式ユニフォームサプライヤー



パートナー



城南信用金庫

支援団体



住友ベークライト

General Partners

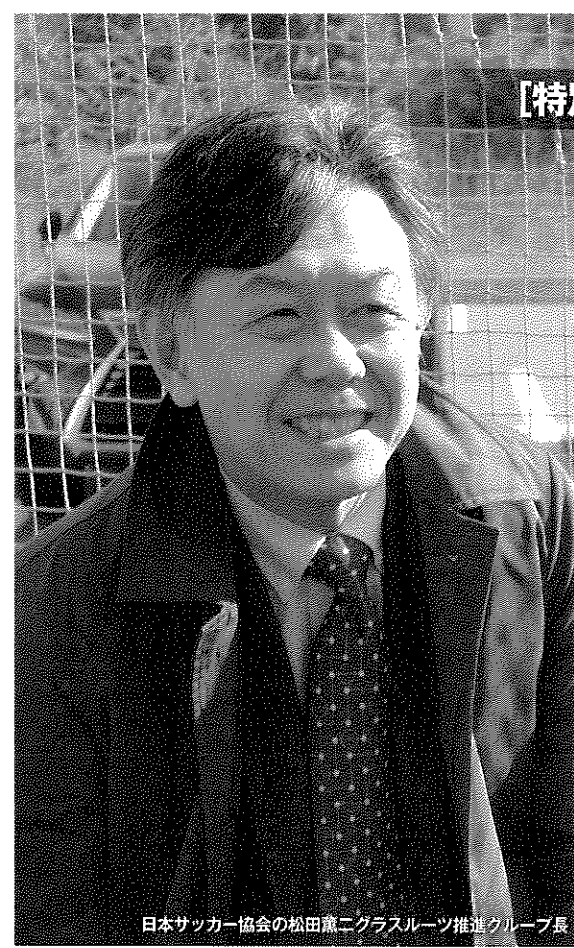
東京海上日動





「リコプエンテFC」の代表を務める江口力也さん

サッカーと福祉を 両立させる リコプエンテFCの 取り組み



日本サッカー協会の松田薫ニグラスルーツ推進クラブ長

日本サッカー協会(JFA)の松田薫ニグラスルーツ推進グループ長が、JFAグラスルーツ推進・賛同パートナーに話を聞く「グラスルーツ対談」。今回は「引退なし」「補欠ゼロ」「障がい者サッカー」「女子サッカー」「施設の確保」「社会課題への取り組み」の全てにエントリーしている「リコプエンテFC」(愛知県豊橋市)の江口力也代表との対談をお送りする。

対談日：2020年2月17日

障がい者福祉とサッカー

松田 リコプエンテFCは、JFA

グラスルーツ推進・賛同パートナーとして「引退なし」「補欠ゼロ」障がい者サッカー「女子サッカー」施設の確保「社会課題への取り組み」の6つにエントリーしています。クラブチームの運営やサッカースタッフだけでなく、障がい者福祉にも関わっておられますが、どのような経緯で活動を始めたのでしょうか？

江口 もともと私は熊本の天津高校、愛知県の中京大学でサッカーをしていました。将来はサッカーの指導に関わりたいと思い、大学卒業後は熊本高校で講師とサッカー部のコーチをしていました。結婚と同時に妻の実家がある愛知県の豊橋に移り、そこで10年間、別の仕事に従事しました。

松田 その間はサッカーからは離れていたのですか？

江口 はい。でも年月が経つにつれて、どうしてもサッカーを教える仕事がしたいと思い、指導者ライセンス

意味で限界がくると思ったんです。

松田 少子化はサッカー界だけでなく、日本全体の問題ですね。

江口 クラブを立ち上げてコーチを雇用するとなるとリスクがあると思いました。10年、20年と継続して運営できるクラブにはならないのではないかと。良い方法がないかと考えていたときに、妻の祖父から障がい者福祉の話聞いて「協力するから、やってみたら？」と言われて、妻と二人で2017年にスタートしました。

スポーツや遊びでエネルギーを分散

松田 障がい者福祉とサッカーをどう結びつけていったのですか？

江口 障がいを持った子どもたちを預かる施設は各地にたくさんあるのですが、多くのところが施設に子どもたちを集めて、入浴、排せつ、食事など生活能力の維持・向上のための訓練をして、時間がきたら家に帰すという形を取っています。でも私にはサッカーの指導経験があるので、ただ預かるだけではなく、子どもたちの「できること」を増やしてあげよう、スポーツや遊びを一緒にする中で、子どもたちの成長を見守ろう、そう考えてカリキュラム

松田 そういった環境が身近にあったわけですね。

江口 親族に障がい者福祉に詳しい者がいて、話を聞かせてもらったことが活動を始めるきっかけになりました。また、私の親族に知的障がいを持つ男の子がいたんですね。それと、妻の祖父が障がい者福祉サービスの事業所設立に携わったことがあり、知見をたくさん持っていました。

江口 そうなんです。当時の私はサッカーの仕事をしたいと思っていたのですが、住んでいる愛知県の豊橋は野球が盛んな地域ですし、10年先、20年先を考えたときに、子どもが減っていく現状があります。その中でサッカークラブを作って子どもたちを教えるだけでは、いろいろな

をつくりました。施設の横にグラウンドを造り、そこでサッカーや遊びをする時間を設けています。

松田 施設に集まってくるのは、どういふ子どもたちなのですか？

江口 小学校3年生から高校3年生までを預かっています。子どもたちは、日中は支援学校に行っているので、放課後に施設に来ます。おやつ作りやスポーツをして、夕方に家に送り届けます。日中は、介護を要する障がい者の方を預かり、調理実習やスポーツ、娯楽の場を提供しています。

松田 放課後等デイサービスは、今まで預かるだけのところがほとんどだったんですか？

江口 そうなんです。特に思春期



スポーツや遊びを一緒にする中で、子どもたちの成長を見守っている

の子どもは、エネルギーをどう発散しているかがわかりません。外に出て運動するのは体に良いですし、運動による疲労感もあつて家に帰ってから暴れることが少なくなりました。インフルエンザなどにかかる子どももほぼゼロで、生活リズムが整うので、保護者の方には非常に喜ばれます。

松田 福祉とサッカーを両立させているところは他にありませんか？

江口 私が知る限りですが、うちだけだと思います。このやり方は、サッカーコーチの雇用でもメリットがあります。サッカーの指導者として生活したい人を採用して、昼間は障がい者福祉施設の職員として仕事をしてもいい、夕方からサッカーコーチとして活動してくれば、十分な賃金を払うことができます。

松田 まさにグラスルーツ推進・賛同パートナー制度の「障がい者サッカー」施設の確保「社会課題への取り組み」ですね。施設やグラウンドを造るとなると、かなりのお金が必要だったのではないですか？

松田 それは素晴らしいアイデアですね。コーチもサッカーだけでなく、地域とつながってさまざまな経験をすることができ、生活の面でも不安がない。

江口 駅から離れていますし、もとは防風林だったところなので土地代はそれほどではありません。それでも、林を整理してグラウンドにしたのでそれなりの金額はかかりましたけど(笑)。障がい者福祉は国から補助金が支給されるので、そのお金で職員を雇用したり、グラウンドを福祉施設に貸し出す形にすることで金銭的な補填をしたりして、障がい福祉もサッカーも無理なく回るようにしています。

独自のスキームで6つのテーマを実現

松田 活動場所はどんなになっているのですか？

江口 豊橋市に生活介護・放課後

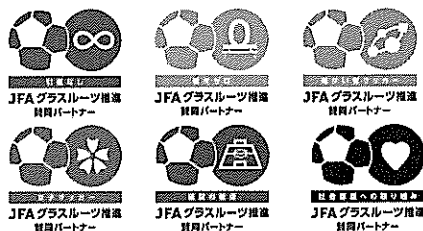
江口 フットサルコート2面を一つにするとソサイチ(※)ができる広さになるので、U・9、U・15、社会人のカテゴリーでソサイチリーグを立ち上げています。そこはスポンサーを募って参加費を安くするとともに、交代自由になっているので「補欠ゼロ」ですし、大人もプレーできる環境なので「引退なし」です。そのグラウンドでは、女子サッカーのなどしこひろばも開催しています。

松田 障がい者サッカーについて、どのような関わりをしていますか？

松田 障がい者サッカーについて、は、どのような関わりをしていますか？

か？

■JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度



日本サッカー協会(JFA)は、「JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度」を設けています。これは、「JFAグラスルーツ宣言」に賛同し、賛同パートナーになっていただくことで、グラスルーツサッカーを拡大していくことを目的とした制度です。

同制度は、「引退なし」「補欠ゼロ」「障がい者サッカー」「女子サッカー」「施設の確保」「社会課題への取り組み」という6つのカテゴリーがあり、それぞれのテーマに沿って活動している団体やチームを賛同パートナーとして認定。同賛同パートナーとなった団体やチームの活動を好事例として日本全国に広く紹介することで、グラスルーツサッカーへの理解が深まり、その輪が広がることを期待しています。

日本サッカー協会はこの制度によって、年齢や性差、障がいの有無、国籍などにかかわらず、誰もがレベルや目的に合わせて気軽にサッカーを楽しめる環境を広げていきたいと考えています。

JFA.jp

https://www.jfa.jp/grass_roots/partner/

※次号掲載の後編に続きます

松田 グラウンドを拠点にさまざまな活動をしているわけですね。脱帽です。

江口 チームを持っているわけではないのですが、アンパティサッカーのガネーシヤ静岡AFCやブライインドサッカーのミックスセンス名古屋などを誘致しています。うちのグラウンドにきて練習してもらったり、スタッフが競技のサポートをしたりしています。障がい者サッカーのチームが気兼ねなく借りられるグラウンドは少ないですし、施設にはボランティアのスタッフがいますので練習パートナーにもなることができます。

JFAアカデミー 2021年度入校生選考試験を実施

～福島男子はプレー動画セレクションを新設

■反町康治 JFA技術委員長メッセージ

JFAアカデミー福島男子では新たな取り組みとしてプレー動画の投稿によるセレクションを実施します。これは、可能性を秘めた選手をより早期にかつ新たな手法で発掘することを目的としています。JFAによる育成メソッドのもと、「世界トップ10を目指した個の育成」をキーワードとし、17歳でプロデビューできるような選手を育てたいと考えています。

才能を持つだけでは、必ずしも開花するとは限りません。才能を持つ者に良い環境を与え、本人の努力が伴うことによって、世界に通用する選手が育成できると考えています。「世界基準」で日本をリードし、サッカーのみならず、広くスポーツ界、社会全体に発信できるようなトータルなリーダーシップを備えた人材の育成を目指しています。より多くの投稿から、多くの可能性・才能が発掘できることに期待しています。

日本サッカー協会（JFA）は、JFAアカデミーの2021年度入校生の選考試験を実施する。JFAは2006年、「世界トップ10を目指した個の育成」「世界基準を日常に」をキーワードにJFAアカデミー福島を開校。常に「どんなときでも、日本でも海外でもポジティブな態度で何事にも臨み、自信に満ち溢れた立ち居振る舞いのできる人間を育成する。」のフィロソフィー（目的）の下、ロジング形式によって能力の高い選手に良い指導、良い環境を与え、サッカーのみならず人間の面の教育も重視し、社会をリードしていきける真の世界基準の人材育成に取り組んできた。現在、男子は福島と熊本宇城、女子は福島、堺、今治の各校で計246人の選手が日々切磋している。

JFAアカデミー福島は11年から一時的に静岡県に移転していたが、男子は21年から福島県に戻って活動を再開することが決まっており、同時に、国内のユース年代を取り巻く基盤整備が大幅に進んだことから、これまでの中学・高校の6年制を中学3年制へ移行する。それに伴い、JFAは、個の育成を徹底して「17歳でプロを目指す」という新たなコンセプトで福島男子の新加入選手を募集することとし、21年度の選考試験では「プレー動画セレクション」を新設した。トレセン選出実績のない選手も申し込みが可能で、JFA専属のコーチングスタッフが審査する。

2021年度入校選考試験 実施概要 ※2020年7月10日時点

<男子>

■JFAアカデミー福島

●募集学年・人数：18名程度[2021年4月に中学1年生となる男子(現在小学6年生の男子)]
※2021年度より1学年ずつ募集し、2023年度に3学年がそろう

●出願資格：

- ・都道府県トレン選出実績のある選手(2019年1月/小学4年生3学期～2020年7月/小学6年生1学期)
- ・都道府県下のブロック(市町村郡) 地区のトレンに選出実績のある選手(対象期間：2019年1月～2020年7月)
- ・プレー動画投稿による選考で試験への参加を認められた選手

●選考試験日程

- ・1次選考試験 9月21日(月祝) 札幌サッカーアミューズメントパーク
9月26日(土) Jヴィレッジ
10月3日(土) J-GREEN堺 [大阪府堺市]
10月10日(土) 高門宮記念JFA夢フィールド
10月11日(日) 御殿場高原時之栖Aグラウンド [静岡県御殿場市]
- ・最終選考試験 10月24日(土)～25日(日) Jヴィレッジ(1泊2日)

●選考試験免除：アカデミースタッフによるスカウティング

●プレー動画セレクション：

都道府県トレンへの選出実績(予定)がない選手でも、可能性を秘めた選手の発掘を目的に、プレー動画の投稿による選考を行う。投稿動画で希望する場合は、投稿用フォームに必要事項を記入の上、TwitterもしくはYouTubeへアップした動画のURLを提出する。[投稿期間：6月29日(月)～8月3日(月)]

●出願締切：8月24日(月)15:00

■JFAアカデミー熊本宇城

●募集学年・人数：18名程度[2021年4月に中学1年生となる男子(現在小学6年生の男子)]

●選考試験日程：12月12日(土)～13日(日) ※2日間通して実施(宿泊なし)
宇城市立ふれあいスポーツセンター [熊本県宇城市]

●出願締切：10月29日(木)15:00

<女子>

■JFAアカデミー福島

●募集学年・人数：6名程度[2021年4月に中学1年生となる女子(現在小学6年生の女子)]

●選考試験日程：

- ・1次選考試験 9月20日(日) 帝人アカデミー富士 [静岡県裾野市]
9月22日(火祝) 帝人アカデミー富士 [静岡県裾野市]
予備日9月26日(土) 帝人アカデミー富士 [静岡県裾野市]
- ・最終選考試験 10月10日(土)～11日(日) ※2日間通して実施(宿泊なし)
帝人アカデミー富士 [静岡県裾野市]

●出願締切：9月3日(木)15:00

■JFAアカデミー堺

●募集学年・人数：12名程度[2021年4月に中学1年生となる女子(現在小学6年生の女子)]

●選考試験日程：

- ・1次選考試験 10月3日(土) J-GREEN堺 [大阪府堺市]
10月4日(日) J-GREEN堺 [大阪府堺市]
予備日10月11日(日) J-GREEN堺 [大阪府堺市]
- ・最終選考試験 10月31日(土)～11月1日(日) ※2日間通して実施(宿泊なし)
J-GREEN堺 [大阪府堺市]

●出願締切：9月17日(木)15:00

■JFAアカデミー今治

●募集学年・人数：12名程度[2021年4月に中学1年生となる女子(現在小学6年生の女子)]

●選考試験日程：

- ・1次選考試験 10月10日(土) 桜井海浜ふれあい広場サッカー場 [愛媛県今治市]
予備日10月11日(日) 桜井海浜ふれあい広場サッカー場 [愛媛県今治市]
- ・最終選考試験 11月28日(土)～29日(日) ※2日間通して実施(宿泊なし)
桜井海浜ふれあい広場サッカー場 [愛媛県今治市]

●出願締切：9月24日(木)15:00

<出願方法>

保護者がパソコン、スマートフォン等でJFA公式ウェブサイト内「2021年度JFAアカデミー入校選考試験出願案内ページ」から個人情報を入力し、出願する。

※出願フォームは7月下旬より公開予定。新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、試験は延期や中止となる場合あり。

入校生選考試験および出願案内ページの詳細はこちら▶▶▶https://www.jfa.jp/youth_development/jfa_academy/application.html



(2021年度入校の場合)

JFAアカデミー福島	JFAアカデミー熊本宇城・堺・今治
ロジング(完全寄宿制) 長期休暇(春・夏・冬)は帰宅する。	ロジング(寄宿制)+週末帰省 平日は家に寄宿しながら、中学校、アカデミーでの活動を行い、週末や長期休暇は帰省し地元チームでの活動を行う「週末帰省型」を採用。(例外として、アカデミー活動や学校行事等で帰省しないこともあります。)そのため毎週末無理なく帰省できる選手が対象。
男子：中学校の3年間(福島県での活動) 女子：中学校・高校の6年間(中学の3年間は静岡県、高校の3年間は福島県での活動)	中学校の3年間(熊本宇城：男子のみ、堺・今治：女子のみ)
チーム登録をして活動	アカデミーとしてチーム登録は行わず、各自が自宅近くのチームに所属(登録)し、帰省時にはその所属チームで活動

新型コロナウイルス感染症対策 JFAサッカーファミリー支援事業 GOALS beyond COVID-19 ~この危機を、ともに乗り越える~

本支援事業の詳細は、特設ウェブサイト「JFAサッカーファミリー支援窓口」でご確認いただけます。

JFAサッカーファミリー支援窓口ウェブサイト：
<http://www.jfa.jp/ffsupport/>

■お困りごと入力フォーム

新型コロナウイルス感染症に関連するご意見やお困りごとなどは、JFAサッカーファミリー支援窓口ウェブサイト内「お困りごと入力フォーム」よりお寄せください。今後の対策の参考とさせていただきます。

■登録料免除

新型コロナウイルスで経済的な影響を受けた登録者（あるいは登録予定者）に対し、特別措置として、2020年度のJFA選手登録料（分担金）の免除対応を実施します。

対象：●サッカー選手個人
●フットサル選手個人（ビーチサッカーを含む）

※2020年度初回登録時のみを対象

■免除額は各登録料のうちJFA選手登録料（分担金）にあたる金額（詳細は下表の通り）

種別	サッカー選手	フットサル選手
第1種	2,000円	1,000円
第2種	1,000円	700円
第3種	700円	500円
第4種		
女子	Lリーグ/一般/大学	18歳以上 2,000円
	高校/クラブ高校	18歳未満 1,000円
	中学/クラブ中学	15歳未満 700円
シニア	1,500円	—

申請：各チームで所属選手の免除希望を取りまとめ、登録責任者等のチーム代表者からチーム単位でJFA宛に申請してください。申請フォームはKICKOFFを通じて、チーム宛に別途ご案内します。

※申請手続きの詳細はJFAサッカーファミリー支援窓口ウェブサイトをご参照

【地域・都道府県サッカー協会等の登録料（分担金）について】

今回、JFA選手登録料（分担金）については、支援希望のあった登録者に対して免除の措置を行います。地域・都道府県サッカー協会や各種連盟分の登録料については、各団体の自主判断に委ねておりますので、登録料（分担金）の主旨を理解いただき、各団体の判断に準じて対応してください。

■新型コロナウイルス感染症対策 JFAサッカーファミリー支援金口座開設

使途：①JFAが行う「新型コロナウイルス感染症対策JFAサッカーファミリー支援事業」

※クラブ等への財政支援事業（融資型）の返済額の免除への活用も含む
具休例）選手がサッカーを楽しむ機会を存続させるため、クラブ（チーム）の支援に活用されます。

②その他、JFAが行う新型コロナウイルス関連の9地域／47都道府県サッカー協会、リーグ、連盟等への支援
具休例）中止や延期による影響を受ける各種団体の大会や普及・育成事業、指導者養成事業や審判養成事業などの活動支援に活用されます。

募集期間：2020年5月14日（木）～

支援金口座：みずほ銀行（0001）渋谷支店（210）
普通預金 口座番号 3079244
公益財団法人日本サッカー協会
新型コロナウイルス感染症対策支援金口
※振込手数料をご負担ください。

※クレジットカード決済による寄付も準備しています（準備でき次第公開）。

税制上の優遇措置：

日本サッカー協会への寄付金は、特定公益増進法人に対する寄付金となり、税制上の優遇措置が適用されます。

※詳しくは国税庁のウェブサイトでご確認ください。

※領収証の発行をご希望の方は下記フォームにご記入ください。

<https://forms.gle/GVnxj6q6kj9QfzMT8>

支援者からのメッセージ：

ご支援いただいた方からメッセージを募集します。

<https://forms.gle/6V1PXCRStF5q4M467>

※メッセージはJFA公式ウェブサイト内で公開する場合があります

JFAサッカーファミリー支援窓口ウェブサイトでは、その他にも下記内容を含めて関連情報を随時更新していきます。

- クラブチーム向け支援制度のご紹介（政府関連）
- クラブ支援活用事例
- 登録指導者リフレッシュポイント獲得期間の延長
- 第1次サッカーファミリー財政支援事業（融資型）の融資決定先一覧 など

延期・中止となった日本代表戦4試合が対象イベントに指定 ～チケットを払い戻しせず寄付することによる税優遇措置 ※5月25日発表

新型コロナウイルス感染拡大防止のために延期・中止等となった各種イベントのチケットを、払い戻さず寄附することによって税優遇を受けられる制度が新設されたことを受け、JFAは日本代表戦4試合をこの対象となるようスポーツ庁に申請し、5月22日付で文部科学省から指定を受けた。対象となる試合および手続きなどは下記の通り。

JFAはこの税優遇処置による寄付金を「新型コロナウイルス対策 JFAサッカーファミリー支援金」に充てることとしている。

【税優遇の対象となる試合】

- FIFAワールドカップカタール2022 アジア2次予選 兼 AFCアジア
カップ中国2023 予選
3月26日(木)愛知/豊田スタジアム
SAMURAI BLUE (日本代表) 対 ミャンマー代表
- 国際親善試合
3月27日(金)京都/サンガスタジアム by KYOCERA
U-23日本代表 対 U-23南アフリカ代表
- 国際親善試合
3月30日(月)福岡/博多の森球技場
U-23日本代表 対 U-23コートジボワール代表
- MS&ADカップ2020
4月11日(土)宮城/ユアテックスタジアム仙台
なでしこジャパン (日本女子代表) 対 ニュージーランド女子代表

【手続き方法】

- 対象となる試合のチケットが手元にある場合
- ① 「払戻請求権放棄に係る申請書」をJFA公式ウェブサイトからダウンロードして必要事項を記入、印刷し、お手元のチケットと共に2020年9月30日(水)必着で、以下宛先まで郵送。
<申請書とチケットの送付先>
〒113-0033
東京都文京区サッカー通り(本郷3丁目10番15号)JFAハウス
公益財団法人日本サッカー協会 競技運営部 国際試合 寄付担当者 宛

② 申請書とチケットの到着後、1カ月程度でJFAから「払戻請求権放棄証明書」「指定行事証明書」を発送。

③ 翌年に自身で確定申告を行う。

● 既に払い戻しを受けその払い戻し分を寄付することを希望する場合

払い戻し分をJFAに寄付することで税優遇の対象となる。税優遇の受付は2020年9月30日(水)必着。チケットの購入証明が必要となるため、対象者は各プレイガイドから直接購入した本人のみ。寄付金の受付は9月25日(金)まで。

① 以下の寄付金受付口座に振込

三菱UFJ 銀行(0005) 渋谷支店(135)普通預金 3456779

公益財団法人日本サッカー協会 一般口

ザイ)ニホンサッカーキョウカイ イツパングチ

※利用金融機関が設定する振込手数料は自己負担

② 「既に払い戻しを受けたチケット購入者による寄付に係る申請書」をJFA公式ウェブサイトからダウンロードして必要事項を記入、印刷し、振込用紙(写し)と共に2020年9月30日(水)必着で以下の宛先まで郵送。

<申請書とチケットの送付先>

〒113-0033

東京都文京区サッカー通り(本郷3丁目10番15号)JFAハウス

公益財団法人日本サッカー協会 競技運営部 国際試合 寄付担当者 宛

③ 申請書と振込用紙(写し)の到着後、1カ月程度でJFAから「払戻請求権放棄証明書」と「指定行事証明書」を発送。

④ 翌年に自身で確定申告を行う。

※税優遇を受けられる具体的な流れ、よくある質問についてはスポーツ庁ウェブサイト参照

https://www.mext.go.jp/sports/content/20200430-spt_sseisaku01-000006401_3.pdf

JFA 第19回全日本O-50サッカー大会 日程が決定 ※6月16日発表

JFAは、新型コロナウイルス感染拡大の影響によって延期となっていたJFA 第19回全日本O-50サッカー大会を12月19日(土)~21日

(月)の日程で静岡県藤枝市で開催することを決定した。ただし、今後の感染状況によっては開催可否を再度検討する。

高円宮杯 JFA U-18サッカープレミアリーグ2020開催中止 ※6月19日発表

JFAは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、「高円宮杯 JFA U-18サッカープレミアリーグ 2020」の開幕を延期した(4月2日発表)。その間、再開について協議を続けてきたが、全国をまたぐ移動による感染リスクを払拭できないことから選手らの安全を第一に考えて中止することを決定した。それに伴い、東西リーグの優勝チームが真の日本一を懸けて対戦する「高円宮杯 JFA U-18サッカープレミアリーグ

2020ファイナル」およびプレミアリーグ昇格を決める「高円宮杯 JFA U-18サッカープレミアリーグ2020プレーオフ」も中止となる。

【中止となる競技会】

総称 : 高円宮杯 JFA U-18サッカーリーグ 2020

主催 : 公益財団法人 日本サッカー協会

JFAリリースインフォメーション&活動報告 月刊レポート

協賛 : JFA Youth & Development Official Partner
アイリスオーヤマ株式会社、トヨタ自動車株式会社、ニチバン株式会社、株式会社モルテン

名称 : 高円宮杯 JFA U-18サッカープレミアリーグ 2020
開催日程 : 2020年4月4日~12月6日
会場 : 全国各地
参加チーム : 【EAST 10チーム】

青森山田高校/浦和レッズユース/大宮アルディージャU18/市立船橋高校/柏レイソルU-18/流通経済大学附属柏高校/FC東京U-18/横浜F・マリノスユース/横浜FCユース/清水エスパルスユース

【WEST 10チーム】

ジュビロ磐田U-18/名古屋グランパスU-18/京都サンガF.C. U-18/ガンバ大阪ユース/セレッソ大阪U-18/ヴィッセル神戸U-18/サンフレッチェ広島F.Cユース/東福岡高校/サガン鳥栖U-18/大津高校

名称 : 高円宮杯 JFA U-18サッカープレミアリーグ2020
ファイナル

開催日程 : 2020年12月13日

会場 : 埼玉県/埼玉スタジアム2002

対戦 : プレミアリーグEAST優勝チーム 対 プレミアリーグWEST優勝チーム

名称 : 高円宮杯 JFA U-18サッカープレミアリーグ2020
プレーオフ

開催日程 : 1回戦 12月11日、2回戦 12月13日

会場 : 広島県内

参加チーム : 高円宮杯 JFA U-18サッカープリンスリーグ2020の9地域(北海道、東北、関東、北信越、東海、関西、中国、四国、九州から)成績上位の計16チーム(プレミアリーグ所属チームのセカンドチームは含まない)※[出場枠数]北海道:1チーム、東北:2チーム、関東:3チーム、北信越:2チーム、東海:2チーム、関西:1チーム、中国:2チーム、四国:1チーム、九州:2チーム

高円宮杯 JFA U-18サッカープレミアリーグに代わる新たな合同リーグを開催 ※6月19日発表

JFAは、高円宮杯 JFA U-18サッカープレミアリーグ2020の中止に伴い、2020年度に限り、プレミアリーグの20チームが同プリンスリーグ2020(各9地域開催:88チーム)に加わる新たなリーグを開催することとし、各地域においてその準備をスタートさせた。プレミアリーグの中止によって選手のゲーム環境が失われることのないよう、新型コロナウイルス感染拡大の第2波、第3波の影響や移動による感染リスクを考慮しつつ、各地域で新たにプレミア・プリンス合同リーグを開催する。

【新たな合同リーグの概要】

主催 : 地域サッカー協会

協賛 : JFA Youth & Development Official Partner
アイリスオーヤマ株式会社、トヨタ自動車株式会社、ニチバン株式会社、株式会社モルテン

参加チーム : プレミアリーグ所属20チーム、プリンスリーグ所属88チームの計108チームが9地域に分かれる(現行のプリンスリーグにその地域に所属するプレミアリーグチームが参入する予定)

開催日程 : 2020年8月下旬~12月下旬

会場 : 全国各地(各9地域内)

※大会名称は決まり次第、発表予定

※プレミアリーグ所属チームがない北海道、北信越、四国は、「高円宮杯 JFA U-18サッカープリンスリーグ 2020」を開催する

※開催日程・会場についてはJFA公式ウェブサイトをご参照(決まり次第発表)

■林義規 JFA副会長/競技会委員長 コメント

新型コロナウイルスの第2波、3波、それに伴う移動のリスク等、未だ予断を許さない状況が続いている。ゲーム環境プロジェクト、2種大会部会、プレミアリーグ代表者会議を3月から複数回開催し、検討を重ねてきた。このような形で苦渋の決断をせざるを得なかったのは、リーグ開催可否の判断が遅れると、新たな大会を作るという時間がなくなってしまうと考えたからだ。

このような状況下、各地域から「全国リーグができないなら地域単位で選手たちの試合環境を創り出してあげよう」と声が上がった。選手の楽しみや成長を奪うことはできるだけ避けたいというわれわれの思いと、この難局を一緒に乗り切ろうという地域でサッカーを支えている皆さまの熱い思いが合致して、今回の新しい形でのリーグが開催される運びとなった。

今後も安全面を第一優先とし、選手たちにサッカーをプレーできる環境を与えることができるように、引き続き努力していきたい。

日本サッカー協会

高円宮記念JFA夢フィールドの安全を祈念して子守神社で神事を執行

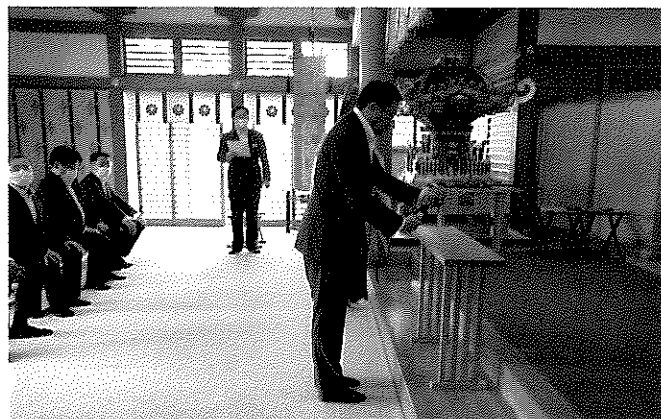
高円宮記念JFA夢フィールドが順調に稼働し、訪れる人たちが安全かつ快適にこの施設を利用できることを祈念して、JFAは6月8日、幕張の地を守る鎮守神様が祭られているとされる千葉県千葉市の子守神社で神事

を執り行った。

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、この日は最小限の人数で竣工の祈願を行うこととし、反町康治JFA技術委員長をはじめ、千葉県

サッカー協会、そして、建設に携わった設計監理者の株式会社三菱地所設計・戸田建設株式会社一級建築士事務所設計共同体、施工者の戸田建設株式会社、人工芝ピッチ施工者の東亜道路工業株式会社、コンストラクションマネジメントの株式会社山下PMC・株式会社オオバCM共同体の関係者らが出席した。

JFA夢フィールドは、「代表強化」「選手育成」「指導者養成」の三位一体の強化策と普及活動を推し進めていく施設であり、日本サッカーが築いてきたレガシー（財産）を次の100年につなげるために極めて重要な拠点となる。反町委員長は、「コロナ禍により、多くの方をお招きした式とはならなかったが、工事関係の皆様のご出席の下、滞りなく神事を執り行うことができた。JFA夢フィールドは代表活動の中心とし、サッカーの振興のためにJFA夢フィールドを有効活用していきたい」と話した。



子守神社で安全を祈願して執り行われた神事。写真は反町技術委員長

茂怜羅オズ氏がビーチサッカー日本代表監督に就任

JFAは、6月18日の理事会で、FIFAビーチサッカーワールドカップ2021を目指すビーチサッカー日本代表の新監督に茂怜羅オズ氏（東京ヴェルディビーチサッカー監督兼選手）が就任することを決定した。

茂怜羅氏は、ブラジル出身で2012年12月に日本国籍を取得。ビーチサッカー日本代表として106試合に出場し、113得点を挙げている（2020年6月18日時点）。2011年から2012年まではビーチサッカー日本代表のコーチを務めた実績も。FIFAビーチサッカーワールドカップパラグアイ2019では大会MVPに選出されるなど、世界でもその実力は高く評価されている。

今後、茂怜羅氏はビーチサッカー日本代表に選出され、監督兼選手の登録が認められない大会に出場する際は「選手」として登録し、監督は、別途コーチングスタッフを選出して当該大会に登録することとなっている。

※プロフィールなどの詳細は43ページ参照

【就任におけるコメント】

■茂怜羅オズ 監督

この度ビーチサッカー日本代表の監督に就任することになった。アジアのトップを経験した代表チームが、次は世界のトップに上り詰められ

るように、しっかりと準備をしていきたいと思っている。今後は選手としてだけでなく、監督としても日本にビーチサッカーというスポーツを広めつつ、世界に日本代表の強さを見せていけるよう、精いっぱい努めていきたい。

■北澤豪 フットサル委員長

ビーチサッカー界において世界を代表する人材に日本代表監督になっていただき、とてもうれしく思っている。2019年のFIFAビーチサッカーワールドカップは、チームが世界4位となり、今後、世界のトップになるにはどうすればいいか課題が分かった大会になった。茂怜羅オズ氏はそのワールドカップでMVPを受賞した。これまでのキャリアもトップクラスの選手。日本代表の選手たちに世界一流のスキル、戦術やメンタル面を落とし込んでもらい、日本代表が世界のトップになることを大いに期待している。

ビーチサッカー日本代表は今、世代交代の時期にきている。世界のビーチサッカーのトレンドを知り、日本国内のビーチサッカーの現状も把握している茂怜羅氏に代表の世代交代を進めてもらいながら、監督、そして選手として、日本ビーチサッカー界の中長期的ビジョンを浸透してもらいたい。

2020年JFA・JJリーグ特別指定選手

選手 : 長谷川 元希 (はせがわ もとき)
 ポジション : MF
 生年月日 : 1998年12月10日
 身長/体重 : 177cm / 70kg
 所属元 : 法政大学
 所属歴 : 新座たけしのキッカーズ⇒大宮アルディージャジュニア
 ユース⇒大宮アルディージャユース
 受入先 : ヴァンフォーレ甲府
 認定日 : 2020年6月2日

所属元 : 桐蔭横浜大学
 所属歴 : 国分西サッカースポーツ少年団⇒舞鶴中学校サッカー部
 ⇒神村学園高校
 受入先 : 川崎フロンターレ
 認定日 : 2020年6月10日

選手 : 橘田 健人 (たちばなだ けんと)
 ポジション : MF
 生年月日 : 1998年5月29日
 身長/体重 : 168cm / 65kg

選手 : 藤本 一輝 (ふじもと かずき)
 ポジション : FW
 生年月日 : 1998年7月29日身長/体重 : 179cm / 71kg
 所属元 : 鹿屋体育大学
 所属歴 : 油山カメリアーズ⇒サガン鳥栖U-15⇒藤枝明誠高校
 受入先 : 大分トリニータ
 認定日 : 2020年6月10日

JFAリリースインフォメーション&活動報告 月刊レポート

選手 : 杉浦 力斗(すぎうら りきと)
 ポジション : FW
 生年月日 : 2002年10月22日
 身長/体重 : 182cm / 70kg
 所属元 : 興国高校
 所属歴 : 生野ジュニアフットボールクラブ⇒IRIS生野SS
 受入先 : ツエーゲン金沢
 認定日 : 2020年6月10日

選手 : 梅木 翼(うめき つばさ)
 ポジション : FW
 生年月日 : 1998年11月24日
 身長/体重 : 184cm / 71kg
 所属元 : 福岡大学
 所属歴 : 出雲南ジュニアフットボールクラブ⇒出雲南フットボールクラブ⇒サンフレッチェくにびきフットボールクラブ⇒立正大学 浜南高校
 受入先 : レノファ山口FC
 認定日 : 2020年6月10日

選手 : 橋本 健人(はしもと けんと)
 ポジション : DF
 生年月日 : 1999年12月8日
 身長/体重 : 173cm / 60kg
 所属元 : 慶応義塾大学
 所属歴 : 横浜港北サッカークラブ⇒横浜FCジュニアユース⇒横浜FCユース
 受入先 : レノファ山口FC
 認定日 : 2020年6月10日

選手 : 松本 幹太(まつもと かんた)
 ポジション : FW
 生年月日 : 1998年7月16日
 身長/体重 : 172cm / 63kg
 所属元 : 桐蔭横浜大学
 所属歴 : MIP・FC⇒東京ヴェルディジュニアユース⇒東京ヴェルディユース
 受入先 : モンテディオ山形
 認定日 : 2020年6月16日

選手 : 阿部 要門(あべ かなと)
 ポジション : FW
 生年月日 : 2002年4月3日
 身長/体重 : 185cm / 79kg
 所属元 : 尚志高校
 所属歴 : モンターニャフットボールクラブ⇒蓬萊FC⇒福島ユナイテッドFCU-15
 受入先 : モンテディオ山形
 認定日 : 2020年6月16日

選手 : 関口 正大(せきぐち まさひろ)
 ポジション : DF

生年月日 : 1998年4月21日
 身長/体重 : 172cm / 66kg
 所属元 : 法政大学
 所属歴 : clubF3⇒FC五十嵐ジュニアユース⇒新潟明訓高校
 受入先 : ヴァンフォーレ甲府
 認定日 : 2020年6月16日

選手 : 長井 一真(ながい かずま)
 ポジション : DF
 生年月日 : 1998年11月2日
 身長/体重 : 180cm / 75kg
 所属元 : 関西大学
 所属歴 : 大阪セントラルFC⇒興国高校
 受入先 : 京都サンガF.C.
 認定日 : 2020年6月16日

選手 : 伊藤 敦樹(いとう あつき)
 ポジション : MF
 生年月日 : 1998年8月11日
 身長/体重 : 182cm / 78kg
 所属元 : 流通経済大学
 所属歴 : 道祖土サッカー少年団⇒浦和レッズジュニアユース⇒浦和レッズユース
 受入先 : 浦和レッズ
 認定日 : 2020年6月24日

選手 : 平井 駿助(ひらい しゅんすけ)
 ポジション : DF
 生年月日 : 2002年9月7日
 身長/体重 : 186cm / 73kg
 所属元 : 興国高校
 所属歴 : 岩出FCAZUL
 受入先 : 横浜F・マリノス
 認定日 : 2020年6月24日

選手 : 平松 昇(ひらまつ しょう)
 ポジション : MF
 生年月日 : 1998年11月26日
 身長/体重 : 167cm / 64kg
 所属元 : 立正大学
 所属歴 : 島田第一サッカースポーツ少年団⇒清水エスパルスジュニアユース⇒清水エスパルスユース
 受入先 : 湘南ベルマーレ
 認定日 : 2020年6月24日

※JFA・Jリーグ特別指定選手：サッカー選手として最も成長する年代に、種別や連盟の垣根を越え、「個人の能力に応じた環境」を提供することを目的とした制度。全日本大学サッカー連盟、全国高等学校体育連盟サッカー部、またはJクラブ以外の大学運営（学校法人）のチームに所属する学生選手、もしくは日本クラブユースサッカー連盟の加盟チームの所属選手を対象にJFAが認定した選手に限り所属チーム登録のまま、Jリーグ等の試合に出場可能となる。

AFC U-19選手権ウズベキスタン2020

グループステージの組み合わせが決定、日本はグループBに

AFC U-19選手権ウズベキスタン2020の組み合わせ抽選会が6月18日、クアラルンプール(マレーシア)のAFCハウスで行われ、日本はグループBに入り、韓国、イラク、バーレーンと同組になった。大会は、今年10月14日~31日に行われる予定で、上位4チームがFIFA U-20ワールドカップインドネシア2021の出場権を獲得する。

【グループステージ組み合わせ】

グループA：ウズベキスタン、インドネシア、カンボジア、イラン

グループB：韓国、日本、イラク、バーレーン

グループC：サウジアラビア、オーストラリア、ベトナム、ラオス

グループD：カタール、タジキスタン、マレーシア、イエメン

※インドネシアが上位4チーム以内に進出した場合は準々決勝で敗れた4チームによるプレーオフを行い、勝者は5位チームとしてFIFA U-20ワールドカップインドネシア2021の出場権を獲得する

■影山雅永U-19日本代表監督

どのグループも厳しい組み合わせとなり、ノックアウトステージを含め、全試合が厳しい戦いになることが予想される。われわれは、来年インドネシアで行われるFIFA U-20ワールドカップの出場権を獲得するため、チームコンセプトの「相手から嫌がられるチーム」「うまいより強いチーム」を徹底し、毎試合全力でプレーをし、勝利をつかみ取りたい。

新型コロナウイルスの影響で日本国内でのスポーツ、サッカーを取り巻く環境も非常に難しい状態で、U-19日本代表チームもなかなか活動できない状況だが、今月末からのJリーグの再開予定もあり、少しずつ日常が戻りつつある。10月のAFC U-19選手権に向けて多くの準備をすることは難しいかもしれないが、全国で育てていただいたこの年代を代表する選手を率いて、一日も無駄にすることなく、意義のあるトレーニングや試合を重ね、選手たちとともに世界で戦う権利を得たいと思っている。

AFC U-16選手権バーレーン2020

日本はインドネシア、サウジアラビア、中国と同組

AFC U-16選手権バーレーン2020の組み合わせ抽選会が6月18日、クアラルンプールのAFCハウスで行われ、日本は、インドネシア、サウジアラビア、中国と同組となった。大会は2020年11月25日~12月12日に予定されており、上位4チームが来年ペルーで開催されるFIFA U-17ワールドカップに出場権を獲得する。

【グループステージ組み合わせ】

グループA：バーレーン、朝鮮民主主義人民共和国、イラン、カタール

グループB：タジキスタン、オマーン、イエメン、アラブ首長国連邦

グループC：韓国、オーストラリア、インド、ウズベキスタン

グループD：日本、インドネシア、サウジアラビア、中国

■森山佳郎U-16日本代表監督

どの国も難敵ぞろいで大変厳しい戦いが待ち受けているなという印

象。非常に身が引き締まると同時に、選手たちがどんな戦いをしてくれるのか楽しみだ。

私自身は2016年、2018年に続き、チームを率いて3度目の挑戦となるが、今回は新型コロナウイルスの影響でほとんど活動ができておらず、過去とは全く異なる準備状況になっている。

この大会は来年ペルーで行われるFIFA U-17ワールドカップ2021への出場権がかかっている。ここまで日本サッカー史上初めて、U-17日本代表、U-20日本代表が共にワールドカップに2大会連続で出場している。将来の日本サッカーのため、選手たちの大きな成長のため、何としても“兄弟”そろっての3大会連続ワールドカップ出場を果たし、世界での経験を積み上げなければならないと思っている。

11月のAFC選手権に向けて、限られた状況の中ででき得る最善の準備をして臨む。ぜひとも応援をよろしくお願いします。

日本ブラインドサッカー協会

国内初のブラインドサッカー専用コート「MARUI ブラサカ!パーク」がオープン

日本ブラインドサッカー協会(JBFA)は6月19日、国内初のブラインドサッカー専用コート「MARUI ブラサカ!パーク(マルイ ブラサカ!パーク)」がオープンしたと発表した。

同施設は、株式会社丸井グループが、東京都小平市花小金井の丸井研修センター内に設立したもの。コートは2面設置されており、それぞれ芝の長さが異なるため出場する大会に合わせて練習を行うことができる。また、併設されたクラブハウスは丸井グループとJBFAとで対話を重ね、誰でも使いやすいユニバーサルデザインを採用。車椅子も入りやすいス

ロープの設置や弱視の方も移動しやすいように、「通路の壁は床面から1メートルまでを青にし、上部は白くする」「部屋のサインは黒地に白の絵文字にして凹凸をつける」など、コントラストのある色使いや触れて分かる表記となっている。6月10日のオープンには、ブラインドサッカー男子日本代表チームが同施設で1回目となるトレーニングを行った。

JBFAは2009年から、丸井グループと共に顧客参加型のブラインドサッカー体験イベントや研修、ブラインドサッカーの選手によるマルイ店舗でのお買い物体験イベントなどを実施し、共創に取り組んできた。2015

JFAリリースインフォメーション&活動報告 月刊レポート

年には「サプライサービスパートナー」契約を、2017年3月には「パートナーシップ」契約を締結するなど、JBFAおよびブラインドサッカー日本代表はさまざまな局面で丸井グループのサポートを受けてきた。今回、念願の専用コートが完成したことを受け、松崎英吾JBFA専務理事兼事務局長は「ブラインドサッカーの未来に関して、思い切り戦略を描くことができるようになった。今後も、丸井グループさまの共創理念に学び、人を大切に、それを体現した研修センター内にいただいたこのスペースを、人を

育てていく場にしていきたい」とコメント。ブラインドサッカー男子日本代表の川村怜選手も「歴史的な第一歩。競技者としてとてもうれしく思う。代表強化だけではなく、競技の普及や育成などさまざまな形で活用したい。さまざまな人が集い交わる場となり、『あの場所に行き帰る頃には、価値観が変わる』と思ってもらえる、人間性が刺激されるブラインドサッカーの聖地のような場所になってほしい」と期待を寄せた。

日本サッカーを応援する自治体連盟

令和2年度総会を開催

日本サッカーを応援する自治体連盟の令和2年度総会（書面表決）され、任期満了に伴う役員改選と役員の補充に伴う規約の改正などが決議された。

総会は6月2日に予定されていたが、新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令されていたことから書面による決議となった。議事と決定事項は以下の通り。

【議事】

- 第1号議案 令和元年度事業報告について
本連盟の令和元年度事業報告は以下のとおり。
(1)令和元年5月20日に日本サッカー協会、「日本サッカーを応援する自治体連盟 令和元年度総会」を開催し、68自治体が参加した。
(2)令和元年5月20日に衆議院第一議員会館で、顧問の逢沢・衆議院議員の同席を得て、会長（さいたま市長）他自治体連盟役員が、田嶋幸三会長をはじめ日本サッカー協会役員とともに、文部科学省・総務省・国土交通省・経済産業省・スポーツ庁に対し、サッカー場の整備等に関する要望を行った。
(3)令和元年11月19日に「施設づくり研修会」を吹田市と堺市で開催した。「J-GREEN堺（堺市）」の施設見学後、「ホテル阪急エキスポパーク」で座学研修を行った。研修終了後、パナソニックスタジアム吹田で「キリンチャレンジカップ2019日本代表対ベネズエラ代表戦」を観戦し、17自治体が参加した。
- 第2号議案 規約改正（案）について
第5条第1項の役員に「ブロック理事 若干名」を加え、同条に第2項として、「会長は必要に応じて、次の役員を置くことができる。会長代行1名 幹事長1名」との規定を加える。
第8条第2項および第3項の規定に、第5条で新たに追加した役員の任務を規定する。
この規約は、令和2年6月1日より施行する。

●第3号議案 役員（案）について
※下記参照

- 第4号議案 令和2年度事業計画（案）について
本連盟の令和2年度事業計画を次のとおりとする。
(1)日本サッカー協会と合同で、研修会を開催する（日時・会場は未定）。
(2)サッカー競技振興のため、国の予算獲得に向けた要請活動を行う。
(3)グラスルーツ（障がい者）サッカーの全国展開に協力する。
(4)本連盟への市区町村の加入促進を図る。

【令和2年度～3年度 役員】

- ・会長 清水 勇人（さいたま市長）
- ・会長代行 田辺 信宏（静岡市長）
- ・副会長 大森 雅夫（岡山市長）
- ・副会長 岩田 利雄（千葉県東庄町長）
- ・幹事長 奈良 俊幸（福井県越前市長）
- ・事務局長 熊谷 大（宮城県利府町長）
- ・事務局長次 若宮 佳一（青森県五戸町長）
- 他ブロック理事22名
- ・顧問 サッカー外交推進議員連盟 会長 衛藤 征士郎
- ・顧問 サッカー外交推進議員連盟 幹事長 逢沢 一郎
- ・顧問 全国市長会 会長 立谷 秀清
- ・顧問 全国町村会 会長 荒木 泰臣
- ・顧問 日本サッカー協会 会長 田嶋 幸三
- ・顧問 日本サッカー協会 最高顧問 大仁 邦彌
- ・顧問 日本サッカー協会 相談役 小倉 純二
- ・顧問 日本プロサッカーリーグ チェアマン 村井 満

※日本サッカーを応援する自治体連盟：自治体の首長がJFAの役員と情報交換を行い、または自治体間交流等を行うことによって、サッカーの普及・振興とサッカーを通じたまちづくりの推進を図ることを目的とする任意団体で、全国423市区町村が加盟している（2020年6月現在）。

Jリーグ

第3回臨時理事会を開催

Jリーグは6月5日の第3回臨時理事会で下記について決定した。

●2020明治安田生命Jリーグ 開催方式の変更

2020明治安田生命Jリーグの開催方式について下記の通り変更する。

【2020明治安田生命Jリーグ 変更内容】

（開催期間）

- ・2020明治安田生命J1リーグ：2月21日（金）～12月19日（土）
- ・2020明治安田生命J2リーグ：2月23日（日）～12月20日（日）
- ・2020明治安田生命J3リーグ：6月27日（土）・28日（日）～12月20日（日）

（対戦ルール）

- ・感染予防の観点から近隣クラブとの対戦を優先的に実施する

（選手交代枠）

- ・選手交代枠を5名に拡大する
- ・交代回数はハーフタイムを除き3回までとする

●新たなコミットメントライン設定の決議

Jリーグは4月28日、三菱UFJ銀行（株式会社三菱UFJ銀行）との間で、「Jリーグの運転資金やJクラブへの配分金支払い等のバックアップラインとして、運営上のリスク対応のためのコミットメントライン（企業と金融機関があらかじめ設定した期間・融資枠の範囲内で、企業側が随時借り入れを可能とする契約）の設定」に関する理事会決議を行った。また、第3回臨時理事会において、商工中金（株式会社 商工組合中央金庫）との間の「Jクラブの運営をサポートする長期借入枠」を新たに承認した。

なお、本件は融資の実行を要請しているものではなく、リスク対応のための融資枠の設定にとどまる。



●村井満チェアマン

このたび、商工中金さまとの間で、Jクラブへの機動的な資金融資枠の設定に合意いただいたことを大変ありがたく思っております。また、先般一早くご支援を申し出ていただいた三菱UFJ銀行さまとの資金融資枠の設定を合わせみると、Jリーグ本体のみならず、Jクラブにおいても一定程度のリスク対応のためのバックアップラインが確保できたと考えており、あらためて両金融機関さまへ多大なる感謝を申し上げます。

【株式会社三菱UFJ銀行】

名称：株式会社三菱UFJ銀行（略称／三菱UFJ銀行）
[英語表記：MUFG Bank, Ltd.]

会社成立：1919年8月15日

代表者：取締役頭取執行役員 三毛 兼承

資本金：17,119億円（単体）

店舗数：国内750／海外72（2019年3月末現在）

【株式会社商工組合中央金庫】

名称：株式会社商工組合中央金庫（略称／商工中金）
[英語表記：The Shoko Chukin Bank, Ltd.]

会社成立：1936年10月8日

代表者：代表取締役社長 関根 正裕

資本金：2,186億円（内政府保有株式1,016億円）

店舗数：国内100／海外4

●FC東京U-23、J3リーグへの参加辞退

FC東京U-23のJ3リーグへの参加辞退について承認した。

<参加辞退の理由>

・新型コロナウイルス感染拡大の影響により試合日程が短期間に集中し、再開後のホームゲーム開催スタジアム確保が困難であること

<2020明治安田生命J3リーグの大会方式変更について>

	変更前	変更後
参加チーム	19	18
節数	38	34
試合数	342	306
1チームあたりの試合数	36	34

※J3リーグの大会成立要件となる規定試合数（全試合の75%以上、各クラブで50%以上）は、変更後の試合数から算出する。

※参考：関連規程抜粋

「J3リーグへ参加するJ1クラブおよびJ3クラブが編成するU-23チームに関する特別」
第11条（脱退）

U-23チーム編成クラブがその編成するU-23チームをJ3リーグから脱退させようとする場合は理事会の承認を得なければならない。ただし、シーズン途中の脱退は認められない。

第6回理事会を開催

Jリーグは6月23日の第6回理事会で下記について決定した。

●奈良クラブのJリーグ百年構想クラブ資格認定

奈良クラブのJリーグ百年構想クラブ資格の再認定について下記の通り決定した。

【奈良クラブのJリーグ百年構想クラブ資格の再認定について】

Jリーグ百年構想クラブ規程およびJリーグ規約に反する行為により、2020年1月30日のJリーグ理事会においてJリーグ百年構想クラブの資格を解除条件付き失格している奈良クラブに関して、失格を解除し、Jリーグ百年構想クラブとして再認定する。

【対象クラブ】

- ・クラブ名：奈良クラブ
- ・法人名：株式会社奈良クラブ（資本金／990万円、代表／浜田満）
- ・認定年：2013年9月 Jリーグ百年構想クラブ（当時：準加盟）に認定
- ・所属リーグ：日本フットボールリーグ（JFL）※2015年にJFL昇格
- ・ホームタウン：奈良市を中心とする全県（奈良県）

※参考

<解除条件>

以下の全ての事項が実効的に機能し実践されているとJリーグ理事会において判断されること（※）

1. ガバナンス強化
2. 入場者数カウント方法の改善
3. ステークホルダーからの信頼回復

（※）奈良クラブが2021シーズンJ3クラブライセンス申請を行うためには、2020年6月に開催する理事会において失格が解除される必要がある

<違反事象>

JFL2015シーズンから2019シーズンまでの5年間に、Jリーグ入会条件のひとつである入場者数の偽証をクラブ代表の指示により意図的に行っていたことが、外部からの通報により発覚した

●試合開催可否 決定条件

新型コロナウイルス感染症の影響下でのJリーグ公式試合の試合開催可否条件について、下記の通り決定した。

<エントリー可能な選手およびチームスタッフ>

各試合にエントリーできる者は、以下に定める要件をいずれも満たす者に限られる。

1. 新型コロナウイルス感染症に関するJリーグ公式検査のうち、エントリーする各試合に対して予め指定された検査において陰性判定を得ていること。または、エントリー資格認定委員会（詳細検討中）の判断によりエントリー可能と認定されていること。ただし、チームスタッフのうち、ドクターについては公式検査の受検を必須としない
2. エントリー時点で体温が37.5度未満であること
3. いわゆる濃厚接触者の認定や入国制限地域からの入国等により、公的機関から自宅待機等の指示を受けている状態でないこと

※各試合へのエントリー：双方のチームは、各試合において、キックオフの150分前までに「Jリーグメンバー提出用紙」に必要事項を記入し、ホームクラブの運営担当に提出しなければならない。

<Jリーグ公式試合の開催可否判断>

1. エントリー可能な選手の人数が、トップチーム登録（J3リーグに参加するU-23チームについては第2種トップ可および特別指定選手を含む）の選手14名（ゴールキーパー1名を含む。以下「基準選手人数」という）以上である場合、当該試合は予定通り開催される
2. 試合開催2日前の正午時点からエントリー開始時点までの間に基準選手人数を満たさない可能性がある場合、当該チームはJリーグに連絡し、

JFAリリースインフォメーション&活動報告 月刊レポート



試合開催に向けて最大限努力しなければならない

- 2の努力にもかかわらず、当該試合の開催が困難であるとJリーグチェアマンが判断した場合、当該試合は中止することができる

<審判員について>

- 審判員の基準人数は主審および副審の合計3名とする
- Jリーグ担当審判員は、日々の健康管理を行い、Jリーグ公式検査の対象となる。試合当日に37.5度以上の熱がある場合は、当該試合を担当できない
- 審判員が新型コロナウイルス感染症の影響を受けてその職務を遂行することができなくなった場合、審判員の補充等に関しては、Jリーグと協会の審判委員会が協議の上対応を決定する。公式試合を担当する主審および副審計3名を確保できないとJリーグチェアマンが判断したとき、当該試合は中止される

<試合中止時における延期日程の決定方法>

- 公式試合が、新型コロナウイルス感染症を含むパンデミックその他いづれのチームの責にも帰すべからざる事由により中止となった場合、当該試合の日時および開催場所は、Jリーグチェアマンが決定する
- 中止となった公式試合の変更日時および変更場所が当該シーズン中に確保できないとJリーグチェアマンが判断した場合、当該試合は開催されない

※「Jリーグ規約」、「2020明治安田生命J1・J2・J3リーグ戦試合実施要項」より

●リーグ戦安定開催融資規程に関する特則

「リーグ戦安定開催融資規程に関する特則」の制定を決定した。これまで「リーグ戦安定開催融資規程」の時限的な特例措置を適用してきたが、金融機関とのコミットメントラインの締結による転貸融資の実行に伴い、融資の原資が確保されたこと、融資期間の延長が可能となったことから定めたもの。

■「リーグ戦安定開催融資規程に関する特則」主なポイント

条番号	特則条文の内容
第5条 (融資可能期間)	<ul style="list-style-type: none"> 融資期間は2020年7月31日から2022年1月31日。 融資の実行は、原則として、毎月末日(指定金融機関が休業日の場合は前営業日)に行う。 最終返済期日は、融資実行日が2020年7月31日から2021年1月31日の場合は2024年1月31日、融資実行日が2021年2月1日から2022年1月31日の場合は2025年1月31日とする。
第6条(申請)	<ul style="list-style-type: none"> 融資を希望するJクラブは、融資実行を希望する日の前月末日までに申し込むものとする。
第7条 (担保・利息の設定)	<ul style="list-style-type: none"> 制度融資の利息は、融資決定日の市中金利(制度融資の原資として第3条に基づきJリーグが金融機関から借入れをする場合、当該借入金利を含む)を参考として理事会が決定する。
第10条 (返済できなかった場合の措置)	<ul style="list-style-type: none"> 返済期日に融資を返済できなかった場合、当該Jクラブに対しては、その原因および金額を勘案して理事会が措置を決定する。
第13条 (本特則の失効)	<ul style="list-style-type: none"> 本特則は、2022年1月31日限り、その効力を失う。ただし、その時までにした制度融資に対しては、本特則は、その時以後も、なおその効力を有する。

<運用方針に関する主なポイント>

- 分割での融資も可能とし、融資金額は1,000万円単位とする。従来の融資制度の原資10億円ではなく、まずは金融機関のJリーグへの貸出極度額の100億円を活用する。
- 返済スケジュールは四半期ごと×3年間での返済を予定とする。期日前返済は1年に1回(1月末返済のみ)は可能だが、最終支払いとなる場合

はこの限りではない。

- 月末までに申請を受けた分は、翌月の理事会で審査を行い月末に融資を実行する。

※「リーグ戦安定開催融資規程に関する特則」はJリーグ公式サイトに掲載

●「Jリーグ検査センター」の設置

新型コロナウイルス感染症対策として公式戦の再開・開幕に向けた検査体制を構築するにあたり、6月5日に検査全般の企画・運営を行う「Jリーグ検査センター」を設置した。なお、本検査センターは一部業務を、民間の検査機関に委託する。

正式名称：Jリーグ検査センター(略称：JCTC)

目的：新型コロナウイルスの感染症対策として、Jリーグが新たな感染源になるリスクを最小限に抑え、選手や監督・審判員をはじめとする競技関係者が安全に競技できる状況を整えること。併せて、PCR検査の実施状況などのデータ結果を開示し、スポーツ界や医学界に貢献することを目指す。

検査センターについて：

- Jリーグ新型コロナウイルス対策本部内に「JCTC」を設置
- 検査全般の企画運営業務を担う
- 「JCTC」の一部業務を株式会社シーユーシー、株式会社シーユーシー・アイデータへ委託

【業務委託について】

①業務委託先

- 名称：株式会社シーユーシー <英語表記：CUC Inc.>

※エムスリー株式会社の連結子会社

会社設立：2014年8月8日設立

代表者：濱口慶太

資本金：21億2,600万円(資本準備金含む)

- 名称：株式会社シーユーシー・アイデータ

<英語表記：CUC i-DATA Inc.>

※株式会社シーユーシーのグループ会社

会社設立：2020年4月1日設立

代表者：斉藤重人

資本金：1億円(資本準備金含む)

②業務委託内容

- Jリーグ検査センター(JCTC)運営支援

- JCTCオペレーションサポート
- 緊急時対応
- 医学的コンサルティングサポート

- 検査業務の設計・企画

- 基本設計(検査手法および実施計画の作成、検査機関の選定と契約等)
- ロジスティクス企画(検体採取キットの手配、検体の回収と輸送)
- コミュニケーション設計(検査結果管理方法の企画)

●コロナ禍の影響によるJリーグ規約規程の改定

新型コロナウイルスの影響による各ルールの変更などに関連し、Jリーグ規約規程の改定を承認した。

特に「Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」の制定や、試合開催可否決定条件およびフローの決定、エントリー資格認定委員会の新設に基づいた改定箇所が多くある。※詳細はJリーグ公式サイト参照

【改定対象となるJリーグ規約規程】

- ・Jリーグ規約
- ・リーグ戦安定開催融資規程に関する特則
- ・2020明治安田生命J1・J2・J3リーグ戦試合実施要項
- ・2020JリーグYBCルヴァンカップ試合実施要項
- ・2020J1参入プレーオフ試合実施要項
- ・J1リーグ表彰規程
- ・ユニフォーム要項
- ・エントリー資格認定委員会規程（新設）

●2020シーズンの順位決定方法変更

2020明治安田生命Jリーグ（J1・J2・J3）の順位決定方法について、下記の通り変更する。

【2020明治安田生命Jリーグ 順位決定方法】

リーグ戦が終了した時点で、勝点（勝利3点、引き分け1点、敗戦0点）の合計が多いクラブを上位とし、J1リーグ戦、J2リーグ戦、J3リーグ戦それぞれ年間順位を決定する。ただし、勝点が同じ場合は、次の順序により決定する。

1. 全試合の得失点差
2. 該当するJクラブ間の対戦成績（イ：勝点、ロ：得失点差、ハ：総得点数）
※ただし、ホーム&アウェイの2試合を実施済みの場合のみ
3. 全試合の勝利数
4. 全試合の総得点数
5. 全試合の反則ポイント
6. 抽選

※下線部分が現在の「2020明治安田生命J1・J2・J3リーグ戦試合実施要項」からの変更・追加内容

※参考：従来（変更前）のリーグ戦順位決定方法

リーグ戦が終了した時点で、勝点（勝利3点、引き分け1点、敗戦0点）の合計が多いクラブを上位とし、J1リーグ戦、J2リーグ戦、J3リーグ戦それぞれ年間順位を決定する。ただし、勝点が同じ場合は、次の順序により決定する。

1. 全試合の得失点差
2. 全試合の総得点数
3. 該当するJクラブ間の対戦成績（イ：勝点、ロ：得失点差、ハ：総得点数）
4. 全試合の反則ポイント
5. 抽選

●2020シーズンのビデオアシスタントレフェリー導入見送り

今シーズン導入しているビデオアシスタントレフェリー（VAR）について、新型コロナウイルスの感染防止のため中断していた2020シーズン試合日程の再開に際し、例年よりも短期間で開催することを受け、1試合あたり派遣できる審判員の人数を考慮した結果、VARの継続が困難なことから、導入を見送ることとなった。

<2020シーズンのVAR 導入見送りとなる試合>

- ・2020明治安田生命J1リーグ
- ・2020JリーグYBCルヴァンカップ プライムステージ

●2020シーズンの表彰および賞金

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020Jリーグの大会結果による表彰および賞金について下記の通り変更する。

<変更点>

各種表彰における賞金の金額を、従来の規定の50%とする。なお、減額分については試合開催関連の補填の財源とする。

※参考：Jリーグ規約・規程集「Jリーグ表彰規程」

※太字下線=2020シーズンの変更箇所

【年間表彰】

		変更前	変更後
明治安田生命J1リーグ	優勝	賞金300,000,000円、Jリーグ杯（優勝銀皿）、日本サッカー協会会長杯、メダル、チャンピオンフラッグ	賞金150,000,000円、Jリーグ杯（優勝銀皿）、日本サッカー協会会長杯、メダル、チャンピオンフラッグ
	2位	賞金120,000,000円、Jリーグ杯（準優勝銀皿）	賞金60,000,000円、Jリーグ杯（準優勝銀皿）
	3位	賞金60,000,000円	賞金30,000,000円
明治安田生命J2リーグ	優勝	賞金20,000,000円、Jリーグ杯（優勝銀皿）	賞金10,000,000円、Jリーグ杯（優勝銀皿）
	2位	賞金10,000,000円、Jリーグ杯（準優勝銀皿）	賞金5,000,000円、Jリーグ杯（準優勝銀皿）
	3位	賞金5,000,000円	賞金2,500,000円
明治安田生命J3リーグ	優勝	賞金5,000,000円、Jリーグ杯	賞金2,500,000円、Jリーグ杯
	2位	賞金2,500,000円	賞金1,250,000円

※ただし、各カテゴリーにおいて「基準試合数」を満たさなかった場合は大会が成立しなかったものとみなし、賞金は支払わない。また、各種表彰も行わない。

【フェアプレー賞（高円宮杯）】

	変更前	変更後
フェアプレー賞高円宮杯	高円宮杯	※変更なし
フェアプレー賞（J1）上位3クラブ	賞金5,000,000円、記念品	賞金2,500,000円、記念品
フェアプレー賞（J2）	賞金2,500,000円、記念品	賞金1,250,000円、記念品
フェアプレー賞（J3）	賞金1,000,000円、記念品	賞金500,000円、記念品

【個人表彰（明治安田生命J1リーグ）】

	変更前	変更後
最優秀選手賞	賞金2,000,000円、記念品	賞金1,000,000円、記念品
優秀選手賞	メダル	※変更なし
ベストイレブン	賞金1,000,000円、記念品	賞金500,000円、記念品
得点王	賞金1,000,000円、記念品	賞金500,000円、記念品
最優秀ゴール賞	賞金500,000円、記念品	賞金250,000円、記念品
ベストヤングプレーヤー賞	賞金500,000円、記念品	賞金250,000円、記念品
フェアプレー個人賞	賞金500,000円、記念品	賞金250,000円、記念品
優勝監督賞	賞金1,000,000円、記念品	賞金500,000円、記念品
優秀監督賞	賞金500,000円、記念品	賞金250,000円、記念品
最優秀主審賞	記念品	※変更なし
最優秀副審賞	記念品	※変更なし

【個人表彰（明治安田生命J2リーグ）】

	変更前	変更後
最多得点者	記念品	※変更なし
優勝監督賞	賞金500,000円、記念品	賞金250,000円、記念品
優秀監督賞	賞金250,000円、記念品	賞金125,000円、記念品

【個人表彰（明治安田生命J3リーグ）】

	変更前	変更後
最多得点者	記念品	※変更なし
優勝監督賞	賞金200,000円、記念品	賞金100,000円、記念品
優秀監督賞	賞金100,000円、記念品	賞金50,000円、記念品

【2020JリーグYBCルヴァンカップ表彰】

	変更前	変更後
優勝	賞金150,000,000円、Jリーグカップ、メダル	賞金75,000,000円、Jリーグカップ、メダル
2位	賞金50,000,000円、楯、メダル	賞金25,000,000円、楯、メダル
3位	1チームにつき賞金20,000,000円、楯	1チームにつき賞金10,000,000円、楯

JFAリリースインフォメーション&活動報告 月刊レポート



●2020シーズン第2登録期間(ウインドー)および追加登録期限の変更

2020シーズンの明治安田生命Jリーグ(J1・J2・J3)およびJリーグYBCルヴァンカップの出場資格を得るための第2登録期間(ウインドー)および追加登録期限について、Jリーグ公式戦再開後の日程確定を受け、下記の通り変更する。

■2020シーズンの追加登録期限

追加登録期限		
大会名	変更前	変更後
明治安田生命J1リーグ	2020年9月18日(金)	2020年11月6日(金)
明治安田生命J2リーグ		
明治安田生命J3リーグ		
JリーグYBCルヴァンカップ	2020年10月2日(金)	2020年10月2日(金) ※変更なし

※追加登録期限の決定においては従来、下記ルールを参照している
 リーグ戦：シーズンの4分の3を過ぎた追加登録を不可とする
 カップ戦：準決勝以降の追加登録を不可とする
 ※育成型期限付移籍等の運用上のわかりやすさのため、これまでリーグ戦の追加登録期限を同日にしている
 ※原則として、選手の登録(移籍)は、下記の登録期間(ウインドー)中のみ可能となるが、登録期間(ウインドー)の例外が認められる登録(移籍)を含む全ての登録(移籍)に関する期限として、Jリーグにて定めるものである

■2020第2登録期間(ウインドー)

第2登録期間(ウインドー)	
変更前	変更後
2020年7月17日(金)～8月14日(金)	2020年7月31日(金)～8月28日(金)

(参考)
 *登録期間(ウインドー)について
 日本サッカー協会は、国際サッカー連盟(FIFA)の規則に基づき、登録期間(ウインドー)を定めている。FIFAは、各国協会に対し、年2回の登録期間(ウインドー)を設けることを義務づけており、第1登録期間(ウインドー)は、シーズンとシーズンの間に最大12週間、第2登録期間(ウインドー)はシーズン中に最大4週間の期間と定められている。FIFAおよび日本サッカー協会の規則に基づき、Jリーグおよび、JFLのクラブへの選手の登録(移籍)は、一部の例外を除き、原則として登録期間(ウインドー)の期間中においてのみ可能となる。

2020JリーグYBCルヴァンカップ大会方式の変更

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、「2020JリーグYBCルヴァンカップ」の大会方式を変更し、新たな大会方式を決定した。

【変更に至った経緯】

現在、2020JリーグYBCルヴァンカップ グループステージ第2節～第6節[2月26日～5月6日]およびプレーオフステージ第1戦[5月27日]と第2戦[6月17日]を新型コロナウイルスへの感染予防および拡散防止のため延期としているが、協議の結果、2020シーズンのスケジュールにおいて現行の大会方式の実施は困難と判断した。

【主な変更点】

①現状のグループステージ、プレーオフステージ、プライムステージから

なる大会方式から、プレーオフステージを廃止とし、グループステージを1回戦総当たりのリーグ戦に変更し、各グループの1位チームの4チームと2位チーム内の上位1チームおよびAFCチャンピオンズリーグ出場3チームの計8チームにて1試合制のトーナメント戦によるプライムステージを行う大会方式に変更

- ②Bグループの松本はグループステージ第2節以降の試合を実施しない
- ③選手の交代は5名以内(交代回数はハーフタイムを除き3回まで)とする。ただし、延長戦を行う場合は、その直前の90分間の交代人数と合わせて、最大6名までの選手交代を行うことができる(延長戦の場合は交代回数も1回追加)
- ④U-21先発ルール(2020年12月31日において満年齢21歳以下の日本国籍選手を1名以上先発に含める)は適用しない

懲罰決定

下記の件について裁定委員会に諮問し、京都サンガF.C.に対して懲罰を決定した。

1. 対象事案：

2020年2月9日(日)、サンガスタジアム by KYOCERAにおいて開催された、2020Jリーグプレシーズンマッチ 京都サンガF.C. vs セレッソ大阪(以下、「本件試合」という)において、京都サポーターが、ホーム側ゴール裏スタンドで、ナチスドイツの親衛隊が使用したデザインと酷似した、ナチスドイツを連想させ得る旗(以下、「本件旗」という)を振った。

2. 懲罰内容：罰金100万円

3. 懲罰理由：

京都サポーターは、2010年に本件旗と酷似した旗をその前年に振っていた者から譲り受け、2019年までほぼ全てのホームゲームで振っていた。その後、新スタジアムのオープンに合わせて本件旗を新調し(外見上大きな変更はない)、本件試合において振った。

Jリーグは、FIFAおよびJFAと連携しながら反人種差別の取組を進め、2017年に本件と同種の事案が発生した際にも各クラブに注意喚起を

図ってきたが、京都は、横断幕などについては試合会場において不適切なものがないか目視確認していたものの、個別に旗のデザインについてまでは目視確認しておらず、本件旗が長期間にわたりほぼすべてのホームゲームで振られるのを結果として看過した。

一方、本件については以下の酌量すべき事実がある。

- ①京都サポーターは本件旗のデザインの意味を理解せず、差別的意図を有しないままに本件旗を振っていた
- ②京都において、サポーターによる差別的行為は初めてであったが、本件事象が発覚した後、SNS等で事態の重大さを速やかに把握し、実行者の特定に至った
- ③自クラブホームページで速やかに謝罪するとともに、今後のホームゲームで差別的思想を連想させる旗、横断幕等の持ち込みならびに掲出の禁止を発表しているほか、実行者に対し、厳重注意を行った
- ④2020年2月23日に開催された2020明治安田生命J2リーグ第1節アウェイ山口戦において、スタッフが旗デザインのチェックを実施し、再発防止に向けすぐに具体的行動に着手した
- ⑤横断幕・旗デザインの事前承認制度を新設するとともに、スタジアム

● 内の監視体制の整備やサポーターの理解促進、再発防止のための啓発に積極的に取り組んでいる
以上より、本件懲罰を決定するものとする。

4. 適用条項：
『Jリーグ規約』

第133条 [Jリーグにおける懲罰]第1号
※なお、量刑の判断においては、第153条 [1,000万円以下の罰金]を参照して判断
『JFA懲罰規程』
JFA懲罰規程別紙1.3-5 [差別](3)

2020シーズン「Jユースカップ」「Jリーグインターナショナルユースカップ」開催中止

Jリーグは、2020シーズンに予定していた「Jユースカップ Jリーグユース選手権大会」および「Jリーグインターナショナルユースカップ」について、開催中止を決定した。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、現時点では長距離移動を伴う全国大会を実施するのは困難な状況であり、今後の感染リスクも考慮し、この決断に至った。

来シーズンのJユースカップおよびJリーグインターナショナルユースカップ大会概要については決定次第発表する。

[2020シーズン中止]

●Jユースカップ Jリーグユース選手権大会

概要：Jリーグ開幕と同じ1993シーズンに産声をあげたU-18年代の歴史ある大会。J1・J2・J3のJクラブアカデミーと一般財団法人日本クラブユース

サッカー連盟 (JCY) 地域代表4チームが参加する、ノックアウト方式によるトーナメント。

●Jリーグインターナショナルユースカップ

概要：U-17年代の選手を対象に、海外強豪チームとの試合経験を通じたさらなる成長を目的として2015年にスタートした大会。当該シーズンのJユースカップベスト4と海外強豪4チームの計8チームが参加し、グループステージ後に順位決定戦を行う。

Jリーグ、再開・開幕に先立ち登録選手へPCR検査を実施

明治安田生命Jリーグ (J1・J2・J3) およびJリーグYBCルヴァンカップの再開・開幕に先立ち、Jリーグは6月19日より全選手およびチームスタッフ等を対象とした唾液採取によるPCR検査を開始した。

PCR検査は、身体接触を伴うサッカーの競技上の特性を踏まえ、フィールドに立つ選手や審判員が新たな感染源になってしまう可能性をできるだけ抑えるために実施するもの。検査は、Jリーグ内に検査センターを設置し、民間の検査機関と連携して約2週間に1回の頻度で12月のシーズン終了まで定期的実施する。Jリーグは、チームから試合毎にメンバー登録 (エントリー) を受け付けるが、今後の2020シーズンの公式試合においては、原則、Jリーグが定めた直近の検査で陰性判定を受けた選手、チームスタッフにエントリーが認められる。

今後、検査手法や結果開示等を通じて、スポーツ界、医学界に貢献できるよう進め、新型コロナウイルス感染症に関する最適な検査体制に関しては引き続き、政府や関連省庁、専門家などによる見解に基づき、よりよい

検査制の構築に努めていくこととしている。

●Jリーグが実施するPCR検査に関する概要

- ・検査対象：J1・J2・J3全56クラブの登録選手・チームスタッフ、Jリーグ登録審判員、その他関係者
- ・検査開始日：2020年6月19日 (金) より順次実施
※一部クラブは6月18日に実施
- ・検体数 (最大)：3580検体/回 (内訳：Jリーグ58チーム各最大60名、審判員・その他関係者最大100名)

【検査の前提】

- ・社会のニーズに対して検査が十分に供給されていること
- ・医療に過大な負荷をかけることなく実施できること

2020明治安田生命Jリーグ 再開・開幕後ホーム初戦での医療従事者へ感謝を伝えるセレモニーの実施

6月27日に再開・開幕する2020明治安田生命J2リーグおよびJ3リーグ、また7月4日に再開するJ1リーグのホーム初戦において、新型コロナウイルス感染症に対し最前線で戦っている医療従事者等への感謝を伝えるセレモニーを全クラブで実施することを決定した。

<医療従事者の方々への感謝を伝えるセレモニー>

実施クラブ：J1・J2・J3全クラブ

実施試合：2020Jリーグ再開・開幕後、各チームのホーム初戦

実施概要：キックオフ前に両チーム・審判団が社会的距離を保ちながら並び、拍手で医療従事者等への感謝を伝える

新型コロナウイルス感染症に関するJリーグ公式検査結果

Jリーグが提供する新型コロナウイルス感染症に関する公式検査 (Jリーグ公式検査) は右記の通り。

【第1回公式検査結果】 検体採取・6月18日~21日

検査総数	3,070件	陽性数※1	0件
陰性数	3,058件	継続検査数※2	12件

※1 陽性数…医師により陽性の診断が確定した数

※2 継続検査数…検体不足を含む、判定結果が確定していない検査数



■村井満チェアマン

今週末のJリーグ再開・開幕に向けて、初めての公式検査の結果が出た。検査に協力し、しっかり体調管理を続けてくれた選手・クラブ関係者に感謝申し上げる。

検査は、感染拡大防止、そして選手が安心してプレーするためのひとつのツールだ。リモートマッチ（無観客試合）からのスタートとなるが、選手や国民の皆さまの健康を守るためガイドラインに沿った予防策を徹底し、サッカーのある日々を届けていきたい。

日本フットボールリーグ

JFLチャンネル(インターネットライブ配信)の実施

日本フットボールリーグ(JFL)は6月24日、今シーズンも「JFLチャンネル」と称し、インターネットライブ配信を実施することを発表した。

【第22回日本フットボールリーグ「JFLチャンネル」】

●方式：インターネットライブ配信 ※再生機能（アーカイブ配信）あり

●視聴方法：

・URL：<https://www.youtube.com/c/JFLOfficialChannel>

(JFL Official Channel 内)※試合ごとに専用アドレスを案内

・視聴無料

・ログインID不要

●今季の放送スケジュール

一部の試合を除き、全試合のライブ配信（再生機能（アーカイブ配信）あり）を実施

※JFLチャンネル対象外の試合

①地上波やCATV等の放送局が中継権利を取得し放送する試合

②所属チーム（提携する制作会社含む）が独自でインターネットライブ配信をする試合

※悪条件が重なり、ライブ配信ができないことや試合の途中で配信中止になる場合あり。その場合も後日、アーカイブ配信を実施。また、JFLチャンネル対象外の試合でも①が自局で再放送やオンデマンド放送等を実施しない場合、②についても何らかの事情でアーカイブ配信が実施できない場合はJFLチャンネルで後日アーカイブ配信を実施。

第22回JFL開催に伴う事項

JFLは、6月24日に開催した理事会において下記事項を決定した。

1. リーグ戦の成立基準と順位決定方法について

・リーグ戦の成立は、基準試合数以上開催した場合とする。

(1)全試合数の75%以上の試合開催（90試合以上）

(2)チームは最低30%以上の試合開催（5試合以上）

・順位は、リーグ戦の成立を持って試合数が異なる場合でも以下の「順位の決定」による。

①勝点の多いチーム

②得失点の多いチーム

③当該チーム間の成績

④総得点の多いチーム

⑤勝利数の多いチーム

⑥反則ポイントの少ないチーム

⑦抽選

ただし、不測の事態が発生した場合は理事会で決定する。

2. 未消化試合が生じた場合の開催期限と開催試合の優先順位について

アクシデントにより試合が延期される場合は、開幕7月18日から最終節11月28日の間に開催することを原則とするが、やむを得ずその間に消化できない試合が発生した場合は、12月13日（日）まで（天皇杯4回戦に進出したチームは12月17日（木）まで）、試合の開催を認める。ただし、12月の試合開催について、1チームが行える試合数は最大4試合までとする。

複数のチームが複数の試合を延期した場合の開催試合の優先順位は、4位以内を決定するために必要な試合を優先し、JFL事務局にて決定する。なお、5位以下（場合により4位以下）の順位を決定する試合に関しては試合を開催しない場合もあり。また、試合会場等の確保ができない場合は

ホームとアウェイの変更。中立地での開催を含め対応を検討する。

3. リーグ戦開催と中断、中止の判断基準について

リーグ戦を開催するに当たり、開催と開催後の中断について下記の通り、基準を定め総合的に判断し決定する。

・リーグ戦の開催を決定する主な判断要件を下記のとおりとする。

(1)スタッフ、選手のプレーする意思を確認し、チームとして参加の判断をする。

(2)政府が発信する「非常事態宣言」が全国的に解除されている状況にある。

(3)開催自治体内で試合が開催できる状況にある。（競技場の使用の可否等）

(4)（公財）日本サッカー協会の競技開催の判断を尊重する。

(5)他のリーグ、スポーツ競技団体の判断を参考にする。

(6)選手、スタッフ、試合運営関係者の安全を確保する準備が整う。

(7)試合遠征の安全が確保と移動制限が解除される。

・各要件について

(1)直接競技に関係するスタッフ、選手、また運営法人の関係者が、試合を行うこと、遠征を行うことを理解し競技を行うことを了解し、チームの統一した考えのもとリーグ戦を行う判断をすること。チームの判断によっては、今季のリーグ戦の不参加も検討する。

(2)政府が出す「非常事態宣言」が全国的に解除されている。一部の地域に出された場合は検討が必要となる。

(3)試合を開催する競技場に使用制限なく使用できる状況にある。

(4)（公財）日本サッカー協会から競技会開催等に関する考え方を尊重し対応する。

(5)Jリーグを始めとする、他のサッカーリーグ（なでしこリーグ、9地域リーグ、大学リーグ等）が開催している状況にある。

(6)選手、スタッフ、試合運営関係者、観戦者の安全を確保するために必要な備品等の準備が整う。（マスク、消毒液、フェイスガード、サーモグラ

- ・ フィー等)の、観戦者の観戦環境(席の使用、消毒関係の備品準備等)の整備を行う。
- (7)他都府県へ移動制限が解除され、遠征等に支障をきたすことがない状況になる。企業チーム等が社の方針による移動制限が発生した場合は検討する。
- ・ リーグ戦の中断、中止を決定する判断は下記の点を重視し検討する。

- (1)再び全国的に非常事態宣言が発生された場合。
- (2)その他、リーグ戦の開催を決定する主な判断内容に支障をきたす場合。

4. 選手の交代数について

開幕前の概要：選手の交代数は、3名以内とする。
→(変更)選手の交代数は、5名以内とする。(交代回数はハーフタイムを除き3回まで)

日本女子サッカーリーグ

新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン

日本女子サッカーリーグは、公式戦(2020プレナスなでしこリーグ1部/2部、2020チャレンジリーグ)の再開に向けて、新型コロナウイルス感染症ガイドラインを策定した(6月2日発表)。

同ガイドラインは、(公財)日本スポーツ協会からの「スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」、また(一社)日本野球機構(NPB)と(公社)日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)が設立した「新型コ

ロナウイルス対策連絡会議」において、3月12日に示された『提言』に基づき考案、新型コロナウイルス感染症対策の指針とするもの。

今後、感染状況の変化、政府の対策、都道府県の方針に従うことを大前提とし、状況に応じて更新する。

※ガイドラインの詳細については日本女子サッカーリーグ公式サイト参照

2020 プレナスなでしこリーグ1部のインターネットライブ配信

日本女子サッカーリーグは、「2020 プレナスなでしこリーグ1部」の試合をインターネットライブ配信する。詳細は下記の通り(6月26日発表)。

【インターネットライブ配信】

●2020 プレナスなでしこリーグ1部

Youtube「なでしこリーグチャンネル」で全試合ライブ配信(各節5試合、全18節計90試合)

合、全18節計90試合)

URL : <https://www.youtube.com/user/nadeshikoleague1/featured>

●2020 プレナスなでしこリーグ2部およびチャレンジリーグ

上記大会の今シーズンの放送は調整中(決定次第発表)。

全選手およびチームスタッフを対象としたPCR検査の実施

日本女子サッカーリーグは、7月118日に2020プレナスなでしこリーグ1部および2020プレナスなでしこリーグ2部が開幕することに先立ち、全選手およびチームスタッフを対象としたPCR検査を実施する(7月3日発表)。

【日本女子サッカーリーグが実施するPCR検査に関する概要】

- ・ 検査対象：なでしこリーグ1部・2部全20チームの登録選手、チームスタッフ
- ・ 検査内容：開幕前に1回、唾液検体によるPCR検査を実施する
- ・ 検査日：1部および2部は7月8日以降、順次実施

【検査の前提】

- ・ 社会のニーズに対して検査が十分に供給されていること
- ・ 医療に過大な負荷をかけることなく実施できること

【検査引受先】

- ・ 社名：株式会社シーユーシー・アイデータ(英語表記：CUC i-DATA Inc.)
- ・ 設立：2020年4月1日
- ・ 代表者：斉藤 重人
- ・ 資本金：1億円(資本準備金含む)

【備考】

- ・ 検査結果については、日本女子サッカーリーグより、検査数、陽性例数の各合計を開示する。
- ・ チャレンジリーグ登録選手、チームスタッフの検査については、8月22日の開幕に合わせて調整中。



サッカーファミリー復興支援金

日本サッカー協会(JFA)は、東日本大震災で被災した地域のサッカーファミリーが、これまで通り、サッカーを楽しむことができるよう、サッカー環境の復興を目的に「サッカーファミリー復興支援金」口座を開設しています。集まった復興支援金は、運用細則に基づいて運用されます。

銀行口座 三菱UFJ銀行(0005) 渋谷支店(135)
普通預金 口座番号 0290451 | 公益財団法人日本サッカー協会
サッカーファミリー復興支援金口座
※ご利用金融機関が設定する振込手数料はご負担願います。

「暴力等根絶相談窓口」を設置しています

日本サッカー協会(JFA)は、サッカーの活動現場で生じた暴力行為に関する通報を受け付ける窓口として「暴力等根絶相談窓口」を設置しています。

利用方法
【電話】03-5276-8838
【FAX】廃止
【フォーム】https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd0Tvv0Lef64NmKz4YOCQAYouVhlmW1y3EGilW_ZdkU5w/viewform?usp=sf_link
利用時間：平日12:00~18:00(土日祝、年末年始等除く)





2020/21フットサル競技規則改正

国際サッカー連盟(以下、FIFA)から2020年5月29日付回状第1719号をもって2020/21フットサル競技規則について通達があった。通達自体の日本語訳(概略)は下記の通り。

フットサル競技規則の改正は2014年以来6年ぶりのことだが、今回の改正は、この間に行われたサッカー競技規則の改正のうちフットサルへの反映が好ましいと考えられるものを採り入れると共に、フットサルという競技の特性を確保し、また向上させるものとなっている。これまで通り、フットサルにかかわる関係者、特に競技者、監督/コーチそして審判員はこれらの改正を十分に理解した上で、プレー、指導、そしてレフェリングに携わってもらいたい。

FIFAの回状に添付されている「2020/21フットサル競技規則の主な改正」について必要に応じ「JFAの解説」を加えたものを下記に掲載している。各地域/都道府県協会、連盟等において、加盟クラブ、チーム、審判員等関係者に周知徹底を図られるよう、あわせてお願いしたい。

なお、今回の競技規則の改正についての説明等を本協会のホームページに掲載している。また、フットサル競技規則の全文については、FIFAから送られた後、速やかに展開する。

これらの改正等は国際的には原則2020年6月1日から有効となる。しかしながら、日本の各種フットサル競技会における改正適用開始日については、COVID-19が終息に向かい、日本サッカー協会、各地域/都道府県サッカー協会、連盟等が主催するフットサルの試合の再開が見え、競技会の日程が確定した時点でお知らせする。

FIFAは、これまでサッカーで行った多くの変更と同じように、フットサル競技規則をアップデートした。2020/21フットサル競技規則への改正は、FIFAカウンシルビューローにより2020年4月8日に承認されている。本状に、主な改正の概要を添付している。

改正された規則は2020年6月1日から有効となるが、2020/21フットサル競技規則全文は近く発行することとしている。

COVID-19のため中断している競技会については、競技会終了まで現在適用しているフットサル競技規則を用いることも可能であるし、2020/21フットサル競技規則を採用することも可能である。

また、親善試合、練習試合あるいは競技会再開準備のための試合については、競技会再開が2020年6月1日以降であっても、その時に適用されることになる競技規則を用いることが可能である。

2020/21フットサル競技規則の主な改正について

【修正】

ユース、年長者、障がい者およびグラスルーツのフットサル

- ・ピッチの大きさ
- ・ボールの大きさ、重さ、材質
- ・ゴールポストの間隔とクロスバーのピッチ面からの高さ
- ・(同じ長さの)第1ピリオドと第2ピリオドからなる試合時間(および、同じ長さの2つのピリオドからなる延長戦の時間)
- ・ゴールキーパーがボールを投げることの制限

また、各国サッカー協会がそれぞれの国内フットサルの利益と発展のためさらに弾力的に運用できるよう、FIFAは、フットサルの「カテゴリー」に関して以下の変更を承認した。

女子フットサルを別のカテゴリーとするのではなく、今後は男子フットサルと同じ位置づけにする

ユースおよび年長者の年齢制限の撤廃 — 各国サッカー協会、大陸連盟およびFIFAは、これらのカテゴリーの年齢制限を弾力的に決定できる。

各国サッカー協会は、裾野レベルのフットサルにおいて、どの競技会を「グラスルーツ」とするのかを決定する。

ゴールキーパーがボールを投げることの制限

FIFAは、競技会を開催する国のサッカー協会、大陸連盟またはFIFAなど該当する機関の承認があれば、ユース、年長者、障がい者およびグラスルーツのフットサルにおいて、ゴールキーパーがボールを投げることに一定の制限を加えることを承認した。

これらは、次の条文に規定されている。

● 第12条—ファウルと不正行為

ゴールキーパーが自分のペナルティーエリア内で、次の反則のいずれかを犯した場合も、間接フリーキックが与えられる。

- ・ユース、年長者、障がい者およびグラスルーツのフットサルについて国内のルールで規定されているのであれば、投げたボールが直接ハーフウェーラインを越える(ボールがハーフウェーラインを越えた場所から間接フリーキックを行う)

● 第16条—ゴールクリアランス

ユース、年長者、障がい者およびグラスルーツのフットサルについて国内のルールで規定されているのであれば、ゴールキーパーが投げたボール

が直接ハーフウェーラインを越えた場合、間接フリーキックが相手チームに与えられ、ボールがハーフウェーラインを越えた場所から行われる。

この制限は、フットサルをクリエイティブにし、技術的な向上を図ろうという考え方のもとに導入されている。

各国サッカー協会には、上記の修正を行うことや、どのレベルにおいて修正するかを FIFA に報告するよう求められている。なぜなら、こうした(特に修正を行う理由についての)情報があれば、フットサル発展のためのアイデアや戦略を明確にし、FIFA が他国のサッカー協会と共有してフットサルの発展を援助できる可能性があるからである。

<JFAの解説>

日本においては、15歳以下の年代におけるさらなるフットサルの技術向上を目的として、2003年6月6日付「第3種以下の競技会におけるフットサル競技規則の適用について」により、「ゴールキーパーから、ハーフウェーラインを越えて手で投げて、味方競技者にボールをフィードすること」を禁止し、反則があった場合、「相手側チームに間接フリーキックを与え、間接フリーキックは、ハーフウェーライン上の任意の地点から行われる」としている。

なお、この修正において、「(同じ長さの)第1ピリオドと第2ピリオド～」という語句が用いられている。これはサッカーがサッカー競技規則「第7条―試合時間」において、プレーの時間を「前半、後半共に45分間」、あるいは、「第10条―試合結果の決定」における、「勝利チーム」の項で「それぞれ15分以内で同じ長さの前半と後半からなる延長戦」と表現しているのに対して、フットサルでは、フットサル競技規則の同じく「第7条―試合時間」において「20分間の同じ長さからなる2つのピリオド(第1ピリオドと第2ピリオド)」、あるいは同「第10条―試合結果の決定」における勝利チームの項で「それぞれ5分間以内で同じ長さの2つのピリオドからなる延長戦」とし表現していることに拠っている。

もっとも、表現、それぞれの長さや試合時間の計り方は異なるものの、実質フットサルもサッカーと同じく、試合時間、延長戦をそれぞれ各チーム平等に2つの区切り(ピリオド)をプレーすることになる。

[第3条―競技者]

同時に1チームあたり最大5人の交代要員のウォームアップが認められる。

[第4条―競技者の用具]

その他の用具

ヘッドギア、フェイスマスク、また膝や腕のプロテクターなど危険でない保護用具で、柔らかく、軽いパッドが入った材質でできているものは、ゴールキーパーの帽子やスポーツめがねと同様に認められる。

ピブス:

ピブスは、交代要員と交代して退く競技者を区別するため、シャツの上に着用しなければならず、交代の進め方を完了するために、交代して退く競技者はピブスを着用しなければならない。ピブスは、両チームのシャツと相手チームのピブスの色と異なるものとする。

膝および腕のプロテクター:

膝や腕のプロテクターを着用する場合、ショーツまたはトラックスーツのパンツの主たる色(膝のプロテクター)、シャツの各袖の主たる色(腕のプロテクター)と同じ色でなければならず、過度に大きなものであってはならない。

サッカーにおいて承認され、フットサルにも適用する。

- ・ EPTSを加える
- ・ スローガン、メッセージ、イメージと広告にかかる規定を加える

<JFAの解説>

最近のフットサルの試合において、ショーツやトラックスーツのパンツの色、また、シャツの各袖の主たる色、あるいは、アンダーショーツ(含:タイツ)やアンダーシャツの色と異なる色で、過度に大きな膝や腕のプロテクターを着用することが散見された。これによって、ショーツ、シャツ、ソックスという基本的用具の色が明確でなくなったり、脚や腕の部分の色を多数にすることにより、競技者同士のみならず、主審・第2審判が判定をする上でもさまざまな混乱を生じさせている。

基本的用具の見苦しくない着用のため、また、さまざまな混乱を未然に排除するために、膝や腕のプロテクターの色をショーツやシャツの色と同じくするよう求めるものである。

[第5条―主審・第2審判]

職権と任務

チーム役員が責任ある態度をとれないのであれば、注意、警告を与える、また、ピッチおよびテクニカルエリアを含むその直近の周辺からの退場を命じる。反則を犯した者が特定できなかった場合、テクニカルエリアにいる、より上位のコーチが罰則を受ける。なお、退場を命じられたメディカルのチーム役員は、ベンチに残ることができる。

主審・第2審判の用具 - 基本的な用具

主審・第2審判は、次の用具を携行しなければならない。

- ・ 笛(1つ以上)
- ・ レッドカード、イエローカード
- ・ ノート(または試合を記録するためのその他の道具)

その他の用具

主審・第2審判は、以下のものを用いることが認められる。

- ・ その他の審判員との通信のための用具 — ヘッドセットなど
- ・ EPTS、またはその他のフィットネスモニタリング機器

主審・第2審判は、装身具、また、カメラを含むその他の電子機器を着用することができない。

[第6条—その他の審判員]

リザーブ副審(RAR)

リザーブ副審が割り当てられる大会や競技会における役割と任務は、フットサル競技規則に規定される条項に基づくものでなければならない。

リザーブ副審は、

- ・ 競技会規定に基づき割り当てられ、主審・第2審判のいずれかが試合を審判することができなくなった場合、第3審判に代わる。
- ・ 試合前、中、また、試合後、主審・第2審判の要請に従って、管理運営上の任務を含め、常に主審・第2審判を援助する。
- ・ 試合後、主審・第2審判の視野外で起きた不正行為またはその他の出来事について関係機関に報告する。また、その他の報告書の作成において、主審・第2審判を援助する。
- ・ 試合前、中、または試合後に起きた出来事を記録する。
- ・ 何らかの出来事が起きたときに必要になる予備の手動式ストップウォッチを携帯する。
- ・ 試合に関する適切な情報を提供し、主審・第2審判を援助できるよう、位置する。

[第7条—試合時間]

タイムキーパーは、各20分間のピリオド(また、延長戦の各ピリオド)の終了を音により合図する。

- ・ 主審・第2審判が終了の合図の笛を吹かない場合でも、音による合図があったとき、ピリオドは終了する。
- ・ ピリオドの終了近くで6つ目以降の累積ファウルに与えられる直接フリーキック、または、ペナルティーキックが与えられた場合、この直接フリーキックまたはペナルティーキックが完了したときに、各ピリオドは終了する。ボールがインプレーになった後、次のことが起きたときに、いずれかのキックは完了する。
 - ボールの動きが止まった、またはアウトオブプレーになった
 - ボールが、守備側ゴールキーパーを除く、いずれかの競技者(キッカー本人も含む)によってプレーされた
 - キッカーまたはキッカーのチームの競技者に反則があり、主審・第2審判がプレーを停止した
- ・ タイムキーパーの音による合図によってピリオドの終了が示された後であっても、上記の状況においてのみ、第1条と第10条の規定に基づきボールがゴールに入ったときに限り得点が認められる。

これ以外のケースで、ピリオドは延長されない。

<JFAの解説>

これまで、各ピリオドの終了は、タイムキーパーからの音(フザー)が鳴る前にシュートされた場合、ボールが相手ゴールに入る途中に音が鳴ったとしても、ゴールインすれば得点が認められた(「フザーピーター」とも呼ばれる)。また、主審・第2審判は、タイムキーパーからの音が鳴った直後にピリオド終了を伝える笛を吹かず、ボールの行方を確認し、得点、またはボールがアウトオブプレーになったことを確認してから、終了の笛を吹いていた。

今回の改正により、タイムキーパーの音が鳴った「その瞬間」にピリオドが終了することになるので、仮にシュートが音の鳴る前であっても、その後のゴールインは得点として認められないことになる。そして、主審・第2審判がタイムキーパーの音の後に吹く笛は、終了の確認のためのものとなる。

[第8条—プレーの開始および再開]

キックオフの進め方

キックオフを行う競技者を除いて、全ての競技者はピッチの自分たちのハーフ内にいなければならない。

ボールは、蹴られて明らかに動いたときインプレーとなる。

2020/21フットサル競技規則改正

キックオフから相手競技者のゴールに直接得点することができる。ボールがキッカー自身のゴールに直接入った場合、相手競技者にコーナーキックが与えられる。

【第10条―試合結果の決定】

両チーム5本のキックを行う。3本ではなくなった。

試合または延長戦が終了したとき、ペナルティーマークからのキックを行う前に一方のチームの競技者数(交代要員を含む)が相手より多い場合、競技者数の多いチームは相手の競技者数と等しくなるように競技者数を減らすことができ、除外する場合、除外するそれぞれの競技者の氏名と番号は、主審・第2審判に通知されなければならない。除外された競技者は、キックに参加することができない(特定の条件下の場合を除く)。

ペナルティーマークからのキックが進行中に、一方のチームの競技者数が相手チームより少なくなった場合、競技者の多いチームは相手競技者数と等しくなるように競技者数を減らすことができる。除外する場合、除外するそれぞれの競技者の氏名と番号は、主審・第2審判に通知しなければならない。除外された競技者は、それ以降、キックに参加することができない(特定の条件下の場合を除く)。

<JFAの解説>

サッカーでは、ペナルティーマークからのキック(KFPM:PK方式)が行われるときに両チームの競技者数が異なる場合、数の多い方のチームは数の少ないチームの競技者数と同じくするため、キックに参加しない競技者を除くこととしている。一方、フットサルでは、競技者(競技者+交代要員)数が多いチームは除外するのか、しないのを選択することができ、除外した場合、除外された競技者(または交代要員)は、サッカーと同様、キックに参加することができない。

なお、(特定の条件下の場合を除く)とは、ゴールキーパーがペナルティーマークからのキックの前または進行中にプレーを続けられなくなったとき、競技者数を等しくするために除外された競技者または交代要員であっても、ゴールキーパーと入れ替わってキックに参加することができることである。

【第12条―ファウルと不正行為】

ボールを手または腕で扱う

自分のペナルティーエリア内でゴールキーパーが触れる場合を除き、競技者が次のことを行った場合、反則となる。

- ・ 手や腕をボールの方向に動かす場合を含め、手や腕を用いて意図的にボールに触れる。
- ・ ボールが手や腕に触れた後にボールを保持して、またはコントロールして、次のことを行う。
 - ― 相手競技者のゴールに得点する
 - ― 得点の機会を作り出す

自分のペナルティーエリア内でゴールキーパーが触れる場合を除き、競技者が次のことを行った場合、通常は反則となる。

- ・ 次のように手や腕でボールに触れたとき、
 - ― 手や腕を用いて競技者の体を不自然に大きくした
 - ― 競技者の手や腕が肩の位置以上の高さにある(競技者が手や腕以外の体の部位で意図的にボールをプレーしたのち、ボールがその競技者の手や腕に触れた場合を除く)

これらの反則は、ボールが近くにいる別の競技者の頭または体(足を含む)から競技者の手または腕に直接触れた場合でも適用される。

これらの反則を除き、次のようにボールが競技者の手または腕に触れた場合、通常は反則ではない。

- ― 競技者自身の頭または体(足を含む)から直接触れる
- ― 近くにいる別の競技者の頭または体(足を含む)から直接触れる
- ― 手または腕は体の近くにあるが、手または腕を用いて競技者の体を不自然に大きくしていない
- ― 競技者が倒れ、体を支えるための手や腕が体とピッチ面の間にある、ただし、体から横または縦方向に伸ばされていない

ゴールキーパーは、自分のペナルティーエリア外でボールを手または腕で扱うことについて、他の競技者と同様に制限される。ゴールキーパーが、自分のペナルティーエリア内で、認められていないにもかかわらず手や腕でボールを扱った場合、間接フリーキックが与えられるが、懲戒の罰則にはならない。

<JFAの解説>

ゴールキーパーがボールをプレーした後に、相手競技者がプレーする、または触れることなく、味方競技者が意図的にゴールキーパーに向かってプレーしたボールが自分のゴールに入るのを阻止するために、ボールに再び触れるなどしても、懲戒の罰則を与えられることはない。

しかしながら、ゴールクリアランスをしたボールが相手に渡り、相手の決定的な得点の機会になるのを阻止するために、あえてボールに再び触れるなどの反則を犯した場合などについては、「サッカーの2020/21競技規則」でも明確化されているように、その反則に応じた、懲戒の罰則が与えられることになる。

得点、または、決定的な得点の機会の阻止(DOGSO)

競技者が、ハンドの反則により、相手チームの得点、または決定的な得点の機会を阻止した場合、反則が起きた場所にかかわらず、その競技者は退場を命じられる。

競技者が相手競技者に対して反則を犯し、相手競技者の決定的な得点の機会を阻止し、主審・第2審判がペナルティーキックを与えた場合、その反則がボールをプレーしようと試みて犯された反則だった場合、反則を犯した競技者は警告される。それ以外のあらゆる状況(押さえる、引っばる、押す、または、ボールをプレーする可能性がないなど)においては、反則を犯した競技者は退場させられなければならない。

競技者、退場となった競技者、交代要員またはチーム役員が主審・第2審判から必要な承認を得ることなく、あるいは、交代の進め方に反してピッチに入り、プレーまたは相手競技者を妨害し、相手チームの得点あるいは決定的な得点の機会を阻止した場合、退場の対象となる反則を犯したことになる。

DOGSOの状況かどうかを決定する上にあたり、次の状況を考慮に入れなければならない。

- ・ 反則とゴールとの距離
- ・ 全体的なプレーの方向
- ・ ボールをキープできる、またはコントロールできる可能性
- ・ ゴールキーパーおよび守備側フィールドプレーヤーの位置と数
- ・ ゴールが「守られている」かどうか

ゴールキーパーが自分自身のゴールの前にいて、ゴールを守っていた場合、他DOGSOの基準に合致していても、DOGSOの反則が犯されたとは考えない。

ゴールがゴールキーパーによって守られていない、または1人の守備側フィールドプレーヤーによってのみゴールが守られているときに、ゴールキーパーが相手チームの決定的な得点の機会を阻止する反則、あるいはペナルティーエリアの外で、手または腕で相手の得点、あるいは決定的な得点の機会を阻止する反則を犯した場合、ゴールキーパーはDOGSOの反則を犯したと考える。

攻撃側競技者の数が、ゴールを守る(ゴールキーパーを除いた)守備側競技者の数より多い場合、DOGSOの状況にあると考える。

<JFAの解説>

フットサルにおいてもサッカーと同様、決定的な得点の機会が反則により阻止(DOGSO)された場合、反則を犯した競技者には、退場が命じられる。しかしながら、フットサルはピッチの大きさやゴールの大きさがサッカーより小さく、ゴールキーパーと1対1というサッカーでは「決定的な」得点の機会を得ている競技者であっても、フットサルにおいては、「決定的な」と言えるほどまでの得点の機会を得ていることにはならない。

これまで、サッカーと全く同じ基準を用いてDOGSOを判断することで、ゴールキーパーと1対1の「決定的」とは言えない状況にもかかわらず、競技者が退場を命じられたこともあったことから、ゴールがゴールキーパーによって「守られている」かどうかをDOGSOの判断の考慮事項に加え、ゴールキーパーによって守られている場合は、DOGSOの反則が犯されていないこととした。

なお、条文は、「ゴールがゴールキーパーによって守られていない～ゴールキーパーはDOGSOの反則を犯したと考える」としているが、これは、次のとおり、「DOGSO」と「得点の阻止」の2つの退場となる反則についての説明の規定である。

1. ゴールがゴールキーパーに守られていない状況で、ペナルティーエリア内外にかかわらず、「ゴールキーパーが相手チームの決定的な得点の機会を阻止する反則を犯した」場合、「DOGSO」により、退場が命じられる。
2. ゴールが守備側フィールドプレーヤー(ゴールキーパー以外の守備側競技者)によって守られていない状況で、ゴールキーパーがペナルティーエリアの外で「手または腕で相手の得点、あるいは相手の決定的な得点の機会を阻止」した場合、「得点の阻止」により退場が命じられる。

ファウルや不正行為の後のプレーの再開

ボールがアウトオブプレーの場合、その前の判定に基づき再開される。

ボールがインプレー中、反則がピッチ外で競技者によって、自分のチームの競技者、交代要員、またはチーム役員に対して犯されたならば、反則または妨害が起きたところから最も近い境界線上から行う間接フリーキックでプレーは再開される。

競技者が手に持ったもの(シューズやすね当てなど)でボールに触れた場合、直接フリーキック(またはペナルティーキック)でプレーは再開される。

[第13条-フリーキック]

DFKSAF(6つ目の累積ファウル以降に与えられる直接フリーキック)が行われようとしたとき、ボールの方向に動きキッカーを妨害した相手競技

2020/21フットサル競技規則改正

者は、5mの最小距離を守っていたとしても、警告されなければならない。

<JFAの解説>

サッカーに比べ、フットサルのピッチは小さく、仮に5m離れていても、DFKSAFやペナルティーキックのときに守備側競技者がボールに近づくことによってキックに悪影響を与えることがある。これを排除すべく、妨害(悪影響を与える)を行った競技者を警告することとした。例えば、ボールから5m以上離れているキッカーがボールに近づくときに、守備側競技者が妨害のためにキッカーに並走するなどケースが考えられる。

[第14条ーペナルティーキック]

ボールが蹴られるとき、守備側チームのゴールキーパーは、少なくとも片足の一部をゴールラインに触れさせているか、ゴールラインの上に位置させていなければならない。

ボールは、蹴られて明らかに前方に動いたときインプレーとなる。

ペナルティーキックが行われようとしたとき、ボールの方向に動きキッカーを妨害した相手競技者は、5mの最小距離を守っていたとしても、警告されなければならない。

[第15条ーキックイン]

キックインは、ボールがインプレー中、ピッチ面または空中でボールの全体がタッチラインを越えたとき、あるいは、天井に当たったとき、最後にボールに触れた競技者の相手競技者に与えられる。

キックインから直接得点することはできない。

- ・ボールが相手競技者のゴールに入った場合ーゴールクリアランスが与えられる。
- ・ボールがキッカーのゴールに入った場合ーコーナーキックが与えられる。

進め方

ボールを蹴り入れるとき、

- ・ボールは、ピッチを出た、または、天井に触れたところから最も近いタッチライン上の地点で静止している。
- ・すべての相手競技者は、キックインが行われる場所のタッチライン上の地点から5m以上離れて立っていないなければならない。

ボールは、蹴られて明らかに動いたときにインプレーとなる。

チームがボールを蹴り入れる準備ができてから、または、チームが準備できたと主審・第2審判が合図してから、4秒以内にボールをインプレーにしなければならない。

キックインが行われ、そののち、ボールがインプレーになった後、いずれの競技者にも触れず、キックインが行われたサイドのタッチラインから外に出たならば、キックインは、もとのキックインが行われたところと同じ場所から相手チームがキックインを再び行う。

競技者がキックインを正しく行い、不用意でも、無謀でも、また、過剰な力を用いることもなく、意図的にボールを相手競技者に向けて蹴り、はね返ったボールを自分のものとした場合、主審・第2審判はプレーを続けさせる。

キッカーは他の競技者が触れるまで再びボールに触れてはならない。

<JFAの解説>

フットサル(5人制室内サッカー)の競技規則はFIFAにより1988年に起草された当初より、(キックインで)ボールをける競技者は、「いずれかの足の一部をタッチライン上、またはタッチラインの外のピッチ面につける」としていた。また、2010/11年の改正により、ボールの位置は、「タッチラインからボールがピッチから出た地点、またはピッチ外で、その地点から25cm以内の場所から」とされた。

しかしながら、今回の改正により、これらの条件は除かれ、代わって、ボールを蹴り入れるとき、ボールが「ピッチを出た、または、天井に触れたところから最も近いタッチライン上の地点」に置かれて、静止していることが条件となり、キッカーの足の位置はピッチ内外のどこに置いても良いことになった(その他の条件は変わらない)。

[第16条ーゴールクリアランス]

進め方

- ・ボールは、ペナルティーエリアの任意の地点(場所)から守備側チームのゴールキーパーによって投げられる、または、リリースされる。
- ・ボールは、投げられる、または、リリースされて明らかに動いたときにインプレーとなる。
- ・チームがボールを投げる、またはリリースする準備ができてから、あるいは、チームが準備できたと主審・第2審判が合図してから、4秒以内にボールをインプレーにしなければならない。
- ・相手競技者は、ボールがインプレーになるまで、ペナルティーエリアの外にいる。



日本サッカー協会（JFA）は2020年6月18日、2020年度第7回理事会をオンラインで開催した。決議、報告された事項は、下記の通り。

決議事項

- | | |
|--|-----------------------------|
| 1 天皇杯 JFA 第100回全日本サッカー選手権大会 大会方式、スケジュール、上位入賞チーム強化費 変更…………… P42 | 2 登録ウインドーの変更…………… P42 |
| | 3 ビーチサッカー日本代表監督 選任…………… P43 |

天皇杯 JFA 第100回全日本サッカー選手権大会 大会方式、スケジュール、上位入賞チーム強化費 変更

天皇杯 JFA 第100回全日本サッカー選手権大会については、その後のJリーグスケジュールなどを考慮し、大会方式、スケジュール、上位入賞チーム強化費を下記の通り変更する。

1. 大会方式、スケジュール変更について 前提条件

- ・関係者の安全を最優先
- ・本年度はJリーグ レギュラーシーズンを出来る限り消化できるようサッカー界全体でサポート
- ・都道府県代表決定の対応を考慮し、大会方式を決定
- ・今回の大会方式は第100回大会限りとする

(1)大会方式（変更後）

- ・8回戦制ノックアウト方式
- ・52チーム参加
- ①Jクラブは、以下の通り出場する。
 - J1・上位2チーム：準決勝より出場
 - J2・上位1チーム：準々決勝より出場
 - J3・上位1チーム：準々決勝より出場
- ※下線が変更箇所
- ※原則として、今シーズンの各リーグ上位チームが天皇杯に出場する。
(その他のJ1・J2・J3チームは出場しない)
- ②アマチュアシード (Honda FC / JFL)は、2回戦より出場
都道府県代表は、1回戦または2回戦より出場
※都道府県代表は、所属する第1種加盟チームの内、JFL、社会人連盟、大学連盟等を対象とする (J3チームは含まれない)。

(2)スケジュール

- 1回戦 9月16日 (水)※都道府県代表32チーム出場
- 2回戦 9月23日 (水)※アマチュアシード1チーム、都道府県代表15チーム出場
- 3回戦 10月28日 (水)
- 4回戦 12月12日 (土)、13日 (日)
- 5回戦 12月20日 (日)
- 準々決勝 12月23日 (水) ※J2・J3リーグ各1チーム出場
- 準決勝 12月27日 (日) ※J1リーグ2チーム出場
- 決勝 1月1日 (金祝)
- ※下線が変更箇所

2. 上位入賞チーム強化費について

天皇杯は都道府県選手権大会まで対象を広げると全国の第1種登録チーム全てに参加資格があり、4月上旬に実施したアンケート調査によると、本年度（第100回大会）は2,432チームが出場登録している。新型コロナウイルスの影響もあり参加クラブが減少しているが、その減少幅は前年対比▲187チーム、比率では▲7%の減少に留まっている。

一方、本選のみを対象にすると、第100回大会に限定した大幅な方式変更の結果、参加チーム数が通常年の88チームから52チーム（通常年比59%、約6割）に減少する。これに鑑み、今年度に限り上位入賞チーム強化費を下記の通りとする。

- 優勝：1億円 (1.5億円)
- 準優勝：3千万円 (5千万円)
- 第3位：1千万円 (2千万円)※2チーム
- 合計1.5億円 (2.4億円)
- ※()内は、変更前の金額

登録ウインドーの変更

「登録ウインドー」に関しては、2009年度12月理事会で原則として下記の通り定めることが確認されている。

- 第1登録ウインドー：当該年1月の第1金曜日
(1月1日が金曜日の場合は第2金曜日)から12週間
- 第2登録ウインドー：当該年7月の第3金曜日から4週間
- これに基づき、本年度の登録ウインドーは以下の日程となっている。

【現行】

- 第1登録ウインドー：2020年1月3日 (金)～3月27日 (金)
- 第2登録ウインドー：2020年7月17日 (金)～8月14日 (金)

新型コロナウイルス感染症の影響により、2月下旬からJリーグの公式戦が中断しているが、J1リーグが7月4日 (土)から、J2リーグおよびJ3リーグが6月27日 (土)からそれぞれ再開 / 開幕される方針が決定されたことから、本年の第2登録ウインドーを下記の通り、変更する。

【変更】

- 第2登録ウインドー：2020年7月31日 (金)～8月28日 (金)
- なお、FIFA規則では原則として設定済みの登録ウインドーを変更することはできないが、本年4月7日にFIFAより「新型コロナウイルス感染症の影響による登録ウインドーの変更の要請についてはFIFAも柔軟に対応する」という方針が示されていることから、FIFAに対して変更を申請する。

左ページ左上へ続く

＜参考＞登録ウインドー

FIFA規則に基づき、各国協会は年2回の登録ウインドーを定め、FIFAに報告しなければならない。同規則により、第1登録ウインドーは前シーズン終了後に始まる12週間以内の期間、第2登録ウインドーはシーズン中の4週間以内の期間と

定められている。

FIFAおよび本協会の諸規則に基づき、Jリーグ、JFLのクラブへの選手の登録(移籍)は、一部の例外を除き、原則として「登録ウインドー」の期間中においてのみ可能となる。

ビーチサッカー日本代表監督 選任

FIFAビーチサッカーワールドカップ2021を目指すビーチサッカー日本代表監督を下記の通り選任する。 ※25ページに関連記事あり

監督：茂怜羅 オズ(もれいら おず)

茂怜羅氏は選手としての活動も継続する予定のため、監督兼選手の形となる。兼務登録が認められない公式大会においては茂怜羅氏を登録上は「選手」とし、「監督」には別途コーチングスタッフを登録する予定。

＜プロフィール＞

茂怜羅 オズ

生年月日： 1986年1月22日
出身地： ブラジル・リオデジャネイロ州
最終学歴： 2004年 CEITEC リオ・デ・ジャネイロ 卒業

ビーチサッカー歴：ヴァスコ・ダ・ガマ(ブラジル)
ユニオン・ブラジル(ドイツ)
東京レキオスBS
アンザリ(イラン)
FC バルセロナ(スペイン)
Beach Soccer Club FUSION
東京ヴェルディ BS

指導歴：2011～2012年 ビーチサッカー日本代表 コーチ
2016～2017年 Beach Soccer Club FUSION 監督 兼 選手
2017年2月～ 東京ヴェルディ BS 監督 兼 選手

資格：2014年 日本サッカー協会公認C級ライセンス
2015年 AFCビーチサッカーコーチライセンス Level1
2017年 AFC ビーチサッカーコーチングライセンス Level1
インストラクター
2020年 AFC ビーチサッカーコーチライセンス Level2 取得予定

報告事項

- 1 「第1次サッカーファミリー財政支援事業(融資型)」の実施状況 …… P43
- 2 「高円宮記念 JFA 夢フィールド」寄付 …… P43
- 3 2020/2021年サッカー競技規則の適用開始日 …… P44
- 4 2020/2021年フットサル競技規則改正 …… P36
- 5 47都道府県サッカー協会における技術担当者専任化 …… P44
- 6 指導者ライセンス認定 …… P44

「第1次サッカーファミリー財政支援事業(融資型)」の実施状況

5月の理事会で承認された「第1次サッカーファミリー財政支援事業(融資型)」の実施状況について、下記の通り報告する。

- ・申請総数：250件 / 548,316,150円 (6月18日現在)
- ・採択数：219件 / 412,160,000円 (6月18日現在)

●申請・審査状況

区分	件数	金額	備考
申請総数	250(件)	548,316,150(円)	6月18日(木)現在
採択(採択内訳)	219(件)	412,160,000(円)	6月18日(木)現在
第1回審査特別委員会	71(件)	127,880,000(円)	5月15日(金)開催
第2回審査特別委員会	46(件)	83,900,000(円)	5月21日(木)開催
第3回審査特別委員会	29(件)	53,980,000(円)	5月27日(水)開催
第4回審査特別委員会	29(件)	61,150,000(円)	6月4日(木)開催
第5回審査特別委員会	24(件)	43,750,000(円)	6月11日(木)開催
第6回審査特別委員会	20(件)	41,500,000(円)	6月18日(木)開催
不採択	14(件)	19,920,280(円)	6月18日(木)現在
申請辞退	7(件)	13,003,000(円)	6月18日(木)現在
審査中	10(件)		6月18日(木)現在

●都道府県別申請数

北海道	10	長野県	3	鳥取県	0	鹿児島県	0
青森県	1	新潟県	1	島根県	1	沖縄県	5
岩手県	0	富山県	8	岡山県	1		
宮城県	1	石川県	2	広島県	2		
秋田県	0	福井県	1	山口県	0		
山形県	0	静岡県	8	香川県	2		
福島県	3	愛知県	9	徳島県	0		
茨城県	10	三重県	4	愛媛県	0		
栃木県	6	岐阜県	0	高知県	0		
群馬県	1	滋賀県	1	福岡県	5		
埼玉県	22	京都府	5	佐賀県	0		
千葉県	22	大阪府	26	長崎県	0		
東京都	40	兵庫県	14	熊本県	6		
神奈川県	18	奈良県	4	大分県	3	都道府県数	34
山梨県	2	和歌山県	0	宮崎県	3	申請総数	250

●登録種別別申請数

第1種(社会人)	43	第1種(大学)	0	第1種(高専)	0
第2種(高体連)	1	第2種(クラブ)	8		
第3種(中体連)	1	第3種(クラブ)	136		
第4種	163				
シニア	4				
女子	21				
フットサル	16	ビーチサッカー	3		
未登録(スクールのみ)	15				

※複数種別に登録するクラブがあるため合計値は申請総数と異なる。

高円宮記念 JFA 夢フィールド」寄付

(1) 寄付募集概要

名称：JFA 夢フィールド建設寄付
使途：JFA 夢フィールドのうち、ピッチ、クラブハウス、フットサルアリーナの建設費用の一部

募集期間：①個人 2018年12月～2020年1月まで
②法人 2018年12月～2020年3月まで
寄付の種類：①個人 500円以上(任意)
②法人 1口 100,000円

次ページ左上へ続く

(2) 寄付金収入

寄付金額合計 2,316件 90,414,945円

(内訳)

	金額種別	件数	寄付金額
個人	500円以上	96	306,019
	10,000円以上	1,643	16,561,100
	30,000円以上	369	11,887,100
	100,000円以上	95	28,860,726
	計	2,203	57,614,945

	金額種別	件数	寄付金額
法人	100,000円以上	37	4,200,000
	300,000円以上	76	28,600,000
	計	113	32,800,000

2020/2021年サッカー競技規則の適用開始日

5月の理事会で報告したサッカー競技規則改正の適用日を下記の通りとする。
(各リーグ等の開幕/再開日が発表されたことによる)

リーグ	適用開始日
2020明治安田生命J1リーグ(第2節)	7月4日(土)
2020明治安田生命J2リーグ(第2節)	6月27日(土)
2020明治安田生命J3リーグ(第1節)	6月27日(土)
2020JリーグYBCルヴァンカップ(グループステージ第2節)	8月5日(水)
第22回日本フットボールリーグ(2020)(第16節)	7月18日(土)
2020プレナスなでしこリーグ1部(第1節)	7月18日(土)
2020プレナスなでしこリーグ2部(第1節)	7月18日(土)
2020プレナスチャレンジリーグ(第1節)	8月22日(土)

JFAが主催する競技会	適用開始日
各種全国大会(決勝大会)	原則 7月1日(水)
【備考】現競技規則(2019/2020年)・新競技規則(2020/2021年)のどちらを適用するかを各競技会毎に確認し、競技会規程等に明記する。また、代表者会議や監督会議、マッチコーディネーションミーティングの都度確認する。	

上記以外の競技会	適用開始日
地域・都道府県FAが主催する各種大会	遅くとも、2021年 4月1日(木) ※大会主催者が適用開始日を決定する。

47都道府県サッカー協会における技術担当者専任化

47都道府県サッカー協会における技術担当者の専任化については、2019年10月理事会において47都道府県サッカー協会(FA)向け補助金交付を決議し、各FAと協議の上、技術委員会が決定することとした。

これを受け、FAから申請のあった候補者について技術委員会が審査した結果、下記の通り、新たに1FAで専任の技術担当者が決定した。未定となっているFAについては、申請があり次第、随時審査を行う。

前回までに決定したFA: 14FA

今回決定したFA: 1FA

合計: 15FA

【技術担当者専任化承認者一覧】(専任者設置FA数: 15/47FA)

FA名	名前	保有ライセンス	年齢	備考
群馬県	中村 楽	A級ジェネラル	40	※今回報告

指導者ライセンス認定

指導者に関する規則第4条「ライセンスの認定」に基づき、2019年度S級コーチ養成講習会を修了し、本協会技術委員会が適格と認めたと下記の3名にS級コーチライセンスを認定した。

名前: 臼井 弘貴(うすい ひろたか)

指導チーム: 松本山雅FC

生年月日: 1980年4月6日

資格: 2011年

A級コーチジェネラルライセンス取得

指導歴: 2003~2004年

日本大学保健体育審議会サッカー部 コーチ

2005年

長野エルザSC ジュニアユース コーチ

2006~2008年

AC長野パルセイロ トップチーム コーチ 兼 通訳

2009~2011年

AC長野パルセイロ ジュニアユース コーチ

2012~2014年

松本山雅FC U-18 コーチ

2015~2016年

松本山雅FC U-18 監督

2017~2017年6月

Geylang International FC(シンガポール)U15/U17 監督

2017年7月~

Geylang International FC(シンガポール)

トップチームコーチ兼U-21 監督

2018年

Geylang International FC(シンガポール)

トップチーム監督

2019年~

松本山雅FC U-18 コーチ

名前: 小田切 道治(おたぎり みちはる)

指導チーム: カターレ富山

生年月日: 1978年9月2日

資格: 2014年

A級コーチジェネラルライセンス取得

指導歴: 2010~2011年

カターレ富山U-15 コーチ

2012年

カターレ富山U-18 コーチ

2013年

カターレ富山U-15 監督

2014~2015年

カターレ富山U-15 コーチ

2016年

カターレ富山U-15 監督

2017~2018年

カターレ富山アカデミーダイレクター 兼 U-18監督

2019年~

カターレ富山トップチーム コーチ

名前: 倉貫 一毅(くらぬき かずき)

指導チーム: 徳島ヴォルティス

生年月日: 1978年11月10日

資格: 2017年

A級コーチジェネラルライセンス取得

指導歴: 2015~2016年

徳島ヴォルティススクール コーチ

2017~2018年8月

徳島ヴォルティスユース コーチ

2018年8月~2019年

徳島ヴォルティスユース 監督

※2019年度S級コーチ認定者数: 5名/15名中(上記3名含む)

※現S級コーチライセンス保持者数: 501名(上記5名含む) 2020年5月10日現在



JAPAN NATIONAL TEAM

Japan National Team would like to thank its partners for their support.

SAMURAI BLUE



©JFA / キリンチャレンジカップ2019 対ベネズエラ代表戦 先発メンバー (2019.11.19)

OFFICIAL PARTNER



OFFICIAL SUPPLIER



SUPPORTING COMPANIES

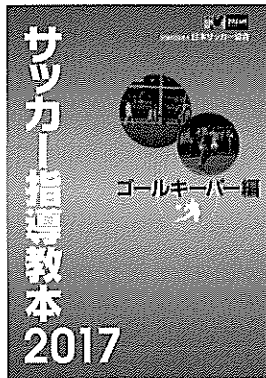




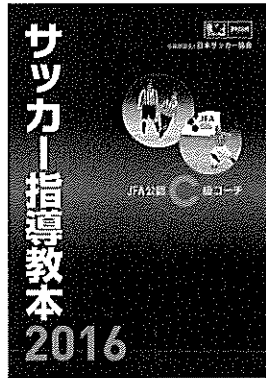
JFA 関連発行物のご案内

JFA公認指導者資格保有者限定

▼購入希望者は、申込書の①をご記入ください



サッカー指導教本・
DVD2017
ゴールキーパー編
▶ ¥7,700



サッカー指導教本・
DVD2016
JFA公認C級コーチ
▶ ¥7,700



サッカー指導教本・
DVD2016
JFA公認D級コーチ
▶ ¥5,230

▼ KICKOFF サイトよりご購入ください (※ KICKOFF サイトのみでのご購入となります。下記 URL からご購入ください)



2018 FIFAワールドカップロシア
JFAテクニカルレポート
▶ ¥2,970

【内容】
・動画
・補助資料 (PDFデータ)
・補助資料 (電子ブック)
※PDFデータと電子ブックは同一の内容です。
※映像と電子ブックは同時には開けません。

【購入方法】

- ① KICKOFFサイトにログイン
(URL: <https://jfaid.jfa.jp/uniid-server/login>)
- ② 講習会・研修会検索画面より下記の内容で検索
講習会・研修会区分: 「その他研修会」
主催協会: 日本サッカー協会
eラーニングに「✓」を入れてください
※講習会番号「000R10001891」でも検索ができます。

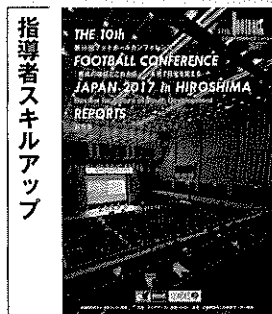
- ・本コンテンツはリフレッシュポイント付与対象ではありません。
- ・視聴可能期間は2022年10月31日までです。

どなたでも購入できます



指導指針・ガイドライン
JFA指導指針
(U-10~18) 2017
▶ ¥2,200

JFA指導指針を改訂しました。今回の改訂では、U-10年代、またU-16年代の先、完成期に近づくU-18年代までカバーしました。そして、全体像、その中の各年代を意識していただくために、分冊とせず1冊にしました。



指導者スキルアップ
第10回フットボール
カンファレンス報告書
▶ ¥2,640

2017年1月7日~9日に広島県・広島国際会議場で開催した第10回フットボールカンファレンスの報告書です。



競技規則
サッカー競技規則
2019/20

▶ 日本語 ¥1,100
▶ 英語 ¥1,320

国際サッカー評議会 (IFAB) が制定したサッカー競技規則です。

※審判員・審判インストラクター資格をお持ちの方は、KICKOFFよりお求めください。



JFA news
年間購読
▶ ¥5,000 (送料込)

JFAが発行するオフィシャルマガジンです。1冊600円、年間購読は送料込で5,000円 (12冊) です。

※毎月1日~14日にWeb申込みまたはご入金確認が取れたご注文は同月の発行号から、毎月15日~末日にWeb申込みまたはご入金確認が取れたご注文は翌月の発行号から購読開始となります。

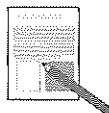
インターネットからも購入できます (クレジットカード決済のみ)

日本サッカー協会 Official Online Shop ▶ <https://webshop.jfa.jp/fs/jfagoods/c/top>

※上記サイトでは、JFAが発行するさまざまな刊行物が購入できます。以前とURL、申込方法が変更となっておりますのでご注意ください。
※JFA公認指導者資格保有者・JFA加盟登録チーム限定のものは購入できません。

申し込み方法

FAX送付先：03-6302-0538



専用申込書にご記入の上
FAXにてご連絡ください



お申し込み確認後、
受付番号をご返信いたします



受付番号ご確認後、
お振込みをお願いいたします



ご入金確認後、発送いたします

JFA公認指導者 資格保有者限定	<input type="checkbox"/> サッカー指導教本・DVD2016 JFA公認C級コーチ	¥7,700	◎はJFA公認指導者 資格保有者限定の 販売となります。購入 ご希望の際は下記① 欄にご記入ください
	<input type="checkbox"/> サッカー指導教本・DVD2016 JFA公認D級コーチ	¥5,230	
	<input type="checkbox"/> サッカー指導教本・DVD2017 ゴールキーパー編	¥7,700	
JFA公認指導者資格 保有者・JFA加盟登録 チーム限定	<input type="checkbox"/> 2014 FIFAワールドカップブラジル JFAテクニカルレポート / DVD	¥4,400	① お一人様1セット のみの販売と なります。
	<input type="checkbox"/> FIFA女子ワールドカップドイツ2011 JFAテクニカルレポート / DVD	¥1,670	
	<input type="checkbox"/> 2010 FIFAワールドカップ南アフリカ JFAテクニカルレポート / DVD	¥4,700	
①	保有資格	<input type="checkbox"/> 級コーチ / <input type="checkbox"/> キッズリーダー	
	指導者登録番号	C _____	

どなたでも 購入できます	JFAnews	<input type="checkbox"/> JFAnews 年間購読 ※年間購読のみご注文の場合は送料無料で	¥5,000 (送料込)	5,000円
	大会レポート	<input type="checkbox"/> JFAテクニカルレポート2013	¥1,310 × ()冊 =	円
		<input type="checkbox"/> UEFA EURO 2012 JFAテクニカルレポート	¥1,250 × ()冊 =	円
	指導指針 ガイドライン	<input type="checkbox"/> JFA指導指針 (U-10~18) 2017	¥2,200 × ()冊 =	円
		<input type="checkbox"/> JFAキッズ (U-10) 指導ガイドライン	¥1,100 × ()冊 =	円
		<input type="checkbox"/> JFAキッズ (U-8) 指導ガイドライン	¥1,100 × ()冊 =	円
		<input type="checkbox"/> JFAキッズ (U-6) 指導ガイドライン	¥1,100 × ()冊 =	円
	トレーニング教材	<input type="checkbox"/> コンディショニングプログラムDVD (育成年代)	¥2,750 × ()冊 =	円
		<input type="checkbox"/> 小中学生対象 サッカー選手のためのランニングドリルDVD	¥2,200 × ()冊 =	円
		<input type="checkbox"/> 育成年代のコアトレーニングDVD	¥2,200 × ()冊 =	円
		<input type="checkbox"/> JFAキッズドリル	¥1,030 × ()冊 =	円
		<input type="checkbox"/> JFAキッズドリル②アイスブレイク集	¥1,250 × ()冊 =	円
	指導者スキルアップ	<input type="checkbox"/> Technical news 対談集 ピッチからのことば~世界のトップ10を目指して~	¥1,100 × ()冊 =	円
<input type="checkbox"/> 第10回フットボールカンファレンス報告書		¥2,640 × ()冊 =	円	
競技規則	<input type="checkbox"/> サッカー競技規則2019/20 (日本語)	¥1,100 × ()冊 =	円	
	<input type="checkbox"/> サッカー競技規則2019/20 (英語)	¥1,320 × ()冊 =	円	
	<input type="checkbox"/> フットサル競技規則2019/20 (日本語)	¥1,100 × ()冊 =	円	
	<input type="checkbox"/> ビーチサッカー競技規則2015/16 (日本語)	¥1,100 × ()冊 =	円	

お振込み先				送料	+550円
三菱UFJ銀行	新宿新都心支店	普通預金	口座番号：1052178	合計	円
口座名義	マッシュコーポレーション(株)				
ご依頼人	○○○○○○○○○ (8桁の受付番号) + お申込者氏名				

※ご依頼人様入力の際、申込者氏名の前に下記受付番号を入力してください。
 ※インターネットバンク等でのご入金の際、上記振込み先「口座名義」は、「マッシュコーポレーション(カ)」となります。

- 領収書の発行はいたしません。払い込み取扱票の払込受領証が領収書となりますので大切に保管してください。
- 商品の発送は、入金確認後3~5日前後にお届けいたします。
- お客様のご都合による返品はお断りしております。ただし、お届けした物品が万が一、配送中の事故などで破損キズおよび初期不良の場合には当方送料負担でお取り替えさせていただきます。
- 海外からの注文も可能ですが、送料は実費となり購入者負担となります。
- 入金の際、振込手数料は購入者負担となります。
- 商品到着まで時間がかかる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- DVD商品については、国によって発送できないため、購入できない場合があります。

申込者情報 ※お申込者様ご本人 以外への発送はで きません	チーム登録番号	フリガナ	受付日
	チーム名	氏名	
	住所	〒 () - ()	受付番号
	TEL	FAX	

※ FAX受信が不可の場合は、TELのみご記入ください。お電話にて受付番号をご案内いたします。

通信欄	※受付番号返信時、JFAnews年間購読ご希望者様へ連絡事項を記入させていただきます
-----	--

お問い合わせ先	マッシュコーポレーション(株)	TEL 03-6709-8717
---------	-----------------	------------------

ご連絡いただいた個人情報はマッシュコーポレーション(株)にて厳重に管理し、発送以外の目的では使用いたしません。 ※コピーしてご使用ください。



JFL便り

MIOびわこ滋賀

<https://www.mio-biwako.com/>



地域と共に「夢挑戦2020」

MIOびわこ滋賀 運営委員 兼 広報担当 小畑 裕哉

新型コロナウイルスの影響で、JFLの2020シーズン前半戦が全て中止となりました。全国での感染者の増加に伴い、経験したことのない混乱に見舞われ、クラブにとっても活動が制限される事態となりました。

日本中のさまざまなカテゴリー、さまざまなクラブにおいて大変な時期だったと思います。そんな中、少しでも地域へ貢献するためにサッカーチームとして何ができるか、チームの活動理念でもある「スポーツを通じた地域貢献」を考え、クラブ独自でアルコールボトル消毒スプレーを12,000本作り、滋賀県内の行政機関、医療機関、教育機関、支援施設等に寄贈させていただきました。

各クラブにおいても多様な活動をされていますが、そのような活動の中でスポーツの素晴らしさ、サッカーの素晴らしさを、滋賀県はMIOびわこ滋賀から発信していきたいと思えます。

そして、今後、日本におけるプロリーグやアマチュアリーグが無事に開催され、今シーズンが終了することを願っています。

MIOびわこ滋賀は、今シーズン新たに大槻紘士監督を招へいし、新戦力として12人の選手が加入しました。今シーズンはリーグの大会方式が15試合の総当たり戦に変更となり、今までとは少し違ったシーズンにはなりますが、新監督の下、歴代最高順位を更新するべく新シーズンを戦います。

現在、MIOびわこ滋賀は、トップチーム、アカデミーを含め総勢600人ほどの組織となりました。600人のMIOファミリーのうち、約400人がアカデミー生です。アカデミー生の目標や憧れとなれるよう、滋賀県初のJリーグ参入という目標を達成するべく、ホームタウン、スポンサー企業の皆さま、ファン・サポーターの皆さまの力をお借りして今後も頑張っていきたいと思います。

地域に愛されるクラブを目指し、このような状況から抜け出して、またいつもの日常に戻ることを願いながら、これからも活動していきます。



今シーズンより指揮を執る大槻紘士監督の下、チームの新たな歴史をつくる

JFL便り

ホンダロックSC

<http://www.hondalock-sc.info/>



いま、できることを!!

ホンダロックサッカー部 副部長 白石 勝己

今年は新型コロナウイルスの影響で、全てのスポーツイベントが中止・延期といった措置が取られています。先日、ようやく全国で非常事態宣言が解かれ、今期のJFLも規模を縮小してではあるものの開催が決まり、サポーターをはじめ、チーム関係者、選手も安堵と期待を持っているものと思います。

一方、学生は全国中学校体育大会、全国高等学校総合体育大会、総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントといった学生時代の記念に残る夏場の行事が中止となり、選手や関係者の皆さんは残念な思いでいっぱいだと思います。また、生活環境ではステイホーム、3密の回避、活動自粛により、全業種いろいろな面で多大な影響が出ていることは周知の事実です。

この状況の中で、サッカー界でも個人、チームとして動画配信や物品の寄付などさまざまな活動をされています。われわれホンダロックSCも非常事態宣言で活動自粛の期間中、自粛解除後、企業チームとしてできることを選手会で検討し、会社に提案し活動してきましたので、いくつか紹介したいと思います。

①近隣飲食店応援プロジェクトの開催：飲食店の売り上げ減少情報を受け、チームのある宮崎市佐土原町料理飲食業組合さまと連携し、工場敷地内にて、従業員向けに持ち帰り用の惣菜販売を非常事態解除まで定期的実施。

②献血の開催：新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各種イベント中止などのさまざまな影響により宮崎県内の血液が不足していることから、献血車を会社に招き、献血を実施。

③医療機関へのマスク寄贈：入手が困難な不織布マスクを宮崎市内の医療機関に1万枚寄贈。

今後も企業戦士として仕事と両立しながらJFLを戦い、従業員、サポーターに感動を与えられるプレーや戦績を残すとともに、引き続き、近隣の学校訪問におけるサッカー教室や清掃活動等、地域貢献活動も行っていきたいと思います。

最後に、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さまおよび関係者の皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、世界中で新型コロナウイルスが一日も早く終息し、今まで通りの平穏な生活が迎えられるよう心からお祈り申し上げます。Sports Assist You !!



企業チームとして、仕事とサッカーを両立させながら地域貢献活動を含め「いまできることを!!」これからも取り組んでいく

なでしこリーグ便り

日体大FIELDS横浜
<http://www.nittaidai-fc.com/>



「強く・逞しく・美しく」

日体大FIELDS横浜 代表 矢野 晴之介

2017シーズン、クラブ史上初となる、なでしこリーグ1部参入を果たしました。なでしこリーグ2部で優勝し、女子サッカー最高峰の1部リーグに昇格となり、夢の舞台に立てるようになりました。

クラブは大学を活動の母体とし、メンバーは学生を主体とするクラブで、「ALL NITTAI・オール日体大」で日本一になることを目標としてきました。

初のなでしこリーグ1部を戦うチームの指揮を執ったのは小嶺栄二監督です。小嶺監督は日本体育大学サッカー部でキャプテンを務め、卒業後、サッカー選手を経て母校の日体大でコーチをし、そして母校である国見高校でコーチや監督をされていました。

昇格後の監督の人選は非常に難航しました。そんな中、「小嶺しかいない」と白羽の矢が立ち、監督就任のお願いをしました。長崎へ行き、説得に説得を重ねて、やっとの思いで承諾をさせていただいたのです。待望の監督就任でした。

実際には、なでしこリーグ1部を学生主体のチームで戦うのは至極至難で、圧倒的な実力差を感じさせられました。しかし、クラブ史に残る激闘を繰り広げ、なんと1部残留を果たしたのです。クラブは小嶺監督に継続を懇願し、快諾を得ていました。小嶺監督は2シーズン目の明確なビジョンも持って、さらなる活躍が期待されました。

しかし昨年2月、「さあ、新しいシーズンの始まりだ」と意気込んだ矢先に病に伏し、闘病の末、11月に永遠の眠りにつきました。伝説の監督、小嶺栄二となりました。

「ありがとう、小嶺栄二監督。合掌」

昨シーズンは力尽きて1部で最下位を喫し、2部に降格となりましたが、1部に昇格できたこと、そして1シーズン残留したことはクラブの大きな財産となりました。

来年にはプロリーグ「WEリーグ」が開幕しますが、当クラブはプロリーグには参入しません。まずはなでしこリーグ1部昇格、そしてなでしこリーグ優勝を目指します。新型コロナウイルス感染症の終息を願うばかりですが、「新しい生活様式」に則り、当クラブも「新しいクラブの形」を模索していきます。

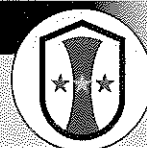
今シーズンは萩原直人新監督を迎え、新たなスタートを切りました。これからも「強く・逞しく・美しく」をクラブの普遍的な価値とし、不変的な活動をしてまいります。温かいご声援をよろしくお願いいたします。



なでしこリーグ1部に初挑戦するチームを指揮した小嶺栄二監督。クラブの成長を大きく後押しした

なでしこリーグ便り

INAC神戸レオネッサ
<https://inac-kobe.com/>



「NEW CHALLENGE」に取り組んだ 活動自粛期間を経て開幕へ

INAC神戸レオネッサ 事業部 竹村 美咲

INAC神戸は2001年に誕生し、これまで10個の国内タイトルを手にしてきました。阪神淡路大震災から25年、クラブ創設から20年目となる節目のシーズンは、新型コロナウイルスの猛威で異例の事態となりました。3月22日に予定されていたプレナスなでしこリーグの開幕が延期となり、先の見えない不安と戦いながら、INAC神戸として何ができるのか、スタッフはもちろんのこと、選手と一丸となって今年のスローガン通り、新たな挑戦に取り組みました。

選手からの提案で自粛期間中に実施したものは2つあります。最初に取り組んだのがインスタライブを使用してのファンサービスでした。リーグ戦が延期となり、サッカーのない週末にファン・サポーターの皆さまと交流ができないかを選手自身が考え、提案してくれました。このインスタライブを契機に、自粛期間中には2週間に1回のペースでオンライントークイベントを計4回実施しました。そして、コロナウイルスと奮闘している皆さま、いつも応援して下さる皆さまに向けたメッセージ動画を作成し、選手たちの気持ちを言葉にして、それを紡ぎ、選手・スタッフ全員の動画を発信しました。

クラブとして自粛期間中に実施したものは2つあります。まずはマスクの販売です。異例の緊急事態で多くの方のお役に立てることは何かを考え、INACのエンブレムが入ったオリジナルマスクと、エンブレムが入っていないシンプルなマスクの販売を始めました。さらにスポンサー企業や交通局、学校などへ殺菌成分を含んだ美容液「ヒアロクリーンローション」を寄贈しました。少しでも皆さまのお役に立ちたいという気持ちから、スポンサー企業であるクオレ株式会社と共同企画し、商品の製作、寄贈が実現しました。

少しずつ変わっていく世界情勢やライフスタイル。このような変化していく状況の中でも変わらないものもあります。いつも変わらずあるものとして、皆さまの心や生活の中にINAC神戸があってほしいと思います。誰かの役に立ちたい、誰かの支えになりたい、そして夢や希望を与え多くの方々生活を豊かにする。そんな願いを込めて、これからもINAC神戸は挑戦し続けます。



5月にはスポンサー企業のクオレ株式会社と共同企画した殺菌成分を含んだ美容液を神戸市内の文化・スポーツ施設に寄贈



日本フットサル連盟便り

関東フットサル連盟
<https://kanto-futsal.com/>



地域での活動「新型コロナウイルス対応」

関東フットサル連盟 理事長 松村 栄寿

関東フットサル連盟は、関東フットサルリーグを主軸に関東地域の各種大会を開催しています。2019年度は、日本フットサル連盟主催「FUTSAL地域女子チャンピオンズリーグ」を今年2月、茨城県神栖市の「かみす防災アリーナ」で開催しました。茨城県フットサル連盟としては初めて主管したフットサルの全国大会でした。

本大会の開催にあたり、新型コロナウイルスの影響も懸念される中、茨城県フットサル連盟の方々と、平日にもかかわらず現場体験として全試合のボールパーソンを務めてくれた開催地の高校生の皆さんの協力で、3日間の大会を無事に開催することができたことをうれしく思っています。この大会は関東での開催で、2020年度は山梨県での開催を予定しています。引き続き、全国から参加するチームの皆さんが最大のパフォーマンスを発揮できるような大会運営を目指してまいります。

2019年度最後の事業として、3月1日には「関東フットサルリーグ入替戦」を実施しました。今大会は新型コロナウイルス感染症のまん延で大会を開催すべきかどうか多くの方々と検討しました。そして選手やチーム関係者、大会運営者の安全を最大限に考慮した上で、初めて無観客で開催しました。大会実施の対応策として、「検温、健康チェック、マスク着用、選手の滞在時間制限」と一定のガイドラインを設定。体育館への入館時チェックのため、体温計を10個準備し、来場する全てのチーム関係者や役員への検温を行うなど、今までにない緊張感の中、入替戦特有の白熱した試合が行われ、大会も無事に開催することができました。

関東フットサル連盟としては、2020年度の関東フットサルリーグを7月下旬から開幕する予定です。この入替戦で学んだ教訓をベースに、関東リーグ開催に向けた「新型コロナウイルス感染拡大防止についての対応(ガイドライン)」を制定して、選手が安全に、かつ安心してフットサルができる環境を整備していく方針です。

当面の間は無観客での開催となりますが、早く多くのフットサルファンを招いて関東フットサルリーグが開催できる日が来ることを切に祈ります。



今年2月に開催された「FUTSAL地域女子チャンピオンズリーグ」。茨城県フットサル連盟にとって初めて主管した全国大会となった

チャレンジリーグ便り

つくばFCレディース
<https://www.tsukuba-fc.com/>



根を張り、花を咲かせる

つくばFCレディース 運営責任者 飯塚 真悟

つくばFCレディースは6月上旬からチーム活動を再開し、リーグ戦開幕へ向けて徐々にコンディションを高めているところです。ピッチにいる選手、コーチングスタッフの熱量を強く感じながら、われわれ運営部隊も選手たちを最大限サポートできるよう、日々の業務に取り組んでいます。

私個人としては、トップチーム運営のほかに、U-12年代女子のサッカースクールで指導を行っています。小学1~6年生まで約60人の会員が在籍しており、クラブ全体として女子サッカーの普及にも力を入れて取り組んでいます。また、同じつくば市内で筑波大学女子サッカー一部も積極的に普及活動を展開してくれているおかげもあり、つくばという地域において、少しずつ女子サッカーが根付いてきていると感じます。

しかし一方で、学校の教員たちと話をしたときに、ふと気がなりました。それは、将来の夢について話をしたときのことです。私は男子のサッカースクールでも指導を担当しているのですが、「将来の夢は何?」と尋ねると、男の子たちの多くは、「プロサッカー選手」や「日本代表に入ること」と答えてくれました。一方で女の子たちは、サッカーに夢中であっても、「プロサッカー選手」や「なでしこジャパンに入ること」と答えてくれる選手は数えるほどでした。

2011年、なでしこジャパンは見事な実力でワールドカップ優勝を果たしました。世界一に輝いた国にいながら、サッカーでの飛躍を夢見る女の子が少ないという事実には、まだまだ努力が足りないことを痛感させられました。

私自身は今年からトップチーム運営業務に関わるようになりました。なでしこリーグやチャレンジリーグに携わる多くの方々が、リーグの発展や広報において多大な努力をしてくださっていることを、恥ずかしながら初めて知りました。

新たな試みとして、初の女子プロリーグである「WEリーグ」が2021年にスタートすることも決まっています。

女子サッカー界全体が大きく動き出している中で、他人事ではなく、つくばFCというクラブが、私自身がその一端を担っていることを心に留め、引き続き精進していきたいと思えます。



2019年のチャレンジリーグプレーオフ前座イベントとして行われた女子サッカー体験会では、つくば市近隣の女の子たちと一緒にサッカーを楽しんだ

日本障がい者サッカー連盟便り

日本CPサッカー協会
<http://jcpfa.jp/>



CPサッカーの普及に向けて

日本CPサッカー協会 理事 神一世子

CPサッカーは、1970年代後半よりヨーロッパを中心に広まり、1984年から2016年までパラリンピックの種目になっていた障がい者サッカー競技一つです。日本では2000年に日本CPサッカー協会が設立されて以降、少しずつ全国へ広まっていますが、現在の国内登録選手数は関東と関西を中心に約100人、登録チーム数は8チームとなっており、20年経った今も大きな増加はありません。競技の認知度の向上はもちろんのこと、選手やチームをどう増やしていくのかが大きな課題となっています。

この課題解決策の一つとして、女子CPサッカーの普及が挙げられます。3年前から国際的なムーブメントとなり、一昨年はスペインで、昨年はオランダとオーストラリアで、女子CP選手を対象とした国際キャンプが開催されました。日本からも数名の選手が参加し、大きな刺激を受けています。日本国内においても、普及イベントやクリニックの開催、SNSでの発信などを通じて、女子CPサッカーの普及に取り組んでいます。

もう一つの取り組みとして、日本ソサイチ連盟と連携した普及活動を今年の初めからスタートしました。CPサッカーは、日本では「脳性まひ者7人制サッカー」という名の通り、GKを含め7人制で行われます。そして、日本ソサイチ連盟が普及活動を行っているブラジル発祥の「ソサイチ」も7人制で行われます。公式戦ではコートの大ささやリスタートの方法などルールに若干の違いはありますが、7人制、オフサイドなしで行われるサッカーには多くの共通点があります。

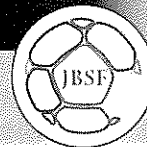
その取り組みはCPサッカーとソサイチがタッグを組み、日本ソサイチ連盟が主催する各地域のリーグ戦で、CPサッカーチーム同士の試合やソサイチ選手たちとの交流戦、開催地域の方々を対象とした体験イベントの開催など、毎月、毎週、日本のどこかでCPサッカーの試合やイベントを開催する、というものです。残念ながら、新型コロナウイルスの影響で現在は中断していますが、9月から再開する予定です。ソサイチリーグは、北海道、東北、北信越、関東、東海、関西、九州地域で開催されています。週末、お近くの地域で開催される際には、ぜひ一度、会場へ足をお運びください。



ソサイチ関東リーグで横浜BAYFCとESPERANZAの交流戦を開催。CPサッカーの普及に力を入れる

日本ビーチサッカー連盟便り

日本ビーチサッカー連盟
<http://jbsf.or.jp/>



四国ビーチサッカー連盟のこれまでとこれから

四国ビーチサッカー連盟 事務局長 大島 健二

四国ビーチサッカー連盟(SBSF)は、2017年5月に設立されました。これに先立ち、四国地域では2015年に「四国ビーチサッカーリーグ・プレ大会」を開催しています。翌16年にも同大会を開催し、優勝チームは「第2回Beach Soccer地域リーグチャンピオンシップ」に出場することができました。SBSF設立前のこの2年間の取り組みは、四国サッカー協会フットサル委員会を中心に進められ、大会運営は主に「JFA全日本ビーチサッカー大会 四国大会」に携わってきたメンバーが担ってきました。こうした実績を踏まえ、四国サッカー協会の指導の下、SBSFを設立することができました。

四国にビーチサッカー競技を専門とするチームは現在に至るまでありません。プレ大会も含め四国ビーチサッカーリーグ(SBSL)に加盟してきたチームは、サッカーやフットサルで活動するチームでした。このため、SBSLは、四国サッカー協会および四国各県サッカー協会主催の大会開催日を避け、1日での集中開催という方式で続けてきました。

当然のことながら競技会の運営は、その競技をする人たちがいることを前提に進められます。そして、プレーをしたい人たちが集まるだけでは競技会を開催することはできません。

四国において、わずかでもビーチサッカーをしたいという声が上がれば、私たちは活動の機会を準備したいと常に思っています。同時に、少しでも多くの人にビーチサッカーの楽しさや魅力を伝えるための普及活動も続けていかなければならないと考えています。

その一環として、SBSFは昨年、「第1回U-12ビーチサッカー大会」を開催しました。多くの少年少女たちがビーチサッカーを体験し、チーム関係者、応援する保護者の皆さんも競技の魅力を知り、大変有意義な大会になったと思っています。そして今年は新たに女性を対象としたビーチサッカー・フェスティバルを企画しました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大に伴う国の緊急事態宣言を受け、準備を中断することになりました。

この原稿を書いている6月の時点で緊急事態宣言は解除されていますが、県外移動の自粛要請が出ている自治体もあります。SBSLほか各種大会やイベントを開催するにはまだ時間が必要だと感じています。先行きは不透明ですが、関係者の方々に最大限の協力と理解を求めながら感染拡大防止策を徹底し、活動再開に向けて準備を進めていきたいと思っています。



昨年は「第1回U-12ビーチサッカー大会」を開催。ビーチサッカーの普及に継続して力を注いでいく



夢先生

※本連載は隔月の連載になります

困難を乗り越えて、 学んだこと、成長したこと

夢先生として教壇に立つパラ水泳の久保大樹選手、夢先生およびアシスタントとして400回を超える「夢の教室」を行ってきた元なでしこジャパン（日本女子代表）の小林弥生さん。病気やけがなどつらい経験をしながらもそれを克服してきた二人に、JFAこころのプロジェクト推進部のスタッフで「夢の教室」のディレクターを務める旅河貴之が話を聞いた。

○オンライン対談日：2020年6月22日

■JFAこころのプロジェクト

2006年2月、「子どもたちの心身の成長に寄与すること」を目的に日本サッカー協会（JFA）が立ち上げたプロジェクト。現役のサッカー日本代表選手やJリーグ、なでしこリーグ、日本フットボールリーグ（JFL）、Fリーグの選手、そのOB/OGのほか、他競技の現役アスリートとそのOB/OG、さらに、スポーツ界以外の人々が「夢先生」となって小学校や中学校へ赴き、「夢の教室」と呼ばれる授業を行う。授業は、「ゲームの時間」と「トークの時間」からなり、「ゲームの時間」ではさまざまなゲームを通して体を動かすことの楽しさや仲間と協力することの大切さを、「トークの時間」では夢先生が教壇に立ち、夢を持つことの素晴らしさやそれに向かって努力することの大切さなどを子どもたちに伝える。2007年4月に本格的にスタート。

7月から「夢の教室」を再開

旅河 久保さんは東京2020パラリンピックでのメダル獲得を目指にされています。現在のトレーニング状況を教えてください。

久保 新型コロナウイルス感染拡大防止により4月中旬から約1カ月間はプールでの練習ができなくなりましたが、5月の半ばからは徐々にではありますが、再びプールが使えるようになりました。水中での練習ができない期間は、自転車やパランスポールを使って、これまであまり取り組んでこなかった有酸素運動をしたり、体幹の強化に努めました。泳ぎの練習もできるような自宅用の簡易プールも買

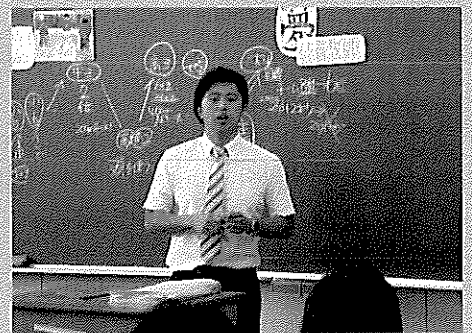
いしましたが、まだ4月だったのでちやくちや寒かったですね（笑）。

旅河 3月に東京パラリンピックの最終選考会があるとおっしゃっていましたが。

久保 3月上旬に予定されていたが、開催直前に中止となってしまいました。そして、5月の大会がその代替になる予定だったので、それも延期に……。大会に向けて練習量を増やし、気持ちも盛り上げていたので、本当に残念でした。

旅河 「夢の教室」も2月末に延期や中止に追い込まれました。7月に再開を予定していますが、授業内容も含めていろいろな対策を講じる必要があります。

小林 特に「ゲームの時間」は密状態になってしまっているので、アシスタントを含め、スタッフで試行錯誤して現状に合ったゲームを考案しました。これまでの内容よりもレクリエーションの要素を増やして盛り上がるように工夫しています。実際にどうなるか、アシスタントのみならず不安を感じてはいますが、やっぱりこういう時期だからこそ子どもたちに楽しんでもらえる授業にしたいと思っています。



授業への熱さでは誰にも負けたくない話す久保選手

子どもたちに伝えたいと思いましたが、授業には情熱を持って臨んでいます。とにかく熱さでは誰にも負けないようにやっています。

小林 さすが教師をされていただけあって、子どもたちとの距離感や彼らの目をこちらに向けさせる話し方、特にご自身の壮絶な体験を語るときの聞かせ方が本当に素晴らしいですね。途中から板書の方法を工夫されるようになり、柔軟にいろんなものを取り入れる方なんだと驚きました。

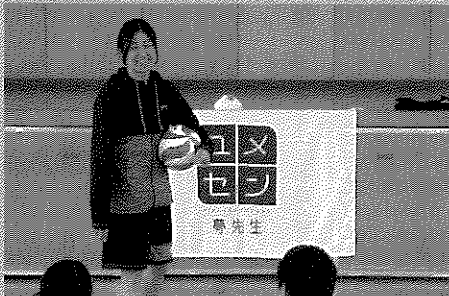
久保 僕が初めて見た夢先生の授業が、（小林弥生さんの授業だったんです。それまでは他の人の授業を見る機会がなく、自分の授業は大丈夫だろうかと、もともと他に良いやり方はないか、とと思っていました。弥生さんの板書がとて見やすく、その上で子どもたちとうまくやり取りしている。これは参考になるなと思いました。

小林 そう言っていただけでうれしいです。

久保 同じパラ水泳の選手から紹介してもらいました。僕は元々、体育の教師をしていたので、すぐにやりたい、と。教師という仕事が大好きですし、自分自身の経験は、

つらい経験を乗り越えて

旅河 久保さんのトークでは、ある日突然、難病であるギラン・バレー症候群を発症するという衝撃のエピソードがあります。



小林さんは7月からの授業再開に向け、子どもたちにさらに楽しんでもらえる内容にしたいと話す

久保 この病気については、それまで全く知りませんでした。カタカナの病名は、イコール死というイメージもあったので、自分は死んでしまうのではないかと、治ったとしても教師に戻れないのではないかと、とても怖かったですね。

旅河 お話を伺って、病気を受け入れ、前を向くエネルギーはどこから湧いてくるのだろうかと考えていました。

久保 「なんでそんなに頑張れるの？」とよく聞かれますが、そんなに頑張っているつもりはないんです。歩きたいから、動けるようになりたいから、だけなんです。皆さんが「すごい、すごい」と言ってくれるのはうれしいですが、その反面、違和感もありました。僕はできることを続けてきただけです。

ら、当初はどん底まで落ち込んで、人生に希望を見いだせなくなっていました。それを覚えてくれたのが、パラ水泳です。自分よりも重い障害のある人たちが競技をしている。衝撃を受けましたし、強烈なメッセージをもらいました。

旅河 弥生さんは、両膝の前十字靭帯損傷や左足の半月板損傷と大げかを繰り返されています。

小林 頑張ろうと思ってもどう頑張ってもいいか分からないし、何をどう膝を曲げられるようにしようとか、歩けるようにしようとか、目の前のことを一つ、クリアして、その積み重ねで動けるようになりました。すぐにゴールを求めてしまおうとイライラしたり、悲しくなったりしちやいますよね。だから先ばかり見ず、できることをしっかりとやっていく、今の世の中の状況もそうだと思うんです。できないことにイライラするのはなく、できることをする。そういうことをこれから伝えていきたいですね。

旅河 共につらい体験をされていますが、その体験から学んだことや得られたことはありますか。

久保 「頑張りが過ぎないこと」です。無理に頑張ろうとすると、か

えって疲れてしまつて何もやりたくなくなつてしまつて。頑張ることと頑張りが過ぎることは違つて、僕は病気が学びました。今の社会ともしごく似ていますね。ゆつくりでいいので、目の前の階段を二歩ずつ上がるのが大切だと思います。

小林 私は、「小さな幸せ」です。当たり前なことが当たり前でなくなつたときに、今までできていたことが幸せに感じる。横断歩道で信号が点滅しそうなときにちよつと走れたり、時刻表通りに電車に乗れたり。そういうことが幸せなんだと気づいて、できないことに苦しみよりも、できることを楽しむようになりました。

情熱を持って続けていく

旅河 今はどのスポーツでも大会が延期や中止になってしまつていて、つらい思いをしている子どもたちも多いと思います。

小林 私は、この状況を無理に乗り越えようとしなくていいと思います。つらいけど、受け入れて落ち込むことも悪くない。そこから次の夢や目標を見つけてほしい。

例えば、甲子園に出られなくなったけれど今後も野球を続けたいのであれば、プロや大学を目指す。気持ちを整理できる人は新しいことに

チャレンジする。そうやって次に向かって行つてほしいと思います。

久保 特に高校3年生はつらいですね。いろんな選択を迫られる時期ですから。正直、かける言葉がありません。でも、弥生さんがおっしゃったように、受け入れて次に進みたいと思います。僕は今、大阪の高校生のための大会を開催しようとして計画しています。多くの人に応援してもらつて今の自分があるの、今度はこちらが応援したいなど。

旅河 「夢の教室」でも子どもたちからパワーをもらっているとお話をよくされていますね。

久保 そうなんです。いつもめちゃくちゃ力ももらつて帰ります。夢の話をしたからには自分も頑張らなくてはいけないという気になります。

小林 私は夢シートの返事を書くときにそれを強く感じます。久保さんはどういふふうに書いていますか。

久保 じっくり考えて書いています。授業中に目立っていた子やメッセージをたくさん書いてくる子には返事を書きやすいですが、メッセージが少ない子にはよりじっくり

り考えて返事を書くようにしています。もしかしらそういう子のほうが僕の言葉が必要としているかもしれないから。

小林 よく分かります。明確な夢がある子は背中を押してあげればいい。でも、夢がまだ見つからないなかつたり、悩んでいるような子どもに何を伝えられるか。授業中に発言できなかった子も実はいろいろと話したいことがあつたかもしれぬ。そこで、対面で向き合える夢シートは、やっぱり大事だと思います。いつか悩んだときに聞いてくれたらいいな、不安になつたときに読んでくれたらいいなと思つて心を入れて書いています。

旅河 では最後に、7月から「夢の教室」が再開されますが、あらためて授業に臨む心境を聞かせてください。

久保 変な言い方ですが、失敗してもいいくらい思い切りの良さで、情熱を持ってやっていきたいと思っています。

小林 つらいことや苦しいことをどう乗り越えたのか、それを経験して何を得たのか、それが「夢の教室」のポイントなので、しっかりと伝えられるよう、これまでと同様、熱い気持ちで取り組んでいきます。

4カ月もの中断を経て、Jリーグが再開されました。

といっても、最初2節の「リモートマッチ(無観客試合)」に続いては厳しい人数制限のある有観客試合。8月には緩和される予定になっていますが、今後の新型コロナウイルスの感染状況次第であり、入場者数の限度が緩和されても制限つきであることに変わりはありません。サポーターがスタジアムで思い切り旗を振り、仲間と声を合わせて応援し、だれかれかまわず抱き合って得点や勝利を喜び合う日は、まだまだ先のことです。

日本の「サポーター元年」は、1992年、Jリーグの最初の公式戦となった「Jリーグヤマザキナビスコカップ(現在のYBCルヴァンカップ)」がスタートを切ったときでした。Jリーグが成功した背景にはさまざまな要素があると思います。どのスタジアムにもサポーターがいて、カラフルでにぎやかで、楽しさそのものの応援を練り広げたことは、その中でも上位にランクされる重要な出来事でした。

当時、サッカー場の内外で暴力行為を繰り返す「フーリガン」という大きな問題が世界各地にありました。その時代に誕生した日本のサポーターたちは、こ

いつも心に

連載 Vol.87

大住良之
(サッカージャーナリスト)

リスペクト

RESPECT
大切に思うこと

サポーター「同志」

うした現象を「反面教師」とし、自らを律して暴力的になることを防ぎ、現在につながる素晴らしい伝統を築き上げました。試合後、どんな結果であっても両チームのサポーターが同じ電車に乗って穏やかに帰っていく姿には、いまでも世界の人々が驚嘆します。

「○○(ピジタークラブ名)のサポーターの皆さま、本日はようこそお越しくださいました」
いくつかのスタジアムでは、試合前にこんなアナウンスが流れます。すると、スタンドを埋めたホームのサポーターたちから大きな拍手が起ります。

サポーターたちが自分たちで考え、スタンドいっぱいに向けている応援歌も、すべて自クラブを応援するものばかりで、相手クラブをなじったり、攻撃するようなことを言ったりすることもありません。せいぜい「ブーイング」をする程度です。

FC東京がJ1に昇格した2000年に、柏の葉競技場に柏レイソルとのアウェイゲームを取材しに行きました。試合前、FC東京のサポーターからこんな歌が起りました。

「カンワ、カンワ、トキーヨから電車で1時間ー」
自らを「都会」と誇り、相手を「田舎」と揶揄する歌でした

が、いちばん喜んだのは、柏レイソルのファンたちでした。スタンドからは、笑い声とともに拍手まで送られたのです。柏のサポーターたちとしては、中心メンバーが白いブリーフ姿になり、ひしゃくで水をかけ合うくらいしか対抗できなかったのは口惜しかったかもしれせん。しかし2-2で延長戦に入った後、延長後半にDF 洪明甫が見事な決勝ゴールを決めて柏に勝利をもたらしたことで留飲を下げたでしょう。

日本のサポーターたちは、東日本大震災をはじめ大きな災害が起こるたびに率先して物資を集めて他のクラブのホームタウンの被災地に送るなど、互いに素晴らしい連帯感を見せます。スタジアムでは自クラブの勝利だけを目指しますが、根本では、それぞれの地域のクラブを応援するサポーターの「同志」であるという意識を持っていきます。何年かに一度はサポーター同士が激しく衝突する事件も起きますが、基本的には、互いへのリスペクトを忘れてはいないのです。

Jリーグは再スタートしましたが、少しずつ観客を入れ

られるようになって、サポーターにとってはまだまだ「がまんのとき」が続きます。試合が始まっていることで、さらに苦しさが増しているかもしれない。こうしたときにこそ、「同志」の存在がものを言います。クラブ



応援する形がどう変わるのか、相手を思う気持ちをどう表現するのか。そこにはサッカー、スポーツの新しい価値や可能性が広がっているのかもしれない

ブもサポーターの気持ちや声援が選手に届くよう、いろいろな企画をしているでしょう。しかしいまは対戦するサポーター同士が試合を見ながらつながって応援合戦をするなども可能です。「同志」の連帯を、いまこそ見たいものです。



日本サッカーの発展のため、
さらなる普及や次世代選手育成の促進を。

JFA Youth & Development Programme



OFFICIAL PARTNER



GREENPROJECT PARTNER



JYD SUPPORTER



JYD



三田 智輝 (北マリアナ諸島代表監督兼技術委員長)

この機会に 自分で考えることが身に付いた



代表チームの指揮にあたる三田氏

ロヤカロリニアンに加え、中国系やフィリピン系、韓国系、日系の方々が住んでいて、多様性があり、いろいろな文化があります。その中でも人々は互いを尊重し合い、国民性はすごく寛容でフレンドリーです。

日本に対するリスベクトも強く、日本代表選手のことにも応援してくれます。私も仕事面でたくさん助けられており、選手や指導者のリスベクトを感じています。

サッカーとの向き合い方が 変化してきた

サッカーに対する考え方や意識は日本とは大きく異なります。赴任当初は、練習に平気で遅刻してくる選手がいました。また、家族や友人との時間を大切にしている文化があるため、「今日は友人の誕生日パーティーがあるので練習に参加できません」と言われることもありました。

最初はイライラすることもありましたが、サッカーとの向き合い方や準備の大切さを説き続けたことで、早めにグラウンドに来てウオーミングアップする選手が増えるなど徐々に変化が見られるようになってきました。

北マリアナ諸島には、先住民のチャモ

3月にغامムで新型コロナウイルスの感

染者が確認された影響で3月15日からサッカーの活動が停止になりましたが、自粛中にも、選手たちは主体性を持って個別トレーニングに取り組んでくれました。

活動停止から3カ月ほどが経過した後、男女の代表チーム、年代別代表チームのトレーニングが再開しました。みんなと再開できたときはうれしかったですね。選手たちからも仲間と一緒にボールを蹴れる喜びがすごく伝わってきました。ただし、感染予防対策を実施した上でのトレーニングで、対人プレーやゲームはまだできない状況です。

活動の再開に向け、サッカー協会の職員が他国の資料を集めるなど奔走し、保健局の施策に沿ってガイドラインを作成しました。私も日本から情報を集めたり、公開されている動画を参考にしながら提案などをしました。そのガイドラインを持って政府に掛け合ったところ、トレーニング再開の許可を得ることができました。「どのように再開させるか」をみんなで考え、チームワークを発揮したことで、再開の許可を得られたのはすごく良かったですし、尽力してくれた協会の職員の方々に感謝しています。

コロナ禍を機に、選手たちが自分で考えてトレーニングするということが身に付いたと思います。これまではこちらが言うことや、用意したトレーニングをこなすことが多かったのですが、この状況下では自分で考えてやるしかありません。そういう意味では、選手にとっても、また私自身にとっても貴重な時間となりました。今後も選手の主

体性を大事にしていけたらと思っています。

北マリアナ諸島ならではの経験

さまざまな価値観や考え方や、言語の違いなどがある中で、サッカーを通して一緒に仕事をし、目標を成し遂げられたときは本当にうれしいです。代表チームは国際大会に出場してもなかなかゴールを決められませんが、昨年、AFC U-16選手権の予選に出場した際、インドネシアを相手に15失点しながら1点を返したときは、選手たちが試合に勝ったかのように大喜びしていました。まだまだサッカーが発展途上だからこそ、味わえた経験だったと思います。

小さな国で、サッカーもまだ新しいスポーツですが、協会の会長もスポーツツーリズムを提唱しており、スポーツでコミュニケーションを発展させていきたいという考えがあります。より多くの人たちがサッカーに関わり、観戦することを含めて、普及活動の手助けができればと思います。私もいろいろな経験を積みながら、北マリアナ諸島のサッカーの発展に貢献していきたいと思っています。



活動再開後の練習風景

唐木田 徹

〔カンボジアサッカー連盟審判ダイレクター〕



カンボジアの審判員のレベルアップに尽力する(中央が唐木田氏)

リスペクトの姿勢を発揮することです。今につながっている

た。審判員たちから送られてくる動画を見ても各自がしっかりと取り組んでくれているのが分かります。中には太りやすい体質の審判員もいるのですが、顔つきもシャープなままで、動きにもキレがありました。

その他に判定場面のビデオクリップで4択クイズのようなものを作り、チャットアプリで解説することもしました。審判員が、(自分が気になる)試合映像を見つけてきて、それについてみんなで議論することもありました。大変な時期ではありましたが、さまざまな工夫により、みんなで楽しみながら判定力をアップさせることに取り組めたと思っています。

審判員のレベルアップからスタート

今ほどの審判員も高いモチベーションで取り組んでいますが、赴任当初は、審判員を指導できる人間はおらず、キャリアのある審判員が若い審判員のミスを指摘するだけでした。若手は「経験が少ないうから」という理由で第4の審判員しか割り当てられず、年長者が引退するのを待つような状態でした。

試合ではCKをどちらのサイドから蹴るか選手に選ばせたり、ペナルティーエリア内

で守備側のファウルを取って、PKだと分かっているのに、抗議を受けないために間接FKにしてしまう、ということも日常茶飯事でした。採めたくないから選手に付度してしまふんです。まず審判員のレベルアップから始めなければなりませんでした。赴任してすぐ、試合後に何人かの審判員

にアドバイスをしたときはふてくされたような態度を取られました。1カ月後の審判セミナーで「Jリーグで審判を務めた50歳の審判インストラクター」と紹介されたから私に対する態度が変わり始めました。カンボジアは年長者を敬う文化があるのですが、どうやら私を35歳ぐらいに見ていたらしくて(笑)。日本はアジアの強豪国だという認識に加え、Jリーグで笛を吹いていた年長の審判インストラクターということで、すぐに敬意を払ってくれるようになりました。

カンボジア人は年長者を敬う一方、かつて東南アジア一帯を支配していたクメール王朝の末裔というプライドがあります。しっかりと自己主張してくれるので、私としてはありがたい。こちらが理論的に説明すれば、それを理解し、納得してくれます。

成長した審判員が良い手本に

こんなこともありました。ある試合の前、グラウンドにゴミが散乱していたので私がゴミ拾いをしていたら、審判員たちも手伝ってくれました。そのときは、年長者の私がかかるから仕方なくやっている感じでしたが、翌朝散歩に出かけたら、彼らが自主的に

ゴミ拾いをしていたんですよ。私が何も言わなくても、自ら考えて「自分もやってみよう」と行動する。そういう審判員はトレーニングでも好成績を挙げますし、判定の理論などの理解度も高い。当時20歳くらいだった彼らが、今ではトップレベルの審判員になっています。

インストラクターの私が入ったことで、「何が正しくて、何を間違えていたのか」間違いを正すために何を理解し、何をすれば正しくなるか」というプロセスやロジックを理解してもらえようになりました。また、「時間を守る」「シャツをズボンに入れる」「会場で短パンやサンダルで来ない」といった、当たり前前の心得を説き続けたことで、審判全体に変化が見られたのは大きな成果だと思っています。

最初は私がすべて指導をしていましたが、今では成長した審判員が若い審判員たちに教えてくれています。彼らがサッカーや審判活動をリスペクトする姿勢を良い形で発揮することで、現在の良い流れにつながっているのではないかと思います。この流れを次のステップにつなげ、さらなる発展を目指していければと思います。



審判員に向けたセミナーを行う唐木田氏

JFAチャレンジゲーム スペシャルステージ

期間限定の特別検定を実施!

728人が合格



日本サッカー協会(JFA)は新型コロナウイルス感染拡大の影響によって外出が自粛となる中、この期間を個人のテクニックを伸ばすチャンスと捉えてもらえるよう、3月から「JFAチャレンジゲーム」の動画を期間限定で無料配信してきた。

そして、5月1日からは個々に磨いたテクニックを試せる場として特別検定「JFAチャレンジゲーム スペシャルステージ」を実施。本来であれば、JFAチャレンジゲームはステージ1～20まで段階的に設定されているが、その中から自宅ですることができるテクニックを組み合わせ課題を作り、難易度に応じて「ブロンズ」「シルバー」「ゴールド」の3つのステージを設けた。期間中は年齢や性別、プロ、アマチュアなどは問わず、多くのチャレンジを受け付け、小学生から大人まで全国各地から大勢が参加。各ステージの合格者は延べ728人になった。

※チャレンジゲーム：子どもに必要な動きづくりを徐々にステップアップしながら取り組んでいく個人向けプログラム。8歳までを対象とした「めざせクラッキ!」(ステージ1～6)、9歳以上を対象とした「めざせファンタジスタ!」(ステージ7～20)の2部構成になっている。

https://www.jfa.jp/grass_roots/sportsassistyou/challengegame.html

【実施概要】

●実施期間：2020年5月1日(金)～31日(日)

●参加方法：

STEP 1: 上記に掲載されている「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」動画を実践して撮影

STEP 2: ハッシュタグ「#チャレンジゲーム」をつけて、実践した動画をTwitter上に投稿

STEP 3: 応募フォームに必要事項を入力して申請
課題をクリアした合格者の名前・チーム名等はJFA公式ウェブサイト内「JFAチャレンジゲーム スペシャルステージ」ページに掲載

●その他：ステージごとに抽選で各100名以下の賞品をプレゼント。また、参加賞として全員に日本代表グッズを贈呈。

ゴールド：日本代表レプリカユニフォーム(希望の背番号・名前入り)

シルバー：ボール「TSUBASA」(サッカー4・5号球/フットサル3・4号球)

ブロンズ：シューズケース等

<JFAチャレンジゲーム スペシャルステージ 合格者> ※メニューの番号はJFAチャレンジゲームの種目番号 ※名前はウェブサイト掲載日順

👑 ゴールド(150人) [難易度★★★★★～★★★★★]

リフトアップ

以下の3つからいずれか ※左右どちらでも可

- 14 両足でボールをはさんでジャンプして、さらにヒールで上げる
- 15 クロスした後ろ足のインステップでボールをしゃくり、前の足で上げる
- 16 チップキック→逆足ヒール

ジャグリング

- 36 インステップ2回→インサイド2回→アウトサイド2回→もも2回→頭1回→肩1回→頭1回→胸1回→インステップ2回を3周(一度キャッチして次のジャグリング手を続ける)

ジャグリング手

- 23 ボール2個 左回り・右回りを好きな方から5回ずつ(キャッチして、カメラ目線でポーズ)

富田奏成、半貫桜祐、大影倅一郎、丸山岳、けいすけ、秋岡悠生、リーチ・はやと・マイケル、れお、梶原琥汰、川崎太洋、Eita、當野泰生、小野哲司、小山田優大、新潟龍征、星野圭祐、富田加賀、有間琉星、藤井健人、ひろと、Naozumi、岩田理子、千本直輝、藤井優誠、中原壮大、中島莉空、越中谷勇志、大宮一輝、佐々木啓士、ヒデ、河村慶、塚本冴虎、RINO、横田倅誠、山本蓮音、佐野隼太郎、安達一平、佐々木權人、野尻慎之助、渡辺碧海、ユウセイ、リョク、西田翔、谷後磨、くにも、堀太郎、賢剛、けいご、谷本耀、藤島朔太郎、須賀康介、塚本泰平、鈴木悠樹、菅沼海志、明神蓮、池部愛和、岩花瑛士、小田健晴、れんくん、相楽羽琉、杉浦位、小俣路羽磨、土谷奏介、中

辻侑希、猪岡亮太、ひで、宮内勘助、富田清生、初阪興佐、初阪盛佐、後藤瀬里葉、藤井俊輔、味ぼん、青木胡桃、安岡海翔、加藤歩真、福島大二瀧、花宮うの、小池誉人、野尻憲博、そうすけ、福本和生、がんちゃん、しゅうた、中村唯唯、龍斗、小池彩華、宮原瑛翔、高橋茉愛、ソナ、軸丸生己、大宮那月、高丸コーチ、鶴岡杏彩、松田翔空、中前湧大、坂元蓮、長尾柊之介、ヒコ、RYO、浅野太一、竹中小鳥、日向、唐心磊、西川遙、植月瑛大、大西凜、初村宥星、川原瑛翔、中村瑛太、HAYATO、杉本奏、飯坂悠斗、川瀬翔和、渡邊陸、高野春希、優寿、ティナ、北岡巧海、竹中空宙、中野寛太、しよご、橋本有統、永野春太郎、白岩裕昆、佐野虎汰、しゅうと、北岡永遠、はると、岡田尚樹、佐藤伶風、小笠原怜、佐藤煌平、しゅんぼん5、浦山ハヤト、Ai、西脇達彦、木村駿太、シモ、佐々野廉、アキラ、そら、栗林航希、高岡勇太、鈴木寛太郎、柿澤輝羅、ゆうじ、T.SATO、こーじろー、あつくん

👑 シルバー(176人) [難易度★★★★~★★★★★]

リフトアップ

07 両足でボールをはさんで片足を上げ、体をひねる ※左右どちらでも可

ジャグリング

25 アウトサイド両足交互10回

27 つまさき左右交互10回

24 片足インステップ足付けなし10回 左右 ※好きな足から始める
(一度キャッチして次の股下動作を続ける)

股下動作

26 バウンドボール 手前後替えて6回

28 空中 手前後替えて6回(キャッチして、カメラ目線でポーズ)

丸山岳、Eita、半貫桜祐、ソナ、賢剛、新岡龍征、岡田悠生、リーチ・はやと・マイケル、菅沼海志、越中谷勇志、西川遙、有間琉星、かりん、Naozumi、三宅優矢、小野哲司、加藤歩真、櫻井洸佑、中村唯颯、ハル、優那、山崎蓮、小池蒼人、藤島朔太郎、須賀康介、植月瑛大、みつぎ、ひろと、杉本奏、宮原瑛翔、山本蓮音、吉田光、志村宇紀、福本和生、横山莉久、HAYATO、小山田優大、ヒデ、山本美蘭、井尾隆人、Ai、後藤瀬里葉、そうすけ、RINO、岩花瑛士、まーちゃん、鈴木南音、赤坂芽樹、宮内勘助、大宮一輝、大宮那月、龍斗、鈴木悠樹、中前湧大、しゅうと、木村駿太、わーさん、さくや、直也、優寿、鈴木寛太郎、コシマール、木村夕輝、小田健晴、初阪興佐、たいち、初阪盛佐、渡辺碧海、渡邊陸、丹下璃空、しゅんぱん5、星野壮哉、いつき、初村有星、永野春太郎、明神蓮、畑中岳、石原成潤、金田悠輝、トモキ、ユウセイ、谷口統真、安田実愛、西谷真秀、塚本冨虎、塚本泰平、福田泰良、ひろそ、宮澤權、れお、日向、川瀬翔和、福元龍空、菅井琉生、金尾

理玖、坂元蓮、谷俊磨、佐野虎汰、横田倅誠、高田幹大、佐藤漣音、松本昊大、吉澤洋人、瀬川桃果、小林裕晟、川本拓海、れんくん、安岡海翔、井川昊輝、半貫かいしゅう4、千田凜太郎、蒼空、昂大、かずな、杉浦位、堀敦希、西脇達彦、富田和真、アキラ、中嶋航太、奥田陽葵、奥田王亮、浅野太一、とまりしゅうと、大影倅一郎、飯坂悠斗、中辻侑希、石崎陽斗、高岡美咲、用松隼、ゆうと、中野寛太、伊藤大翔、こーすけ、藤井璃子、Rio、安藤勇人、杉本祐、唯音、大西凜、伊織、小木千尋、あつくんとーちゃん、ツバサ、矢野原侑斗、いびぎ、小俣路羽磨、平松龍之介、RYO、ゆうと、わたか、くう、さとしゅん、斉藤彩人、西慧剛、清澤ゆうご、souta、新、木村律斗、佐藤誠、シモ、三縞彩榮、橋ノ口陸斗、OSUKE、KYOHEI、ゆうた、鎌田碧生、青木胡桃、花宮うの、倉田伶旺、川原瑛翔、小澤大輝、EITA、ふみと、関たいが、西川一花

👑 ブロンズ(402人) [難易度★~★★★]

リフトアップ

01 足裏→同じ足のインステップ ※左右どちらでも可

ジャグリング

18 インステップ両足交互20回

21 インサイド左右交互10回

19 もも左右交互20回 (一度キャッチして次のキャッチボールを続ける)

キャッチボール

11 前面トス・背面キャッチ→背面トス・前面キャッチ 3往復

ドリブル

15 片手(利き手)ドリブル10回(キャッチして、カメラ目線でポーズ)

植月瑛大、れお、山崎翔太、岡田悠生、越中谷勇志、丸山岳、Eita、半貫桜祐、小池蒼人、西村篤人、直也、みつぎ、杉本伊織、まーちゃん、ハルト、カンタ、三宅優矢、はつお、さえ、RYOKI、Nao07、飯島李空、しゅうと、安藤勇人、昂星、大晴、平松龍之介、T-haruto、ハル、リーチ・はやと・マイケル、菅沼海志、中村唯颯、かりん、高橋雷牙、小澤大輝、須賀康介、あゆま、倉田航佑、有間琉星、ナガツツ、azm、青山慎一、大宮一輝、ひろそ、櫻井洸佑、龍斗、西村勇海、川本拓海、横山莉久、SO、大宮那月、souta、福本和生、鈴木隼翔、小野哲司、渡辺芽、俣野大夢、藤島朔太郎、ひろと、SHIN、もちづきりゅうせい、小林裕晟、DAICHI、かずな、千田凜太郎、牧野内優、石原航、瀬里葉、菊地彩人、小池彩華、Sora、あつくんとーちゃん、斉藤彩人、初村有星、Sena、倉田伶旺、中辻侑希、SORA、武田優輝、野中優人、なごっち、松本昊大、SHOMA、井川昊輝、森谷匡、杉本奏、杉本祐、村田心花、俣野豪太、ヒデ、しのぶ、DAITAN、杉本健太、

HAYATO、小山田優大、Ai、昂大、金尾理玖、美那、優那、宮原瑛翔、山本蓮音、コシマール、隠良隼人、須永耀太、レオ、しゅんぱん5、むらかい、しゅむら、結城凌、リート、高比良圭悟、フウタ、そら、こう、山本美蘭、初村颯太、みやっち、浦山ハヤト、清水陽生、荒牧存、桃璃、金田悠輝、ICHITA@47、ゆうた、千葉慧飛、菅井遥生、リョク、たいち、岩花瑛士、牧野蓮、小木千尋、KYOHEI、そうすけ、わーさん、牛坂豊輝、小林優斗、半貫理人、加藤賢治、伊集院悠希、鈴木南音、吉永巧、永野春太郎、蜂須賀健斗、優寿、とまりしゅうと、鈴木悠樹、KENRYU、山口幸馬、菅井琉生、宮内明輝、鈴木寛太郎、吉田理一、上垣内侑斗、上垣内冬真、ITSUKI、yoshiki、宮澤權、木村駿太、高田幹大、村瀬励、畑中岳、みひろ、ユウセイ、小森桜、奥田王亮、赤澤圭、小田健晴、ヒロキ、リッキー、日向、きり、いつき、石原成潤、吉田蒼、りお、富田和真、いびぎ、橋ノ口陸斗、山口翔、渡邊陸、宮下隼、西谷真秀、金子泰樹、村瀬一如、石川祐史、成島蒼空、丹下璃空、津田颯太、Keita、瀬川桃果、kaida、福元龍空、奥田陽葵、坂元蓮、石崎陽斗、小田島奏、星ゆう、徳永直樹、龍之介、木村夕輝、大塚憂斗、中前湧大、弘中正介、新岡龍征、龍毅、矢野原侑斗、安田実愛、さとしゅん、けいし、明神蓮、こうき、ばなつぷ、川瀬翔和、大町幸太郎、YUTO、蒼空、MISAKI、菅澤優衣香、南萌華、松原有沙、鹿熊優斗、佐藤漣音、moeka、横尾拓海、そうご、akira、佐野虎汰、塚本冨虎、塚本泰平、篠崎優舞、小峰想、唯音、藤井瑛大、ノブ、藤井瑛大、くう、Leo、けいご、小俣路羽磨、小泉翔汰、麟太郎、横田倅誠、初阪興佐、初阪盛佐、so、ひかる、渡邊陸太、清澤ゆうご、ゆう、西山圭佑、ショウタ、由藤きらら、佐野春馬、関口碧人、奥村樹、RIKO、YMUR(ゆまる)、森コーチ、ツバサ、九笹竜成、吉澤洋人、中前岳大、TK、圭吾、谷俊磨、くま、みやしたはやと、Dai、楠野礼大、石井壮太、コウタロウ、こーすけ、川原一輝、青木胡桃、家令朔汰、門野遥真、しゅうじ、Y.H、今井汰海、渡邊楓斗、岩井翠星、山崎、林風歌、小木曾新、KAORIKO、いすみ、黒木柑汰、大西凜、中嶋航太、近藤未來、藤井璃子、こーじろー、涼真、関本悠希、アキラ、渡辺翔、村谷さとる、福本隼斗、たいまる、堀川颯真、Anna、高野愛翔、川原妃菜希、植田博登、momo、杉山航汰、唐心磊、田中陽基、西脇達彦、山本夏輝、阿部晴輝、EITA、赤坂芽樹、新、宮澤陽太、飯坂悠斗、RYO、加藤遙斗、後藤快斗、山口怜音、村上聡志、ゆうと、大影倅一郎、張馨今、本城靖大、杉浦位、堅田健心、堅田遥至、永田信、丸谷楓真、ヒナタ、門野颯馬、藤田遥真、原暁人、うたの、シエル、古元翔志朗、加藤蒼晴、西川遙、Yuusei、田島エイト、南原一絆、ナマツコ、川原瑛翔、小野温人、望月陽斗、中野寛太、神田優コーチ、佐藤誠、星、親里創介、かいと、中野誠悟、賢剛、大遥、しゅーご、モモカ、西慧剛、くざさ監督、浅野太一、寺脇鮎李、櫻子、田中陽、ゆうか、木村律斗、タイガー、RINO、吉田陽樹、ケンジ、ハルキ、稲田サブコーチ、カイト、未來、佐々野優、蓮、パバ、偉吹、YN35、有富佑、小松拓海、三谷、そうすけ、小松遥斗、小松菜奈、蓮人、池部絆心、安達国宏、栄長祐輝、atsu、RICKY、山崎涼平、まーくん、土居明夫、せいげい、はるま、山崎心翔、REN、西川一花、凱斗、けんと、かんだ、しゅうた



SAMURAI KITCHEN



2004年からSAMURAI BLUE(日本代表)の専属シェフを務める西芳照シェフの新連載企画。
本連載では、西シェフが日本代表選手にも好評のレシピを紹介するとともに、
日本代表での“食”にまつわるエピソードを語ってくれます。



たくさん食べてもらう工夫を

楽しく食事をしてもらうために

私が日本代表専属シェフとして日本代表チームに初めて同行したのは、2004年3月のFIFAワールドカップドイツのアジア地区予選でした。アウェイのアジア諸国に同行したのですが、現地での食事に違和感を覚えました。それは、練習が早く終わることを想定して、現地のシェフたちが食事の開始予定時刻の2時間も前から料理をセットしていたことです。これだと、パスタは乾いてしまし、お肉もパサパサ。選手が食べたいと思えないと感じました。

「食事は楽しくは、私のポリシーの一つです。料理を目の前にしても、温かいものが冷めきっていたら食事を楽しい雰囲気にはなりませんよね。ただでさえ異国の地で戦わなくてはならないというプレッシャーやストレスがある中で、せめて食事会場くらいはリフレッシュ

ユできたり、楽しめる空間であってほしい。そういう思いから、少しでも温かくおいしく食べてもらうために、パスタは茹で立てを、お肉は焼き立てを用意するようにしました。

選手の皆さんにとって、食べることは非常に大事です。とにかくたくさん食べてもらうことが私の仕事だと思い、日本代表のシェフとして「食べてもらうための工夫」をしました。

暑いときはスパイシーなものを

私はこれまで日本代表チームと共に多くの国に行きました。イランや朝鮮民主主義人民共和国といった普段の観光旅行では行かないような国にも同行し、その国々の気候や文化などに応じて、提供するメニューにも変化を加えてきました。

日本はこれから本格的な夏を迎えます。中東も気温的には非常に暑いのですが、特に東南アジアの国々は日本と同じように高温多湿です。

暑くて食欲がないときは、冷製スープや冷たい麺類などを選んでしまいがちです。しかし、冷たい物ばかり食べてしまうと体が冷えて胃腸も弱ってしまいますし、体への負担が大きくなり、練習や試合で疲れた選手の体を回復させることが難しくなってしまいます。

そこで、日本代表の遠征では、スパイスを効かせるなど、高温多湿な環境下でも、食欲をそそるような温かいメニュー

を提供するようにしています。

現地の料理も選手には人気があります。ベトナムではフォーが好評でした。今回、紹介するレシピは「麻婆豆腐」です。このメニューは暑い時期によく出していて、日本代表では定番料理の一つになっています。

当然ながら選手によって味覚は異なるので、辛すぎたはいけません。たくさんご飯を食べてほしいのでほどよくピリ辛に仕上げています。夏バテ防止にもなると思いますし、これからの時期にぴったりです。また、一工夫としてピーマンをみじん切りにして入れています。これなら野菜嫌いのお子さんもしっかり食べてくれます。みなさんもぜひ試してみてください。





今月のSAMURAIレシピ

麻婆豆腐

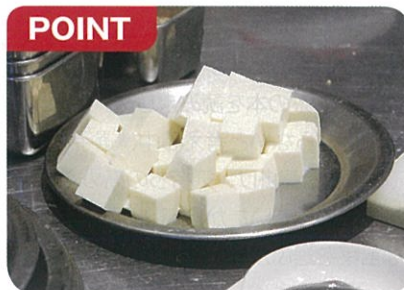
■ 材料(2人分)



絹ごし豆腐(または木綿豆腐).....	1丁(300g)
豚ひき肉	120g
ピーマン	2個
にんにく	1/4かけ
しょうが	1/4かけ
長ねぎ	1/3本(30g)
サラダ油	小さじ1強(5g)
豆板醤	10g
甜麵醬	50g
鶏ガラスープ(顆粒鶏ガラスープの素小さじ1/3に湯を加える) 大さじ2
水溶き片栗粉(片栗粉と水を1対1で) ...	小さじ2
花椒(お好みで).....	少々

■ 作り方

- 1 豆腐は一口大の角切りにする。鍋に湯を沸かし、塩少々を加え、豆腐をゆでる。再び沸騰したら湯から上げておく。



豆腐はしっかりと水切りすることで煮崩れることはありません。この一手間で味も染み込みやすくなってまさに一石二鳥。

- 2 ピーマン、にんにく、しょうが、長ねぎをみじん切りにする。
- 3 熱したフライパンにサラダ油をひき、にんにく、しょうが、豆板醤を入れて炒める。香りが立ったらひき肉を入れて炒める。
- 4 ひき肉に火が通ったら、ピーマンをさっと炒めて、甜麵醬、スープを入れる。煮立ったら豆腐、長ねぎを入れてひと煮立ちさせ、水溶き片栗粉でとろみをつける。

「教えて西シェフ!」質問を募集

連載内で西シェフへの質問を募集します。料理のことや日本代表専属シェフに関することなど何でも構いません。奮ってご応募ください。

URL <https://forms.gle/cgjQU314hyKAh7zJ6>



西 芳照(にし・よしてる)

1962年生まれ、福島県南相馬市出身。高校卒業後に料理店で和食を学び、1997年からJヴィレッジのレストランに勤務、1999年に総料理長に就任。2004年3月に日本代表専属シェフとしてFIFAワールドカップドイツのアジア地区予選に同行。以降、日本代表の海外遠征に同行し、食でチームを支える。専属シェフの他にもいわきFCパーク内の「NISHI'S KITCHEN」、イオン広野店内に出店している「くっちいーな」のオーナーシェフを務める。

期間限定企画

第3弾

Stay Home

サッカーファミリーの皆さんに「私のコレがおすすめ」を聞いていく期間限定企画。

第3弾は、大分トリニータの片野坂知宏監督、フットサル日本代表の清水和也選手、

SAMURAI BLUE (日本代表) 専属シェフの西芳照さんに、おすすめの本や映画などを教えてもらいました。

本企画は今号をもって終了いたしますが、引き続き、感染予防の対策をしながら共にこの困難を乗り越えていきましょう。

片野坂知宏 大分トリニータ 監督

●おすすめポイント

サッカー関連の本は普段から読んでいるのですが、この自粛期間中は、これまであまり読まなかった心理学系の本を読みました。自分が指導者としてもっと成長しなければならないと考える中、選手とのコミュニケーションで、やる気を促す言葉掛け、気持ちの高め方、集中のさせ方を学ぶこと必要があると思っていました。選手の心理を理解すれば、自分がどんな言葉を選ぶかも変わってくるだろうと考えました。

中でもスポーツドクターの辻秀一さんの本が面白かった。どれも良かったのですが、おすすめは『スラムダンク勝利学』です。人気漫画『スラムダンク』を題材にしていて、作品中の言葉にはこんな意味がある、こんな言葉の力があるということが解説されています。バスケットボールとサッカーという競技の違いはありますが、同じ目標を持つ選手として、あるいは指導者として発する言葉が、モチベーションを含めたメンタル面に大きな影響を及ぼすという内容でした。同じく辻さんの本で『トップ1%の必須常識「集中」と「リラックス」一瞬で“脳”を切り替える技術』もまた興味深い内容でした。

私自身、どのような言葉を掛ければ選手のモチベーションを高めることができるのだろうか、常々考えていました。今回、読んだ本を参考にしながら、今まで以上に、“発する言葉”を考えながらシーズンに臨みたいと思っています。

●過ごし方のおすすめ

私が住んでいる大分県は“温泉県”であり、大分市内にも数多くの温泉施設があります。別府や湯布院、竹田市の炭酸泉といった名湯もたくさんあります。普段の休日は温泉に行ってリラックスするのが楽しみの一つなのですが、自粛期間中は不要不急の外出や接触を避けて自宅で過ごしていました。読書以外では映画(DVD)も見ましたし、気分転換に料理をすることもありました。

私の おすすめ本

『スラムダンク 勝利学』

著者：辻 秀一
発行元：集英社インター
ナショナル
発行日：2000年10月5日

私の おすすめ映画

『ボヘミアン・ ラブソディ』

監督：ブライアン・
シンガー
公開年：2018年

映画はサッカーとは関係のない、最近の作品の中から面白そうなものを選んで見ていました。ロックバンドのクイーンを題材にした『ボヘミアン・ラブソディ』は、エンターテインメントとして本当に素晴らしい作品でした。いろいろな人間模様が描かれる中、それぞれがプロフェッショナルとし振る舞い、迎えた最後のライブシーンは感動的でした。



●サッカーファミリーの皆さんへ

新型コロナウイルスは終息したわけではないですし、これから流行の第2波、第3波が到来する可能性もあります。しかし、とにかくサッカー活動を再開できることの喜びをかみしめながら、目の前の試合に向けて一步一步進んできました。自粛中のトレーニングで、選手たちがどれだけしっかり準備してくれたかがシーズンの成果につながると思います。どのチームにとっても難しいシーズンになると思いますが、準備ができていない選手、万全の選手をしっかりと見極め、選手たちが集中して戦えるようしっかりマネジメントしていきたいと思っています。

清水和也 フットサル日本代表 選手 (コルドバ・パトリモニオ/スペイン)

●おすすめの番組

自粛生活中、オンラインでトレーニングをして、自分のプレーの分析をした後に、Netflix(ネットフリックス)で『マイケル・ジョーダン：ラストダンス』というドキュメンタリー番組を見るというルーティンが生まれました。番組を見るようになったのは、代理人に勧められたから。最初は興味がなかったのですが、いざ見始めたらすぐにハマりました。



ジョーダンは、誰もが認めるバスケットボールの名選手だと思うのですが、「どうすごいのか」「なぜそこまで選手になったのか」を知る人は、自分を含めてあまり多くないように思います。この番組は、そんなジョーダンが実際にどんな取り組みをして

NBAの頂点に上り詰めた

のかを深く掘り下げたドキュメンタリーです。

●おすすめポイント

印象的だったのは、(ジョーダンがプレーする)シカゴ・ブルズがタイトルを逃した後、ジョーダンがオフを返上して肉体改造に取り組み、翌シーズン、強くなった体でチームのタイトル獲得に貢献し、敗れた相手に借りを返したことです。

自分も「エースになりたい」「強くなりしたい」「一番になりたい」と目標を掲げていますが、ジョーダンほど真剣に競技に向き合っているか、もう少しできるのではないかと思います。モチベーションが上がりました。

この番組を見ることで自分がすべきことを学べたのは大きな収穫です。また、フットサル界にマイケル・ジョーダンに値する選手はいるかな?などと考えました。スポーツが好きなのは刺激を受けると思うので、ぜひ見てください。

私の おすすめ番組

『マイケル・ジョーダン：ラストダンス』

監督：ジェイソン・ヘーヒル

公開年：2020年

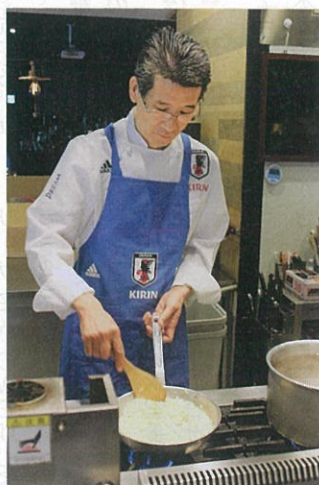
西芳照 日本代表専属シェフ

●コロナ禍の毎日

私が住む福島県でも新型コロナウイルスの感染拡大を受け、大きな変化がありました。3月7日に県内で初の感染者が出てからは多くの人が外食を控えるようになりました。客足は明らかに減り、私が経営している二つの飲食店も例外ではありませんでした。

その中で、テイクアウト販売をできるようにして、なんとか持ちこたえようとしたのですが、緊急事態宣言を受け、5月11日から営業を停止しました。とはいえ、従業員もいるので、給付金の申請をするなど、彼らの生活を守るために奔走する毎日でした。

緊急事態宣言が解けてからは、店舗でテイクアウト販売を再開する傍ら、福島県観光物産館「コラッセふくしま」に声を掛けていただき、そこで弁当を販売する



など、とにかく休みなく動き回っています。

まだまだ予断を許さない状況ですが、少しでも早く日常に戻ることを願い、自分にできることを続けていきたいと思っています。

●おすすめの映画

ここ最近はやや見ることがありませんが、映画は大好きです。日本代表の活動で海外に行くときは機内で映画を楽しんでいます。

若い頃から好きなのはシルベスター・スタローン主演の「ランボー」シリーズです。この映画の素晴らしいところは、非現実を味わうことができ、気持ちをリフレッシュすることができるので、見終わったあとに「自分でもできるんじゃないか」と勇気や希望が湧いてきます。勧善懲悪ではないですが、最後に正義が勝つというところも好きですね。

最新作が6月末に封切りになったようなので、少し落ち着いたら妻と一緒に映画館に行けることを楽しみにしています。

私の おすすめ映画

『ランボー』

監督：テッド・コッチェフ

公開年：1982年

2021 年秋開幕へ！ リーグ名称は「WEリーグ」

日本サッカー協会（JFA）は6月3日、オンライン記者発表会を実施し、2021年秋に開幕する日本初の女子プロサッカーリーグの名称とロゴ、リーグの理念、大会方式を発表した。

社会が変わる今、 プロ化する意義

新リーグの名称は「WEリーグ（Women Empowerment League）」。「女子サッカー・スポーツを通じて、夢や生き方の多様性にあふれ、一人ひとりが輝く社会の実現・発展に貢献する」ことを理念としている。

WEリーグは、その誕生によってこれまでになかった「女子プロサッカー選手」という職業を確立し、リーグを核に、関わる「私たちみんな（WE）」が主人公として活躍する社会を目指していく。

6月3日の記者発表会には、田嶋幸三JFA会長、女子新リーグ設立準備室の佐々木則夫室長（JFA理事）と今井純子JFA女子委員長など

でしごジャパン（日本女子代表）の高倉麻子監督が出席した。

新型コロナウイルスの影響により社会が厳しい状況にある中、JFAは女子サッカーのプロ化を進めるべきか否か多くの時間をかけて議論してきた。そして、3月の評議員会で、2019年度の決算で積み立てた特定預金10億円のうち7億円を新型コロナウイルス対策に、3億円を女子サッカーに投資することを決め、当初の予定通り、女子プロリーグを21年秋に開幕する方針を固めた。田嶋会長は「新型コロナウイルスの影響によって多くのことを変更せざるを得なかったが、投資するものには投資しようということで女子サッカーに予算を残した」と語った。

プロ化の背景には、個々の違いや多様な価値観を受け入れ、認め合い、生

かして「こうつというダイバーシティー&インクルージョンの考えや、女性活躍推進の動きが広がってきたことが挙げられる。女子プロリーグを核にして、女性の社会進出やジェンダイクオリティ（性の平等）の実現、新しいスポーツビジネスを打ち出した。田嶋会長も「われわれはそこにトライする。サッカーのフィールドから社会を変えていきたい」と力を込める。女子サッカーの発展だけでなく、「スポーツを通じた社会への貢献」もこのプロリーグの重要な使命なのだ。

「なでしごジャパンが女子ワールドカップで優勝して10年、日本女子サッカーリーグが始まったのは30年前。どうしてこんなに（リーグの）人気がなく

なつてしまったのか」と話したのは、なでしごジャパン元監督の佐々木室長だ。女子プロリーグを少女たちの夢の受け皿とし、女子サッカーの発展につなげたい。また、人との関わりや暮らし方、働き方に変化が求められる中で、「リーグを通して多様な夢、生き方、その実現を支えていきたい」と強調した。

リーグ名称のWEは「Women Empowerment（女性の力）」の略だ。そのネーミングには、左表の通り、四つの思いが込められている。

ロゴについて佐々木室長は「WEの前にある（ドット）『はサッカーボールと目の丸をモチーフにしたもの。さまざまな団体、企業と連携し、つながることも意味している』と説明し、「サッカーファミリーと共にWEリーグを成功させたい」と話した。

「なでしごジャパンが女子ワールドカップで優勝して10年、日本女子サッカーリーグが始まったのは30年前。どうしてこんなに（リーグの）人気がなく



●新リーグ設立の意味

1. 日本の女性活躍社会をけん引する。
2. 日本に「女性プロスポーツ」を根付かせる。
3. 日本の女子サッカーの発展に貢献する。
4. なでしごジャパンを再び世界一にする。

●新リーグの理念

女子サッカー・スポーツを通じて、夢や生き方の多様性にあふれ、一人ひとりが輝く社会の実現・発展に貢献する。

●新リーグ名称

WEリーグ [ういーりーぐ] (Women Empowerment League)

●リーグロゴ



●ネーミングに込めた思い

- ・女子が「サッカー選手」を夢みることができる
- ・サッカーを超えて、女性活躍社会の象徴となる
- ・さまざまな人々と協力・共創する
- ・関わる「わたしたち」みんなが主人公になる

●WEリーグの3つのビジョン

- VISION 1 世界一の女子サッカーを。
- VISION 2 世界一アクティブな女性コミュニティへ。
- VISION 3 世界一のリーグ価値を。

●WEリーグの位置づけ

WEリーグは日本のトップリーグとなり、現なでしごリーグの上位に位置するリーグとなる。

●WEリーグフォーマット

WEリーグは6～10チーム（予定）でスタートし、複数年は降格なしのエキスパンション型をとる（昇格のみ）。ホーム&アウェイ方式による総当たりリーグ戦を実施。

●スケジュール

参入クラブは2020年秋に発表し、リーグ開幕は2021年秋を予定（シーズンは2022年5月頃終了予定）。

参入申請を行ったクラブについては、リーグ理事長のほか、外部有識者も交えた審査委員会を組成し、参入基準（審査における一つの指標）に則って公平公正に審査する。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 2020年4月 | 参入クラブ申し込み開始 |
| 2020年7月 | 参入クラブ申し込み締め切り |
| 2020年8-9月 | 申し込みクラブ審査 |
| 2020年9月末～10月上旬 | 参入クラブ決定・発表 |
| 2021年2-7月 | プレシーズン大会開催（検討中） |
| 2021年9月 | 2021/22 WEリーグ開幕 |

秋春制を採用 社会のロールモデルに

「世界」の女子サッカーを「世界」アクティブな女性「コミュニティ」へ「世界」のリーグ価値を「三つ」がWEリーグのビジョンだ。プロ化によって日本女子サッカーのトレーニング環境やゲームレベルを向上させ、選手のパフォーマンスを高め、再び世界を目指す。Jリーグがそうだったように、「WEリーグ設立はプロ選手だけのためではなく、グラスルーツからシニアサッカーに至るまで全ての日本女子サッカーの発展の契機となり、世界の女子サッカー発展の翼を担うものでもある」（今井委員長）。今までになかった「今井委員長」の女子サッカーの発展にもつながる。今井委員長も「サッカー、スポーツの枠を超えて、個人、団体、企業とさまざまなチャレンジをしていく。確固たる基盤を築き、成果を出して発信し、社会のロールモデルとなるようなリーグにしたい」と力を込める。

長年の夢だったプロリーグ創設について高倉監督は喜びを口にしつつ、「一番大切なことは選手が覚悟を持ってこのリーグに臨むこと。応援してくれる人、見てくれる人を感動させられるよう、大好きなサッカーへの思いをピッチで表現してほしい」と期待を語った。

WEリーグは、海外の選手や指導者が行き来しやすいよう、ヨーロッパのリーグと合わせて秋春制を採用。来年9月の開幕に向けて準備を進めていく。

■女子新リーグ参入基準 ※審査における一つの指標

1. リーグ概要

項目	番号	内容	基準	項目	番号	内容	基準
1-1 リーグ概要	1-1-1	社員資格	リーグは一般社団法人、クラブは「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」上の社員。	1-1 リーグ概要	1-1-11	ロゴの使用	リーグロゴを使用(新たに制作)
	1-1-2	会員資格	リーグ正会員		1-1-12	表彰	リーグが定める「表彰規程」に基づく
	1-1-3	加盟資格	リーグ加盟基準に準じる		1-1-13	リーグ戦安定開催	融資制度なし
	1-1-4	入会金	2,000万円		1-1-14	選手教育	新人研修、ルール講習会、JFA・C級指導者ライセンス、コンプライアンス研修等を実施
	1-1-5	年会費	2,000万円	1-2 収益事業	1-2-1	公衆送信権	リーグが一括管理
	1-1-6	リーグの位置づけ	女子プロサッカーリーグのトップリーグ		1-2-2	商品化権	リーグが一括管理(リーグが定める「商品化ルール」に基づく)。クラブはリーグが指定する高標額を取得すること。
	1-1-7	リーグのガバナンス	社員総会、理事会		1-2-3	ユニフォーム要項	リーグが定める「ユニフォーム規程」に基づく。なお、ユニフォームにはリーグが指定する場所に、リーグスポンサー広告を掲出しなければならない。
	1-1-8	クラブ数	6~10チーム(想定)当面の期間降格はしない(新規参入はあり)。最大チーム数等は参入希望クラブ数等に鑑み最終決定する。		1-2-4	リーグオフィシャルパートナー	リーグ一括のオフィシャルパートナーを獲得し、その権益がクラブ権益に及ぶ。リーグが定める「スポンサーカテゴリールール」に基づく。
	1-1-9	ホームゲーム数(リーグ戦)	リーグ戦 10試合以上(予定)				
	1-1-10	ホームゲーム数(カップ戦)	カップ戦 開催検討中				

2. クラブ基準

項目	番号	内容	基準	項目	番号	内容	基準
2-1 クラブ	2-1-1	クラブを運営する法人	日本法に基づき設立された、株式会社の法人格を有し、クラブ事務所を設置すること。(プロサッカーチームの運営を本業としている法人)	2-3 法務・財務	2-3-4	クラブの懲戒手続き	懲戒規定(就業規則)を整備すること
	2-1-2	クラブのチーム名、呼称、略称	チーム名、呼称、略称(原則4文字)には地域名が含まれているものとする。		2-3-5	選手との書面による契約	選手と書面による契約書またはアマチュア選手の場合は誓約書を締結し、リーグに提出すること
	2-1-3	チーム名、呼称へのネーミングライツの認可	事前リーグの承認を得た場合、チーム名、呼称にはスポンサー名、ブランド名等を含めることができる(ネーミングライツの認可)。ただし、略称(原則4文字)にスポンサー名、ブランド名を含めることはできない。一度入会申請をした後に、ネーミングライツを付与する場合、その変更期限は2021年2月末までとする。また、開幕2年目となる2022-2023シーズン以降については、当該シーズンの開幕6ヶ月前までにリーグに届出、事前の承認を得るものとする。	2-4 人員体制・組織運営(チーム運営)	2-3-6	健全な財政状態	チームは人件費、運営費その他の経費設定に際して健全な財政状態を維持すること。リーグが求める決算書および予算書の必要書類を提出し、3期以上連続で当期純損失を計上した場合(ただし、財務諸表を提出した日の属する事業年度の前年度末日現在の純資産残高が財務諸表を提出した日の属する事業年度の前年度の当期純損失の額の絶対値を上回っている場合を除く)および財務諸表を提出した日の属する事業年度の前年度末日現在、純資産の金額がマイナスである(債務超過である)場合など、健全な財政状態を維持できていないとリーグが判断した場合は退会させるものとする。
			2-1-4		クラブのホームタウン	新リーグ入会までにホームタウンを予定または決定していること。また、当該ホームタウンが申請クラブの新リーグ入会を応援するとともに、新リーグ入会に向けた取り組みを支援する姿勢を、文書で具体的に示していること。	2-4-1
	2-1-5	都道府県サッカー協会からクラブへの支援	新リーグ入会を目指すことを、申請クラブの所属する都道府県サッカー協会が承認し、支援していることが、当該サッカー協会より文書で具体的に示されていること。		2-4-2	トップチーム監督	JFA・S級(またはS級相当)の指導者資格を有する者、もしくは同資格取得講習会を受講中の者(ただし、女性に限る)とする。 ※女性のS級指導者資格取得を促進する ※将来的に監督は女性とすることを旨とする
	2-1-6	申請書類提出後の変更通知	申請書類提出後に変更があった場合は必ずリーグに通知すること		2-4-3	トップチームコーチ	JFA・B級(またはB級相当)以上の指導者資格を有する者とし、GKコーチはJFAGK・C級(GK・C級相当)以上、フィジカルコーチを設置すること。なお、コーチングスタッフ(監督またはコーチ)の中に女性指導者1名以上を含むこと。
2-2 人員体制・組織運営(クラブ運営)	2-2-1	法人を構成する人員における女性の登用	当該クラブの運営にあたる法人を構成する役員員の50%以上を女性とする。同一法人内で複数のチームを運営している場合は、当該クラブの運営にあたる組織を明確に示すこと。(入会から3年以内に達成すること)		2-4-4	トップチーム選手	ホームグロウン制度は将来的に設定予定
	2-2-2	役員における女性の登用	当該クラブの意思決定に関わる者のうち、少なくとも1人は女性とすること。(取締役以上が望ましい)		2-4-5	レフェリングに関する事項	リーグ主催の開幕前ルール講習会に選手および監督・チームスタッフが出席すること
	2-2-3	クラブ代表	適正法令に従い代表取締役がいなければならない	2-4-6	外国籍選手枠	5名まで登録可(試合出場およびベンチ入りは合計5名まで)	
	2-2-4	実行委員	クラブ運営に関する責任者としてリーグに登録し、リーグが開催する実行委員会に出席しなければならない。原則として、2-2-3で定めるクラブ代表が務めるものとする。(兼務、代理については【別表1】を参照)	2-4-7	医師(メディカルドクター)	チームドクターは、ホーム・アウェイ全試合に必ず帯同すること。なお、チームドクターは日本国医師免許を保有しているものとする。	
	2-2-5	強化担当		2-4-8	理学療法士(メディカルスタッフ)	メディカルスタッフが試合日に必ず帯同すること。なお、メディカルスタッフは、医療に関わる以下のいずれかの国家資格等を保有しているものとする。 ①理学療法士、②柔道整復師、③あん摩マッサージ指圧師、④はり師、⑤きゅう師、⑥公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー	
	2-2-6	リーグ理念推進担当				選手にに対し、年1回リーグが指定する項目のメディカルチェックを受診させ、メディカルチェック報告書をリーグに提出すること。	
	2-2-7	ホームタウン担当				試合およびトレーニング時の怪我における治療費はクラブが負担しなければならない	
	2-2-8	財務担当	担当者置くこと(兼務については【別表1】を参照)			アカデミーダイレクター	アカデミーダイレクターを設置する。JFA・A級(またはA級相当)以上の指導者資格を有する者とする(アカデミーコーチングスタッフと兼務可)
	2-2-9	運営・セキュリティ担当		2-4-12	アカデミーチーム監督	JFA・B級(またはB級相当)以上の指導者資格を有する者とする	
	2-2-10	広報担当		2-4-13	アカデミーチームコーチ	JFA・C級(C級相当)以上の指導者資格を有する者とし、GKコーチ、フィジカルコーチを設置すること。なお、コーチングスタッフ(監督またはコーチ)の中に女性指導者1名以上を含むこと。	
	2-2-11	マーケティング担当					
	2-2-12	シーズン中のスタッフ欠員に対する後任	シーズン中の上記に定められたスタッフが欠員した場合、必ず後任を充当すること。				
2-2-13	「クラブ運営」役員および職員と「チーム運営」スタッフ兼務の不可	2-2で定める役員および職員と、2-4で定めるスタッフの兼務は不可とする。					
2-3 法務・財務	2-3-1	宣誓書	宣誓書(指定書式)を提出すること				
	2-3-2	クラブの登記情報	登記簿謄本(写し)を提出すること				
	2-3-3	他クラブとの経営等への関与の禁止	他クラブとの兼務、経営、また運営に参加することは禁止する。クロスオーナーシップを禁止する				

(次ページに続く)

項目	番号	内容	基準	項目	番号	内容	基準
2-4 人員体制・組織運営 (チーム運営)	2-4-14	アカデミープログラム	以下の各項目を満たした「アカデミー申請書」を提出すること ①育成・普及の理念、方針、②アカデミー組織図、③指導者に関する情報、④施設に関する情報、⑤医療面のサポート体制	2-4 人員体制・組織運営 (チーム運営)	2-4-15	アカデミーチーム	U-18、U-15、U-12チームを保有すること。ただし、U-18チームの保有は入会より3年以内に達成すること。なお、U-12についてはスクールまたはクリニックで代替することができる。

3. 施設基準

項目	番号	内容	基準	項目	番号	内容	基準	
3-1 スタジアム	3-1-1	スタジアムの認可	リーグが定めるスタジアム要件を満たしたホームスタジアム(原則として、フットボールスタジアム)を申請し、使用許可を得ること。ホームゲームが80%以上開催可能であるとする所有者からの書面を提出すること。	3-1 スタジアム	3-1-17	メディア用受付、メディア控室、記者室、記者会見室、カメラマン(PHOTO、TV)、中継スタッフ控室	設置すること。それぞれ必要な設備を備えること	
	3-1-2	スタジアム入場可能数	椅子席(個席が望ましい)で5,000名以上(雨に濡れない場所に、車椅子席および介助者席、近くに多目的トイレおよびスロープの設置を含む)収容可能な施設であること。※芝生席は観客席とみなさない		3-1-18	VIP用受付、VIP席、VIPラウンジ、VIP用トイレ	設置すること。メインスタンド中央部に屋根付きで50席以上設置することが望ましい	
	3-1-3	運営本部室	運営本部を設置すること		3-1-19	記者席	設置すること。電源付きの机で雨に濡れない席を用意すること	
	3-1-4	医務室・救護室・授乳室・託児施設	医務室および必要な数の救護室を備えること(※ベッド、冷蔵庫・エアコン・AED、担架および頭部頸部固定用担架等を備えること)。授乳室および託児施設を設置すること(※必要な備品等を設置し、適切な人員を配置すること)。		3-1-20	場内放送システム及び場内放送室、実況放送室	場内放送システム、場内放送室、実況放送室を備えること	
	3-1-5	スタジアムの安全性	ホームゲームの安全が確保されていること		3-1-21	大型映像装置および操作室、スコアボード、時計	設置すること(入会から5年以内に達成すること)	
	3-1-6	避難計画	緊急時にスタジアム内にいるすべての人が避難できるような対策をとっていること		3-1-22	メンバー掲示板	設置すること	
	3-1-7	照明	1500ルクス以上であること。(入会から5年以内に達成すること)		3-1-23	リーグ旗・クラブ旗の掲揚ポールまたはバトン	設置すること。3本以上、5本が望ましい。	
	3-1-8	ピッチサイズ	原則として、105m×68mであること。		3-1-24	入場券売場、入場ゲート	設置すること。必要な施設を備えること	
	3-1-9	ピッチの外側周囲	原則として、サッカースタジアムで5m以上であること。		3-1-25	総合案内所	設置すること	
	3-1-10	ピッチ状況	原則として、常緑天然芝およびリーグが認めたハイブリッド芝であること。ただし、女子サッカーの普及や施設の有効な利活用の観点から人工芝ピッチの使用を希望する場合は、JFA認定人工芝ピッチであることが事前にリーグの承認を得た場合のみ可とする。		3-1-26	飲食売店・グッズ売店	設置すること	
	3-1-11	ゴール	白色かつ丸型(直径12センチ)で、原則として、埋め込み式であること。		3-1-27	テレビカメラ設置スペース(中継用・ニュース関連ENG用)	設置すること。トラッキングシステムを採用する場合はそのスペースも設置すること。	
	3-1-12	更衣室	設置すること。温水シャワー・洋式トイレ、空調設備は完備、選手用および審判員に男女別々で用意すること。		3-1-28	テレビ中継車両駐車スペース	設置すること。館内共聴が望ましい。	
	3-1-13	マッチ・コーディネーション・ミーティング室	設置すること		3-1-29	ケーブル敷設スペース	設置すること	
	3-1-14	マッチコミッション席、審判アセッサー席、記録席(室)	設置すること。ピッチ全体を見渡せる場所、電源・テレビモニター・録画再生装置・高速インターネット回線・共聴回線を設置すること。		3-1-30	伝送用機材等設置スペース(アンテナ車両・光ファイバー端末等)	設置すること	
	3-1-15	ドーピングコントロール室	設置すること。公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構(JADA)の承認が必要		3-2 トレーニング施設	3-2-1	トレーニング施設	優先的に活用できる場所を確保できること。天然芝・ハイブリッド芝・人工芝(JFA認定人工芝ピッチを推奨)のいずれか1面、クラブハウス設置(必要な設備を備えること)。
	3-1-16	警察・消防司令兼控室	設置すること			3-2-2	トレーニング施設(アカデミー)	優先的に活用できる場所を確保できること。天然芝・ハイブリッド芝・人工芝(JFA認定人工芝ピッチを推奨)のいずれか1面、クラブハウス設置(必要な設備を備えること)。

【別表1】2-2人員体制・組織運営(クラブ運営)における役職者の兼務および代理について

項目	番号	内容	当基準内に定める他の役職との兼務	同一法人内で複数のチームを運営している場合の他チーム役職との兼務および代理	項目	番号	内容	当基準内に定める他の役職との兼務	同一法人内で複数のチームを運営している場合の他チーム役職との兼務および代理
2-2 人員体制・組織運営 (クラブ運営)	2-2-4	実行委員	2-2-6リーグ理念推進担当、2-2-7ホームタウン担当との兼務は可。	他チームの責任者(Jリーグクラブ、フリーグクラブ、なでしこリーグクラブ)における実行委員などと兼務することは不可とする。代表取締役代行の場合は、クラブ常勤の取締役以上の役職者とする。	2-2 人員体制・組織運営 (クラブ運営)	2-2-8	財務担当	2-2-6リーグ理念推進担当、2-2-7ホームタウン担当との兼務は可。	兼務可
	2-2-5	強化担当	他チーム(Jリーグクラブ、フリーグクラブ、なでしこリーグクラブ)の強化担当者と兼務することは不可とし、専任者を置くこと。	他チーム(Jリーグクラブ、フリーグクラブ、なでしこリーグクラブ)の強化担当者と兼務することは不可とし、専任者を置くこと。		2-2-9	運営・セキュリティ担当	2-2-6リーグ理念推進担当、2-2-7ホームタウン担当との兼務は可。	他チーム(Jリーグクラブ、フリーグクラブ、なでしこリーグクラブ)の運営・セキュリティ担当者などと兼務することは不可とし、専任者を置くこと。
	2-2-6	リーグ理念推進担当	兼務可	兼務可		2-2-10	広報担当	2-2-6リーグ理念推進担当、2-2-7ホームタウン担当との兼務は可。	他チーム(Jリーグクラブ、フリーグクラブ、なでしこリーグクラブ)の広報担当などと兼務することは不可とし、専任者を置くこと。
	2-2-7	ホームタウン担当	兼務可	兼務可		2-2-11	マーケティング担当	2-2-6リーグ理念推進担当、2-2-7ホームタウン担当との兼務は可。	他チーム(Jリーグクラブ、フリーグクラブ、なでしこリーグクラブ)のマーケティング担当者などと兼務することは不可とし、専任者を置くこと。

<各所からの応援コメント> ※オンライン記者発表会でのビデオメッセージ(要約)

■橋本聖子 女性活躍担当大臣/内閣府特命担当大臣(男女共同参画担当)

WEリーグは、女子サッカー選手の高い技術と感動的なプレーだけではなく、監督やスタッフ、コーチそうといった方々の女性の活躍が期待されるという、まさにこれからの社会にふさわしいリーグだと思っています。併せて、男女共同参画、そして女性活躍のため、政府や関係機関、自治体、企業、そういったさまざまな機関と連携しながら、社会的な課題に取り組んでいくということも聞いています。



WEリーグが、女性の生涯を通じたキャリア形成や社会地位向上等に大きく寄与することを心から期待しています。

■鈴木大地 スポーツ庁長官

なでしこジャパンが再び世界一になるためには、国内リーグの果たすべき役割が非常に大きいと考えます。日本初の女子プロサッカーリーグ設立は女子サッカーのさらなる普及・強化を進める上での基盤となるとともに、女性スポーツ界全体にとっても歴史的な一歩になるのではないかと考えます。女子サッカーにおける新たなチャレンジが、女性スポーツ界の活性化はもちろん女性活躍社会の実現へのけん引役となっていくことを期待しています。



■川淵三郎 JFA相談役/日本トップリーグ連携機構会長

女子リーグプロ化の話聞いたとき、「相当難しいだろう」と言いました。しかし考えてみたら、Jリーグ立ち上げの頃、JFAの先輩方(役員)に話をしたところ、

「時期尚早」「前例がない」「成功するわけがない」と言われました。30年前のことを思い出し、そこで僕は考えを180度変えて頑張れと言いました。

Jリーグのチェアマン時代、後ろを振り向くな、弱音を吐くな、愚痴をこぼすなと自分に言い聞かせていました。WEリーグ成功のために、後ろを振り向くな、弱音を吐くな、そういう気持ちを持ち、成功に向かってみんなで力を合わせてまい進してください。成功を祈っています。



■村井満 Jリーグチェアマン/JFA副会長

本格的な女性活躍社会を先陣を切ってスタートされるということで、その高い志、本当に心から敬服しています。日本においてJリーグとWEリーグが車の両輪となって世界を目指していく、そんな姿が共に実現できたら素晴らしいと思います。地域に根ざした両リーグが日本社会をけん引していく良きパートナーとして頑張ってください。



■初木結花 選手(OLレイン/アメリカ) ※収録時:日テレ・東京ヴェルディバレーザ

現在、海外に後れを取っていますが、今回のWEリーグ立ち上げによってサッカーに専念できる環境がつけられるということで日本女子サッカー界のリーグのレベルが上がることが期待されると思います。私たちが女子サッカー選手は、小さな女の子たちにとって憧れに思ってもらえるような存在になりたいと思います。



サッカーファミリー広場



熱中症の予防と対策～マスク着用によるリスクも

新型コロナウイルスの感染防止対策においては、身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い、3密（密集、密接、密閉）を避けるなどの「新しい生活様式」が求められています。

この新しい生活様式では、症状がなくても“マスク着用”が基本的な感染対策の一つとなります。しかし、気温が上昇する夏場は熱中症にも注意しなければなりません。マスク着用によって熱中症のリスクが高まる可能性もあるため、次のことに注意して熱中症を予防しましょう。

■新しい生活様式における熱中症対策

1. 暑さを避ける
2. 適宜マスクをはずす
3. こまめに水分補給
4. 日ごろからの健康管理
5. 暑さに備えた体づくり



<暑熱環境下でのマスクの着用方法について>

- 高温多湿の環境下では、屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合にはマスクを外したり、マスクを一時的に外して休憩するようにしましょう。
- マスクを着用する場合は、強い負荷の作業や運動は避け、のどが渇いていなくてもこまめな水分補給を心がけましょう。飲水する際は、一人一人の専用容器から飲水し、人が口をつけたボトル等をクーラーボックスに戻すなどの行為は絶対にしないようにしましょう。

暑熱対策や水分補給については、日本サッカー協会の「熱中症対策ガイドライン」や「熱中症の応急処置」などもご参照ください。

▼詳細はこちら▼

JFA公式ウェブサイト内「メディカル」ページ
http://www.jfa.jp/medical/heat_measures_hydration.html



読者プレゼント

応募締切：2020年8月17日（月）当日消印有効

アディダス ジャパン（株）提供

日本代表のオフィシャルサプライヤーであるアディダス ジャパン（株）より、「プレデターミューテーター20+FG/天然芝用（27.0cm）」を1名様にプレゼント。



JFA STORE 提供

「JFA STORE」は日本代表のグッズなどがそろったJFAのオフィシャルeコマースサイトです。さまざまなシーン、目的に合わせてグッズを確認できるページに加え、特集ページも用意しました。今号では「コールドスプレー（ミニタオル付き）」を1名様にプレゼント。



<https://official-store.jfa.jp/>

JFA STORE



プレゼント応募方法

■Web

URL：<https://forms.gle/64miifNsjWAAT6DR7>

上記URLもしくはQRコードよりアクセスしてご応募ください。



■はがき

〒113-8311

東京都文京区サッカー通り（本郷3丁目10番15号）JFAハウス
公益財団法人 日本サッカー協会・広報部
「JFAnews プレゼント応募」係

①名前、②郵便番号・住所、③電話番号、④希望プレゼント名、⑤JFAnewsのご感想・ご意見などを明記の上、郵送でお送りください。

当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。発送は2020年8月下旬の予定ですが新型コロナウイルスの感染拡大対策の影響により、お届けに大幅な遅れが生じる可能性がございます。

※収集した個人情報は厳重に管理し、他の目的には使用いたしません。 ※お送りいただいた葉書は返却いたしません。

発行人：須原清貴

発行所：公益財団法人 日本サッカー協会

〒113-8311

東京都文京区サッカー通り(本郷3-10-15) JFAハウス

TEL.050-2018-1990(代) / FAX.03-3830-2005

URL <https://www.jfa.jp>

監修：公益財団法人 日本サッカー協会 広報部

編集：編集長 加藤秀樹

JFAnews編集部 / (株)ウォールニクス

印刷：サンメッセ(株)

定価：600円/本体545円

日本サッカー協会(JFA)は現在、ウェブ会議システム等を用いて会議や会見、取材等を実施しています。本誌の取材につきましてもウェブ会議システムや電話、書面による取材で皆さまに変わらぬ情報を届けてまいります。

JFAはこうした取り組みが新型コロナウイルス感染拡大を抑制し、一日も早い終息に寄与するとともに、働き方改革の推進などより良い社会の実現に向けた仕組みづくりの一助になればと考えております。

次号2020年8月情報号は、2020年8月21日発売予定

[特集テーマ] 指導者のあるべき姿

※特集テーマ・内容は変更となる可能性があります

ご購入のお知らせ

・インターネットからのご購入

日本サッカー協会 Official Online Shop

<https://webshop.jfa.jp/fs/jfagoods/c/top>

※クレジットカード決済のみ。

上記サイトでは本誌のほかJFA関連発行物の

購入が可能です(46~47ページ参照)



・年間購読

JFAnewsの年間購読料は、送料・税込みで1年間(12冊)5,000円で、

年間2,200円お得です。

ご希望の方は上記インターネットまたは47ページの専用申込書にご記入

の上お申し込みください。

・チーム登録をされている購読者さまへ

JFAnews発送における住所変更、名義変更を希望される場合は、JFA公式ウェブサイトの「JFAへの登録」よりJFA IDシステムにログインしていただき、変更をお願いします。

万一の
事故やケガに
備えて、
損害保険に
加入しませんか？

損害保険取扱代理店



株式
会社

ジェイ・セイフティ

〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス9階

TEL:03(3830)1925 FAX:03(3830)1929

引 受 保 険 会 社

- 三井住友海上火災保険株式会社(代申社)
- 損害保険ジャパン日本興亜株式会社

- 東京海上日動火災保険株式会社
- 明治安田損害保険株式会社

よろこびがつなぐ世界へ

KIRIN



KIRIN

新しい応援、ひろがる。

2019年6月~9月A代表戦出場時間トップ11 © JFA

#届けてキリン



SAMURAI BLUE

